

○選舉人名簿調製ノ當時刑事被告人トシテ豫審中ノ者ヲ名簿ニ登載セシハ選舉ノ定規ニ違背ス(同上)

〔理由〕原告ハ二木六郎カ無資格者ナルコトハ之ヲ公認スヘキ通牒ナク又小西祐三郎勝山修藏高森又四郎ノ公判通牒ハ名簿縦覽期間後ナルヲ以テ名簿調製ノ際之ヲ有資格者トシテ登載セシハ違法ニアラスト云フト雖名簿ヲ製スルニ當リ選舉人タル資格ノ有無ヲ調査スルハ町村長ノ責務ナレハ公然タル通牒ヲ得ス又ハ縦覽期間後ニ通牒ヲ得タルヲ理由トシ違法ニアラスト謂フヲ得ス又原告ハ二木六郎外三名及高森時太郎ハ名簿調製ノ際公民權停止中ナリトスルモ停止ニ係ル者ハ選舉ヲ行フコト能ハサルマテニシテ選舉權ヲ失ヒタルニアラサレハ名簿ヨリ除却セラルヘキニアラスト云フト雖選舉人名簿ニ登載スルハ其登載セラレタル者ヲシテ實際ニ選舉ヲ行ハシメンカ爲メナレハ町村制第十八條ニ所謂「選舉人ノ資格ヲ記載シ」トハ現ニ選舉權ヲ行使シ得ル者ノ資格ヲ記載スルノ法意ナリト解釋セサルヘカラス而シテ金澤地方裁判所七尾支部ノ回答ニ依レハ右五名ハ名簿調製ノ當時刑事被告人トシテ豫審ニ付セラレ居リタルヲ以テ公民權停止ニ係リ隨テ選舉權ヲ行使シ能ハサル者ナレハ之ヲ名簿ニ登載セシハ選舉ノ定規ニ違背スルモノトス

○投票ノ封緘ハ封筒ヲ用キ若クハ糊貼ニスル等容易ニ開放スルコトヲ得サル方
法ニ依ルコトヲ要ス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十一年第四百九號
明治三十二年一月二十五日宣告)

○投票ヲ折疊ミタルソミニテハ封緘ヲ施シタルモノニアラス(同上)
〔理由〕原告及參加人ニ於テハ町村制第二十二條投票封緘ノ規定ハ投票ノ秘密ヲ保ツ精神ニ外ナラサレハ投票ヲ幾重ニモ折疊ミ開票ノ後ニアラサレハ其記載事項ヲ認識スルコト能ハサル如キハ即チ封緘ノ實ヲ具ユルモノニシテ必スシモ糊貼ニシ若クハ封筒ヲ用キテ封緘スルコトヲ要セスト云フト雖同條ニ投票ノ封緘ヲ要シタル以上ハ記載事項ノ秘密ヲ保チ得ルソミニテハ未タ以テ十分ナリトセス必ス封筒ヲ用キ若クハ糊貼ニスル等容易ニ開放スルコトヲ得サル方法ヲ以テ投票ヲ密閉スヘキモノナレハ單ニ折疊ミタルソミニテハ縱令外ヨリ洞見シ得ルカラストスルモ痕跡ヲ留ムルコト無クシテ容易ニ披見スルコトヲ得ルカ故ニ封緘ヲ施シタル投票ト謂フヲ得ス然レハ被告ノ裁決ハ相當ニシテ原告等ノ主張ハ理由ナキモノトス

○投票ニ必スシモ被選人ノ姓名ヲ併記スルコトヲ要セス(村會議員選舉投票ノ效力ニ關スル訴 明治三十一年第四百三十號
明治三十二年四月七日宣告)

○投票ニ被選人ノ姓又ハ名ノ一方ノミヲ記載スルモ其何人タルヲ確認シ得ルニ

於テハ無効ニアラス(同上)

〔理由〕 被告ハ町村制第二十二條ニ被選人ノ氏名ヲ記シ云々トアレハ投票ニハ必ス其姓名ヲ記セサルヘカラス去レハ係争投票ノ如キ單ニ姓ノミヲ記シタルモノハ違法ニシテ同制第二十三條二項ノ一ニ依リ無効ト爲スベキモノナリト云フト雖同制第二十二條ニ所謂被選人ノ氏名ヲ記シ云々ハ唯何人ヲ選舉スルカヲ表明セシムルノ方法ニ過キサレハ必スシモ姓名ノ併記ヲ要スルモノト解釋スルヲ得ス然レハ姓又ハ名ノ一方ノミヲ記載スルモ其何人タルヲ確認シ得ル限ハ違法ニアラスシテ隨テ係争投票ハ無効ト爲スヘキモノニアラス又被告ハ原告村ニ平田多十郎平田正人ノ兩名アリテ何レモ公民權ヲ有スルヲ以テ係争投票ハ其何レヲ指シタルモノナルヤ明カナラサレハ町村制第二十三條二項ノ二ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリト云フト雖平田多十郎ハ係争投票ヲ除ケハ一票モ投票ヲ得ス之ニ反シテ平田正人ハ百七十票ノ投票ヲ得タル事實ヨリ之ヲ觀レハ係争投票ハ全ク平田正人ヲ指シタルモノト認定スルニ足レリ

○ 町村會議員ノ任期ハ曆年ニ依リ之ヲ計算スヘキモノトス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十一年第四百二十二號 明治三十二年四月二十八日宣告)

○ 議員ノ滿期前ニ其改選ヲ執行シタルハ議員ノ任期ヲ短縮シタルノ不法アルヲ

免レス(同上)

〔理由〕 原告ハ選舉ハ町村制第十九條ニ依リ町村長ノ職權内ニ屬スルヲ以テ日時ヲ定メ執行スヘキモノニシテ選舉期日ヲ一定スヘキ成規ナシ故ニ豫テ議員ヲ選舉シ置キタリトスルモ法文ニ牴觸スルトコロナシト云フト雖モ町村制第十六條ニ依レハ議員ノ任期ハ六年ニシテ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス云々トアルヲ以テ其任期ノ計算方ハ曆年ニ依リ之ヲ計算スヘキモノト解釋セサルヲ得ス而シテ本件御館村村會議員ハ町村制實施ノ際明治二十二年六月八日九日ヲ以テ選舉セラレタルモノナレハ其第一回半數改選ハ明治二十五年六月八日九日ヲ以テ行フヘキハ當然ナルニ同年五月三十日三十一日ヲ以テ之ヲ行フタルハ町村制第十六條任期ノ規定ニ背反スルモノト言ハサルヘカラス然レトモ該半數改選ノ效力ニ關シテハ當時何等ノ異議ナク既ニ確定シタルモノナレハ其當選セル議員ノ任期ハ該選舉ノ日ヨリ之ヲ計算スルヲ以テ適當ナリトス故ニ明治二十五年五月三十日三十一日ヲ以テ選舉ヲ行フタル議員ノ滿期改選即チ本件選舉ハ明治三十一年五月三十日三十一日ヲ以テ執行スヘキモノトス然ルニ其期日ヲ繰上ケ五月二十一日二十二日ヲ以テ之ヲ執行シタルハ即チ議員ノ任期ヲ短縮シタルモノニシテ町村制第十六條ノ規定ニ違背シ適法ノ選舉ナリト言フヲ得ス其他原告ハ議員交代規則ナル

モノニ就テ陳辯スルトコロアルモ以上説明ノ理由ニ因リ本件裁判ニ必要ナシト認ムルヲ以テ之カ説明ヲ與ヘス

○一旦告示シタル選舉期日ノ時間ニ誤記アルコトヲ發見シ翌日ニ至リ其訂正ヲ爲シタル場合ニ在リテ訂正ノ日ヨリ起算スル時ハ法定ノ期間ニ不足アルモ其訂正ハ選舉ノ期日ヲ變更シタルモノニアラサルヲ以テ訂正前ノ告示ヨリ起算シテ法定ノ期間アルニ於テハ該告示ニ依リテ執行シタル選舉ハ適法ナリ(町會議員選舉取消ニ關スル不當裁決取消請求ノ訴 明治三十二年第二十五號 明治三十二年五月二十六日宣告)

〔理由〕 被告ハ本件告示ノ更正ハ告示ノ翌日即チ四月二十二日ニ於テ更正シタルモノナレハ七日ノ期間ニ一日ノ不足ヲ生シ町村制第十九條ノ所謂選舉前七日ヲ限リ發シタル告示ニ非スト云フト雖本件折笠區ヘ對スル公告ノ更正ヲ爲シタル日ヨリ起算スルトキハ法定ノ期間ニ一日ノ不足アルハ事實ナルモ其更正ハ前日公告シタル選舉ノ日時ヲ變更シタルモノニ非スシテ單ニ其日時ノ誤記ヲ訂正シタルモノナルコトハ他ノ三區ヘ對スル公告ノ選舉日時ハ後ニ更正シタル折笠區ノ公告ノ日時ト同一ナルヲ以テ明カナリ而シテ誤記ノ訂正アリタル場合ニ於テハ其訂正ト同時ニ前ニ爲シタル公告ハ全然消滅シタルモノト言フヲ得サレハ本件ノ如キ訂正

前ノ公告ヨリ起算シテ七日ノ期間アル場合ニ於テハ町村制第十九條ノ規定ニ抵觸スルモノト云フヘカラス隨テ該公告ニ依リ執行シタル選舉ハ適法ニシテ之レヲ取消シタル被告ノ裁決ハ失當ノ裁決ナリト言ハサルヲ得ス

○ 訴願ハ其依ルヘキ法條ノ引用ヲ誤リタルカ爲メ無効トナルコトナシ(不當裁決取消ノ訴 明治三十二年第三十六號 明治三十二年五月二十九日宣告)

○ 家族ノ納税ハ戶主ノ納税資格ニ合算セス(同上)

○ 町有財産ニ對スル税ハ町ノ負擔ニ屬ス(同上)

○ 縦覽期限後ニ於テ關係者ノ訴願ナキニ町長カ町會ノ決議ヲ以テ選舉名簿ヲ修正シタルハ違法ナリ(同上)

〔理由〕 第一齋藤作太郎外一名カ最初訴願ヲ爲スニ當リ訴願書ニ制第三十九條ニ依リ云々記載シタリトノ點ハ必シモ法條ヲ掲クルヲ要セサルニ付其引用ヲ誤リタルカ爲メ訴願ノ無効トナルヘキモノニアラス第二家族ト戶主トハ納税上混同スヘキモノニアラサルヲ以テ別段ノ規定ナキ限ハ家族ノ納税ハ戶主ノ納税資格ニ合算スヘキモノニアラス第三町有財産ニ對スル税ハ町ナル法人ノ負擔スヘキモノナルヲ以テ假令小林猪之吉外四十三名カ五十里町有土地ニ對

スル地租ヲ賦課徵收セラレタリトスルモ之ヲ以テ同人等ノ納稅資格ヲ定ムルヲ得ス第四選舉人名簿ハ之ヲ關係者ノ縦覽ニ供シタル後ハ訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外何人タリトモ擅ニ修正スルコトヲ得サルモノナレハ五十里町長カ單ニ町會ノ議決ニ依リ名簿ヲ修正シタルハ適法ナリト云フヲ得ス

○投票ノ封緘ヲ要スルハ其記載事項ノ祕密ヲ保タシムルノ旨趣ナレハ投票ヲ糊貼シタル以上ハ封緘又ハ印ノ字ヲ記載セサルモ封緘ノ效ヲ有スルモノトス(村會議員定期半數改選ニ級選舉取消ノ訴 明治三十二年第三十二號 明治三十二年六月十六日宣告)

〔理由〕原告ニ於テ町村制第二十二條ニ投票ハ封緘ノ上差出スヘシトアルヲ以テ投票ハ糊付ヲ爲シタル上尙封緘又ハ印ノ字ヲ記載セサルハ本條ノ規定ニ適合スルモノニアラス然ルニ本件ニ於テ受理シタル投票ノ十中八九ハ糊貼シタルノミニシテ文字ノ記載ナキニモ拘ラス之ニ依リ選舉ヲ行フタルハ違法ナリト云フト雖モ同條ニ投票ノ封緘ヲ要スルハ其記載事項ノ祕密ヲ保タシムルノ旨趣ニ出タルモノナレハ投票ニシテ糊貼セラレタル以上ハ痕跡ヲ止メスシテ被見スルコト能ハサルヲ以テ此旨趣ニ適合シタルモノト謂フヘシ故ニ本件ニ於テ糊貼シタル投票ト糊貼ノ上尙文字ヲ記載シタル投票ノ二種ニ依リ選舉ヲ行フタルハ違法ナリト謂フヲ得

ス隨テ本件ノ選舉ハ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村制第三十條ノ規定ニ基キテ町村會ノ爲シタル當選無効ノ議決ニ對スル當選者ノ訴願ハ郡參事會ニ提出スヘキモノニシテ其議決ヲ爲シタル町會ニ向テ爲スヘキモノニアラス町會議員當選效力ニ關スル訴 明治三十二年第四十五號 明治三十二年六月十六日宣告

○裁判所構内ニ於テ代書業ヲ營ムノミヲ以テ町村制第十五條第四項ニ所謂他人ノ爲メニ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ニ該當ストナシ被選權ナシト爲シタルハ不當ナリ(同上)

〔理由〕原告ハ第一平町會カ町村制第三十條ニ依リ石坂令綱ノ當選無効ノ議決ヲ爲シタルニ對シ令綱ヨリ直ニ郡參事會ニ訴願シタルニ郡參事會カ之ヲ受理裁決シタルハ違法ナリト云フト雖モ令綱ハ右平町會ノ議決ニ依リ被選資格ヲ失フタルモノナレハ其救濟方法トシテ上級廳ニ訴願シタルモノニシテ町村制第三十七條ハ被選舉權ノ有無等ニ付救濟ノ方法ヲ設ケ且順次上級廳ニ其救濟ヲ求ムヘキノ規定ナルヲ以テ町村會ノ議決シタル同一事ニ對シ亦同會ノ裁決ヲ求ムヘキニアラサレハ本件ノ如キ場合ハ同條ニ依リ郡參事會ニ訴願シ權利回復ヲ主張スルコトヲ得ルノ法意ナリト解釋スルヲ相當トス從テ郡參事會カ令綱ノ訴願ヲ受理裁決シタルハ

違法ナリト云フヲ得ス第二假リニ訴願ノ手續正當ナリトスルモ石坂令綱ハ平區裁判所構内ニ於テ代書業ヲ營ミ且ツ登記出願ノ代人トシテ出頭スル者ニシテ即チ町村制第十五條第四項ニ所謂他人ノ爲メニ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ニ該當スト主張スレトモ此點ハ原告陳述ノ如ク令綱カ代書業ヲ營ム者トスルモ唯書類ノ代書ヲ爲スニ止マルノミ而シテ町村制第十五條第四項ハ此クノ如キ者マテモ無資格者ト爲スノ法意ニアラサルヲ以テ單ニ原告申立ノ代書業ノミヲ以テ令綱ニ被選權ナシト云フヲ得ス尤モ甲第三號證平區裁判所ノ回答書中「時々登記出願ノ代人トシテ出頭スルコト有之云々」トアルモ之ヲ以テ令綱カ登記願人ノ代人タルコトヲ業務トセルノ確證ト爲スニ足ラス

○町村制第二十二條第二項ノ規定ハ投票函ハ投票中相當ノ方法ヲ以テ之ヲ封鎖スヘキノ意義ニシテ必スシモ鎖鑰ヲ用フルコトヲ要ストノ法意ニアラス(村會議員選舉取消ノ訴 明治三十二年第五十九號 明治三十二年六月二十二日宣告)

○選舉人甲者カ自カラ選舉會場ニ入り乙者カ其投票ノ取次ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ代人投票ヲ爲シタルモノト謂フヲ得ス(同上)

〔理由〕 被告答フル要旨ハ原告ハ第一投票函ニ鑰ヲ爲サスシテ投票ヲ爲サシメ同函ノ鑰製造

ノ爲メ鍛工宮崎市藏ヲ會場ニ出入セシムルモ選舉錄ニ記載セシテ隱蔽シタリト云フト雖モ町村制第二十二條第二項ニ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ストアリテ投票時間中ハ開披スルヲ禁シタルモノナレハ之ニ相當ノ取締ヲ爲スヘキハ當然ノ事ナレトモ必ス鎖鑰ヲ用フヘキ法意ニアラサレハ紙ヲ以テ糊封スルモ妨ケナシ鍛工市藏ヲ會場ニ出入セシメタリト主張ハ認ムルニ足ルノ證據ナシ第二選舉權ナキ櫻木藤太カ入場シ數時間出沒シタリト立證スル甲第三號證ハ事後ニ於テ村長ノ陳述セシコトヲ筆記シタルモノナレハ之ヲ證據ト爲スニ足ラス第三選舉會場ニ於テ喜田伊三郎カ選舉者ヲ誘導恐嚇シタリト主張スルモ甲第一號證ヲ閱スルニ「午後一時全ク選舉事務ヲ了シ選舉ヲ閉ツトアル其次項ニ午後一時五分高田伊三郎外數名ノ申立云々」ト記載シアリテ既ニ當選者ノ決定後ニ於テ高田伊三郎等カ苦情ヲ述ヘタル事柄ニ過キササルモノナレハ之ヲ以テ誘導恐嚇シタリト認定スルヲ得ス第四大患人引田市藏ハ氏名モ揚言セス鈴江信一カ扶掖ヲナシ投票ノ取次ヲ爲シタルハ代人投票ナリト云ヘルモ本人自ラ選舉會場ニ入りタルコトハ爭ナキ事實ナレハ信一カ投票ノ取次ヲ爲シタル一事ヲ以テ代人投票ヲ爲シタリト謂フヲ得ス第五選舉會場ニ時計ヲ備ヘス役場ノ時計ヲ假用シタルノミナラス午後五時三十分ヲ六時ニ進メタリト論スレトモ選舉錄ニ何等ノ記載ナク又證據トス

ル甲第三號乃至五號證ハ事後ノ作製ニ係リ證據ト爲スニ足ラス其他陳辯スル所アルモ立證セ
ス又裁判ニ必要ナキヲ以テ説明セス

○選舉期日ニ至リ相當ノ理由アリテ豫定ノ期間ヲ繰下ケテ選舉ヲ開始シタルハ
違法ニアラス(村會議員選舉不當裁決取消ノ訴 明治三十二年第六十三號
明治三十二年六月三十日宣告)

〔理由〕 被告ニ於テ選舉ハ告示ノ時間ニ執行スルヲ要ス若シ其時間ニ執行スルヲ得サルトキ
ハ更ニ七日ノ期間ヲ置キ公告ノ上執行セザルヘカラス然ルニ本件ニ於テ豫定ノ時刻ヨリ一時
三十分ヲ繰下ケ直チニ選舉ヲ執行シタルハ町村制第十九條ニ違背セリト云フト雖該條ハ新タ
ニ選舉期日ヲ定ムル場合ニ對シ選舉前七日ヲ限リ其日時ヲ公告スヘキコトヲ規定シタルモノ
ニシテ選舉期日ニ至リ正當ノ理由アリテ豫定時間ヲ繰下ケ選舉ヲ開始スル場合ニ對シテモ更
ニ期間ヲ設ケ公告スヘキヲ命シタルノ法意ナリト解釋スルヲ得ス而シテ本件ニ級選舉ハ當日
午後二時ヨリ四時マテノ間ニ執行スヘキ旨公告シタルモ其前ニ執行スヘキニ級選舉ノ投票點
檢ニ豫想外ノ時間ヲ要シ爲メニ三時半ヨリ開始スルニ至リタルモノニシテ已ムヲ得サル事由
ニ出テタルモノト認ムレハ此場合ニ於テ更ニ公告ノ手續ヲ爲サス直チニ時間ヲ繰下ケ選舉ヲ
執行シタルモノ之ヲ違法ナリト謂フヘカラス尙被告ハ選舉人中多數ノ棄權者アリタルハ全ク時

間繰下ケノ結果ナリト申立ツルモ口頭一片ノ陳述ニ止マリ之カ證據ヲ提供セザルヲ以テ其事
實ヲ確認スルヲ得ス

○町村制第十八條第二項末段ノ規定ハ選舉權行使ノ上ニ制限ヲ加ヘタルモノナ
リ故ニ其實選舉權ヲ有スル者ト雖モ確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉權ヲ
行使スルコトヲ得ス(村會議員當選無効ノ訴 明治三十二年第三十號
明治三十二年十月十六日宣告)

○選舉前ニ選舉權ヲ得タル者ハ選舉名簿ニ登録セラレサル者ト雖モ被選舉權ヲ
有ス(同上)

〔理由〕 本件原告被告所爭ノ要點ハ選舉前ニ選舉權ヲ得タル者ハ選舉人名簿ニ登録ナキモ選
舉セラレハ、ヲ得ルヤ否ニ在リ而シテ原告ハ町村制第十五條ニ選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ
被選舉權ヲ有ストアリテ選舉權ヲ有セサル者ニ對シ被選舉權ヲ與ヘタル明文ナシ從テ同制第
十八條ノ選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ストハ即チ選
舉及被選舉ノコトヲ規定シタルモノナリト主張ス之ヲ審按スルニ被選舉權ハ原告主張ノ如ク
同制第十五條ニ依リ選舉權ト同時ニ享有スルモノナリ然レトモ第十八條第二項末段ノ規定ハ
選舉權行使ノ上ニ制限ヲ加ヘタルモノニシテ其實選舉權ヲ有スル者ト雖確定名簿ニ登録セラ

レサルトキハ其權ヲ行使スルヲ得スト云フニ過キサルナリ然ラハ則チ本件當選人小林保正ハ選舉前ニ二箇年ノ制限ヲ特免セラレ選舉權ヲ得タル者ナレハ確定名簿ニ登錄ナキカ爲メ其權利ヲ行使スルコト能ハサリシモ選舉セラル、ニハ毫モ妨ケナキモノトス

○一ノ選舉ニ關シ甲乙二個ノ訴願起リ甲訴願ノ裁決ニ對シ不服ヲ申立ツル者ナク法定ノ期間ヲ經過シ乙訴願ノ裁決ニ對シテ更ニ上級行政廳ニ訴願ノ提起アリタル場合ニ於テハ該選舉ノ效力ハ何人ニ對シテモ未タ確定セルモノトス

(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十一年第四百二十七號 明治三十二年十月二十三日宣告)

〔理由〕 本件ノ爭點ハ一定ノ選舉事件ニ付甲乙二個ノ訴願起リ甲訴願ノ裁決ニ對シ不服ヲ申立ル者無ク法定ノ期間經過シタルトキハ乙訴願ノ裁決ニ對シテ上級廳ニ提起シタル訴願ハ之ヲ却下スヘキヤ否ニ在リ按スルニ選舉ノ效力ヲ目的トスル訴願ハ訴願者ニ係ル關係ノ效力ヲ爭フニアラスシテ選舉其モノ、效力ヲ絕對的ニ爭フモノトス從テ同一選舉事件ニ付二個以上ノ訴願起リタル場合ニ於テ其中一個不服ヲ申立テラレサル裁決アルモ爾餘ノ裁決ニシテ不服ヲ申立テラレタル以上ハ選舉ノ效力ハ何人ニ對シテモ未タ確定セサルモノナルカ故ニ獨リ不服ヲ申立テラレサル裁決ヲ受ケタル者ニ對シテ確定スルノ條理ナン換言スレハ數個訴願ノ

全體結局ニ至ラサレハ選舉ノ效力確定セサルカ故ニ其中一個訴願訴訟繫屬中ノモノアルトキハ不服ヲ申立テラレサル裁決ハ確定效力ノ發生ヲ妨ケラルヘキモノトス然ラハ被告縣參事會ノ裁決ハ相當ニシテ民刑事事件確定判決ノ法則ニ基ツケル原告ノ攻撃方法ハ採用シ難シ

○町村制第二十二條第二項ニ投票ヲ終ル迄トアルハ豫告ノ投票時間ノ終了ヲ指スモノニアラスシテ事實上投票ヲ終了ヲ告クルコトノ意義ナリ(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十二年第四百十九號 明治三十二年十月二十七日宣告)

〔理由〕 被告ハ町村制第二十二條第二項ニ投票ヲ終ル迄トアルハ豫告ノ投票時間終了ヲ指スモノナルヲ以テ其豫告時間内ニ選舉ヲ終了シテ閉會シタルハ違法ナリト論スルモ同條第二項ニ投票ヲ終ル迄トアルハ豫告ノ投票時間終了ヲ指スモノニアラスシテ豫告時間ノ終了前ナリト雖事實投票ノ終了ヲ云フモノナリトス而シテ本件ハ選舉會ノ時間ヲ午前九時ヨリ午後四時迄ト豫告シ一級選舉人五十七名ノ内太田久四郎横川淺松ノ兩名ヲ除キ他ノ五十五名ハ選舉當日午後一時頃迄ニハ悉皆投票ヲ爲シ終リタルモノニシテ又右久四郎外一名ハ其日閉會前ニ疾病ノ爲メ當日參會シ難キ旨選舉掛長ニ對シ確報ヲ爲シタル事實ハ被告ニ於テモ認ムル所ナレハ右久四郎外一名ハ本件選舉ニ關シ投票ヲ爲サルモノト認メ得ヘク而シテ猶他ニ投票ヲ爲

スヘキ選舉人ナキコトハ明瞭ナレハ本件選舉ハ事實上已ニ投票ヲ終了シタルモノト云フヲ得ヘシ然ラハ豫告時間内即チ午後一時四十分ヲ以テ投票函ヲ閉チ選舉會ヲ閉鎖シタルモ選舉ノ規定ニ違背セサルモノトス

○止ムヲ得サルノ事由存セザルニ拘ハス一旦公告シタル選舉期日ヲ變更シタルハ違法ナリ(不當裁決取消ノ訴 明治三十二年第四百一十一號
明治三十二年十二月八日宣告)

〔理由〕 本件原被告爭フ所ハ村長カ其一旦定メタル選舉期日ヲ變更シタルトキハ更ニ選舉原簿ヲ調製セサル可カラサルヤ否ニ在リ然レトモ之ヲ決スルニ先タチ村長カ其期日ヲ變更セシハ適法ナリヤ否ヲ決セサルヘカラス何トナレハ此處置ニシテ違法ナル以上ハ他ハ論スルノ要ナケレハナリ依テ之ヲ審按スルニ選舉ノ期日ニ關シテハ町村制第十九條ニ選舉ヲ執行スルトキハ云々選舉前七日ヲ限リテ公告スヘシトアルノ外他ニ何等ノ規定スル所ナシ是ニ由テ之ヲ觀レハ法律ノ精神ハ其公告シタル期日ハ容易ニ變更セシメサルニ在ルヲ知ルヘシ然レハ之ヲ變更スルニハ止ムコトヲ得サルノ事由即如何ニシテモ選舉ヲ行フコト能ハサルノ事實ナクンハアラス然ルニ之ニ付村長ノ事由トスル所ヲ見ルニ事務ノ繁忙其他村役場狹隘ニシテ多數ノ選舉人ヲ容ル、ニ足ラスト云フニ過キスシテ未タ以テ期日ノ變更ヲ必要トスル事由ト爲スニ

足ラス本件選舉ハ既ニ此點ニ於テ違法トス

○村長カ其職務停止中ニ爲シタル公告ニ依リテ執行シタル選舉ハ違法ナリ(村會議員選舉取消ニ關スル訴 明治三十二年第八十七號
明治三十二年十二月十八日宣告)

〔理由〕 本件ハ明治三十一年四月二十日村長津田三郎カ其職務停止中選舉ノ公告ヲ發シ而シテ其公告ハ同月二十三日村長事務管掌者タル郡書記松下義男ニ取消サレ尙同月二十六日村長津田三郎ハ解職ノ處分ヲ受ケタルニ拘ラス同月二十九日同三十日ノ兩日ニ於テ選舉ヲ執行シタルノ事實ナリ抑村長津田三郎カ四月二十二日發シタル選舉ノ公告ハ村長ノ職務停止中ニシテ素ヨリ其職務ヲ行フコトヲ得サル時ニ於テ發シタルモノナルノミナラス村長事務管掌者タル郡書記松下義男カ其翌日即チ四月二十三日附ヲ以テ原告四號證ノ如ク古里村長津田三郎ハ四月二十日停職ヲ命セラレ而シテ婦負郡書記松下義男右村長事務管掌命セラレタルコト且ツ原告七號證ノ如ク四月二十二日附公告村會議員選舉等ハ其筋ノ命ニ依リ取消ス追テ其期日ヲ公告ス」ト公式ニ依リ一般ニ公告シタル以上ハ村長津田三郎カ停職中四月二十二日附ヲ以テ爲シタル公告ハ一般ニ對シ適法ノ公告アリタルモノト爲スヲ得ス然レハ本件選舉ハ町村制第十九條ニ規定セル正當ノ手續ヲ盡サルモノナルヲ以テ適法ノ選舉ナリト云フヲ得ス其他論

辯スル所アルモ裁判上必要ナキヲ以テ説明セス

- 選舉權ヲ有セサル甲乙兩人カ選舉ニ參與シタルハ違法ナリトノ理由ヲ以テ選舉全部ノ取消ヲ要求スル訴願ヲ縣參事會ニ提出シタル後ニ至リ丙丁兩人モ亦選舉權ヲ有セスシテ選舉ニ參與シタリトノ理由ヲ追加訴願トシテ提出シタルハ適法ナリ(不當裁決取消ノ訴 明治三十二年第八十七號)
- 訴願人ハ裁決前ニ在リテハ何時ニテモ訴願ノ理由ノ追加ヲ爲スコトヲ得(同上)
- 裁決中ニ援用シタル法條ニ誤記アルヲ以テ其裁決ハ無効ナリト謂フヲ得(同上)

〔理由〕原告ハ訴願ハ所争ノ目的アリ町村制第二十九條ノ期間内ニ一定ノ申立ヲ爲シ提起シ得ヘク選舉ノ日ヨリ百數十日後ニ至リ元來争議セサル事項ヲ記載シ同制第三十七條ノ順序ヲ經ス直チニ縣參事會ニ對シ追訴願トシテ提出シ得ヘキモノニ非ス縣知事モ亦法定ノ期間内ニ争議ナク經過シタル事項ニ對シ法律ノ認メサル追訴願ナルモノヲ受理裁決シ得ヘキモノニ非スト云フト雖元來本件訴願ハ選舉ノ效力ニ關スル訴願ニシテ訴願人ハ選舉ニ參與シタル渡邊重兵衛外一名ハ選舉權ヲ有セストノ理由ヲ以テ村會議員選舉ノ全部取消ヲ要求シタルモノナ

ルモ該訴願ヲ縣參事會へ提出シタル後訴願人ニ於テ更ニ追訴願ナルモノヲ提出シテ松本長藏外一名モ亦選舉權ヲ有セストノ理由ヲ追加シタルモノナリ故ニ其追訴願ハ選舉ヲ無効ナラシムル當初ヨリノ目的ヲ變更シタルモノニ非スシテ唯選舉無効追加ハ訴願人ニ於テ裁決前ニアリテハ何時ニテモ隨意ニ之レヲ爲シ得ヘキモノナレハ追訴願ハ法律上有效ノモノニシテ被告カ之レヲ受理裁決シタルハ適法ノ處分ナリト言ハサルヲ得ス又原告ハ被告ノ裁決書中町村制第三十條ニ依リ之ヲ受理シトアレトモ之レヲ適用スヘキ場合ニアラスト云フト雖被告ハ唯援用ノ法律規定ヲ誤リ記載シタルニ止マリ本件ノ如キ縣參事會ノ成立セサル場合ニ於テハ被告ハ舊府縣制第五十一條ニ依リ縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ヲ專決處分スルコトヲ得ルモノナレハ被告ノ裁決ハ適法ニシテ援用規定ノ誤記アルカ爲メ其裁決ヲ無効ナリトナスヲ得ス

- 町村制第二十二條ハ各選舉人ニ於テ隨意ニ數箇ノ投票ヲ差出スコトヲ許シタルモノニアラス選舉人ハ平等ニ各一個ノ投票ヲ差出スヘシトノ規定ナリトス(村會議員選舉效力ノ訴 明治三十二年第八十六號)

○選舉會場ニ出席シテ選舉ニ關與シタル選舉人ノ總數ト投票總數ト符合セスシ

テ過剩投票アリタル場合ニ於テハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルト否トニ拘ハラ
ス其選舉ハ違法ナリ(同上)

〔理由〕 原告所爭ノ要點ハ村會議員選舉ニ關シタル選舉人ノ員數ニ比シ三票ノ過剩投票
アルモ該三票ヲ當選者ノ得點數ヨリ差引キ尙落選者ヨリ多數若ハ同點數ナルモ年長者ニシテ
選舉ノ結果ニ異動ヲ來タサ、ル場合ニハ該選舉ハ有效ナルヤ否ニ在リ依テ按スルニ町村制第
二十二條ハ各選舉人ニ於テ隨意ニ數箇ノ投票ヲ差出スコトヲ許シタルモノニ非スシテ選舉人
ハ平等ニ各一個ノ投票ヲ差出スヘシトノ規定ガリト解釋セサルヲ得ス然ルニ本件選舉會場ニ
出席シタル選舉人ノ總數ハ三十四名投票總數ハ三十七票ニシテ其三票ノ過剩投票アルハ選舉
人ノ内何人カニ票以上ヲ差出シタル結果ナリト言ハサルヲ得ス故ニ本件村會議員一級定期改
選並ニ同補欠選舉ハ町村制第二十二條ノ規定ニ違背シタルモノトス而シテ同制第二十九條三
項ノ規定ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルト否トニ拘ハラス苟クモ違法ノ選舉アリタルトキハ其
選舉全部ヲ取消スヘシトノ規定ナレハ被告カ與ヘタル選舉無効ノ裁決ハ適法ノ裁決ニシテ之
レヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村制第十九條ノ規定ハ二級ノ選舉ヲ執行シ其選舉ヲ閉チタル後チ一級ノ選

舉ヲ行フヘシトノ法意ナリ(縣參事會裁決不服ノ訴 明治三十二年第八十二號)

明治三十二年十二月二十七日宣告)

○二級ノ選舉ノ閉會ヲ告ケサル内ニ一級選舉ヲ開始シタルハ一級二級ノ選舉共
ニ違法ナリトス(同上)

〔理由〕 原告ニ於テ議員ノ當選ハ選舉事務ノ遲速ニ關セス有權者ノ投票開札ノ結果ニ依テ定
マルモノナリ故ニ事務ノ終了ハ假令一級選舉時間ニ遷延セラレタリトスルモ當選者ハ午後二
時五十分投票ノ結果報告シタル時既ニ定マリタルモノナリ又町村制第十九條ハ一級二級ト各
級ニ選舉スヘキヲ命シタル法律ニシテ選舉掛ハ各級別々ニ區分シ任命スヘシトノ法律ニアラ
サレハ一級二級共通ニ兼任シタルハ違法ニアラス況ヤ一級二級各別ニ區分シ選舉セシメ又各
別ニ之ヲ取扱ヒタルモノナルニ於テヲ云フト雖町村制第十九條ニ定ムル二級一級ノ選舉
ヲ行フヘキ順序ハ二級ノ選舉事務ヲ行ヒ其選舉ヲ閉チタル後一級ノ選舉ヲ行フヘシトノ法意
ナリ故ニ選舉掛長カ同制第二十條ニ依リ閉會ノ宣言ヲ爲サ、ル前即チ投票ノ結果ヲ報告シタ
ルノミヲ以テハ該選舉ヲ終了シタルモノト謂フ可カラズ而シテ本件ハ二級選舉ヲ午後三時二
十五分ニ閉會シ其前午後三時ヨリ一級選舉ヲ開始シタルモノナレハ三時ヨリ三時二十五分ニ
至ル間ハ兩級ノ選舉ヲ共ニ施行シタルモノニシテ二級一級共ニ町村制第十九條ニ違背シタル

モノトス依テ青森縣參事會ヲ爲シタル明治三十二年六月十三日ノ裁決ハ取消スヘキモノニアラス

○選舉掛長ハ必要ト認タル場合ニ於テ選舉事務補助ノ爲メニ選舉掛ニアラザル者ヲ選舉會場ニ入ラシムルコトヲ得(村會議員違法選舉取消ノ訴 明治三十二年二月二十七日宣告)

○選舉掛ハ他人ヲシテ選舉錄ノ調製ヲ補助セシムルコトヲ得(同上)

○町村制第七條ニ所謂獨立ノ男子トハ二年以來獨立ノ男子タルコトヲ要ストノ意義ニアラス(同上)

○亡父ノ所有財産ヲ相續シタル者カ所有名義ノ書替ヲ爲サ、ルモ實際租稅ヲ納付シ來リタル以上ハ納稅者タルノ資格ヲ有ス(同上)

○二級選舉人ニ無資格者アリテ之ヲ除去スルモ一級選舉ニ異動ヲ生セサルトキハ一級選舉ハ取消スヘキモノニアラス(同上)

○〔理由〕原告ハ佐藤信外三名ヲ選舉會場ニ入ラシメタルハ町村制第二十一條ノ規定ニ違背スルモノナリト云フニアルモ同條ノ規定ハ選舉事務補助ノ爲メ必要ト認メ入場セシムルモノニ

至ルマテ之ヲ制限スル規定ニアラサルヲ以テ選舉掛長ニ於テ其必要ヲ認メ選舉事務補助員トシテ佐藤信外三名ヲ選舉會場ニ入ラシメタルモノナレハ違法ナリト云フヲ得ス又原告ハ右信外三名カ入場シテ選舉人ヲ誘導シ投票ノ検査又ハ取次ヲ爲シタリト主張スルモ果シテ其事實アリタリト認ムヘキ證左ナキヲ以テ原告ノ主張ハ採用セス又原告ハ選舉掛ニアラサル佐藤信ヲシテ選舉錄ヲ調製セシメタルハ町村制第二十七條ノ規定ニ違背スルモノナリト云フニアルモ佐藤信カ選舉錄ヲ調製シタリトノ原告ノ主張ハ之ヲ立證スルモノナク被告ノ申立ニ依レバ信ハ其調製ニ與リタルニ過キスシテ要スルニ信ハ其調製ヲ補助シタルニ止マレハ同條ノ規定ニ違背スルト云フヲ得ス又原告ハ横山喜佐久井上達美ノ二名ハ二年以來獨立ノ男子ニアラザレハ町村制第七條ニ依リテ公民タルノ資格ナシト云フニアルモ同第七條ニアル二年以來ノ文詞ハ下文ノ三個ノ要件ニ屬スル制限ニシテ獨立ノ男子タリシ後二年以上ノ期間ヲ要件トスルニアラス而シテ喜佐久ハ明治三十一年四月六日別居ノ届ヲ爲シ獨立ノ男子トナリ達美ハ明治三十一年二月十五日父隆意ノ死亡跡ヲ相續シ獨立ノ男子トナリシ事實ナレハ喜佐久達美ハ何レモ同條ノ所謂獨立ノ男子ニシテ其公民タル資格ニ欠クル所ナシ而シテ原告ハ佐藤勇吉ハ地所ヲ所有セス隨テ二年以來地稅ヲ納付シ來ラサルモノナレハ公民ノ資格ニ欠クル所アリト云

フニアルモ勇吉ハ明治十二年戸主トナリ同十八年父ノ所有財産ヲ相續シ亡父所有名義ノ儘實
際勇吉カ地租ヲ納付シ來リシ事實ナレハ單ニ其地所書替ノ手續ヲ爲サ、ルノ事ヲ以テ勇吉ニ
於テ町村制第七條ノ所謂納稅ヲ爲サ、ルモノト云フヲ得サレハ勇吉モ亦公民ノ資格ヲ欠クル
モノトスルヲ得ス而シテ右ノ如ク喜佐久外二名ハ公民タルノ資格ニ於テ欠クル所ナキヲ以テ
被告カ公民權欠缺ヲ認ムル太平吉彌太郎清之ノ三名ヲ二級選舉人ヨリ除去セハ一級選舉ニ異
動ヲ生スルヤ否ヲ調査スルニ選舉人全員ノ納稅總額ハ金千七百七十九圓三十五錢五厘ニシテ一
級末尾ノ高木長吉ノ納稅額七圓九十八錢又被被告カ本件選舉ノ際算出シタル一級ノ納稅額五百
九十一圓五厘右太平吉外二名ノ納稅額八圓十七錢ナルコトハ原告モ爭ヒナキ所ナレハ右全員
ノ納稅總額ヨリ先ツ無資格者タル太平吉外二名ノ右納稅額ヲ引キ其殘額ヲ折半スレハ一級納
稅額ハ五百八十五圓五十九錢トナリ然シテ此額ト前掲被告カ算出シタル一級納稅額五百九拾
一圓五厘ト比較セハ金五圓四十一錢五厘ノ超過アリ此超過アルハ右一級納稅額中ニ長吉ノ納
稅額ヲ包含スル所以ニシテ長吉ヲ一級ヨリ除去セントセハ一級納稅額五百八十五圓五十九錢
ノ金額ニ於テ金二圓五十六錢五厘ノ不足ヲ生シ總額ノ半數ヲ得サルニ依リ即チ長吉ハ一二級
ノ間ニ跨ルヲ以テ町村制第十三條ノ規定ニ從ヒ一二級ニ入ルヘキモノトス右ノ如クナレハ太平

吉外二名ヲ二級選舉人ヨリ除去スルモ毫モ一級選舉ニハ異動ヲ生セサルニ依リ一級選舉ハ之
ヲ取消スヘキ理由ナシ

○投票ニ殿ノ字、何村會議員候補者ノ文字及「 δ 」ノ字ヲ記入シ若クハ甲ト記シタル
文字ヲ塗抹シテ乙ト記シタルハ他事記入ノ投票ト謂フヲ得ス(村會議員選舉效
力ニ關スル訴 明治三十二年第七十八號
明治三十三年二月十四日宣告)

○町村制第二十三條第四號ニ所謂他事記入トハ選舉ニ有害ナル事項若クハ選舉
ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタルモノヲ云フ(同上)

〔理由〕原告ニ於テハ殿ノ字亦井村會議員候補者ノ字及「 δ 」ノ字ヲ記入シタル投票並ニ柴
崎ノ字ヲ塗抹シ傍ニ大平米治ト記シタル投票二十三點ハ他事記入ノ投票ニシテ無效タルノミ
ナラス右文字ハ選舉人被選舉人ノ間ニ於テ一種ノ意味ヲ含マシメタル記號ニ使用セシモノニ
シテ秘密投票ノ規定ニ違反スト主張スレトモ秘密投票ノ規定ヲ破ル目的ニテ記號ト爲セシヤ
否ヤハ該投票其モノ、ミヲ以テ之ヲ認ムルニ由ナク其他ニ證據ノ徵スヘキモノナキヲ以テ秘
密投票ノ規定ニ違反シタルモノト見ルヲ得ス而シテ殿ノ字ハ被選人ニ對スル敬稱ヲ用キタル
ニ止マリ亦井村會議員候補者ノ文字ハ被選人ト記シタルニ同シク其現在ノ位地ヲ示シタルマ

テニシテ「ル」ノ字ヲ記入シ若シクハ柴崎ノ字ヲ塗抹シテ大平米治ト記シタル如キハ被告答辯ノ如ク一ハ被選人ノ氏名ヲ列記シ終リタル意ヲ表ハシ一ハ被選人ノ氏名ヲ正誤シタルニ過キス抑町村制第二十三條第四號ニ規定スル他事記入トハ選舉ニ有害ナル事項若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタルヲ云フモノニシテ本件投票ノ文字ノ如キハ之ニ該當セサレハ之ヲ無効ノモノナリト謂フヲ得ス然ラハ被告ノ判決ハ相當ニシテ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○選舉資格ノ有無ハ選舉當時ノ現在ノ事實ニ依リテ決スヘキモノトス(村會議員選舉取消不服ノ訴 明治三十二年第二十七號
明治三十三年二月二十八日宣告)

○選舉人ノ階級ヲ誤リタル選舉人名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ無効ナリ(同上)
〔理由〕 本件ノ争點ハ多岐ニ亘レトモ其中森戸仙之助外十一名ハ無資格者ナリヤ否之ヲ無資格者トスレハ一級二級ノ選舉全體ヲ無効トスヘキヤ否ノ二點ヲ説明スルヲ以テ足レリトス第一點ニ關シテハ原告ハ森戸仙之助外十一名ハ凡テ無資格者ニアラスト主張スレトモ仙之助ノ資格ノ要件トナレル宇川中子地内ノ田地二筆ハ仙之助カ宮崎家ノ戸主中小松新右衛門外九名ト共有セシ所ニシテ其共有權ハ仙之助ノ特有財產タル證據ナキヲ以テ仙之助カ宮崎家ヲ離縁セシ後ハ宮崎家ノ相續人ニ移轉スルモノト見ルヲ相當トスルカ故ニ仙之助ハ其資格ノ要件タ

ル共有權ヲ有セサリシモノナリ櫻井藤三郎ハ所有地ヲ櫻井藤四郎ニ讓渡シ選舉ノ當時土地ノ所有權ヲ有セサリシコトハ當事者間ニ争ヒ無キ所ニシテ選舉人ノ資格ノ有無ハ選舉當時ノ現在ニ依リ決スヘキモノナレハ藤三郎モ亦無資格者ナリ而シテ藤田久外九名ハ孰レモ戸數割ノ賦課ヲ受ケサルモノタルヤ原被告異議ナキ所ニシテ甲第七號證玉川村助役ノ證明ハ一般ノ慣行ニ反シ信用スルニ足ラサレハ一戸ヲ構フルノ實ナク町村公民タル資格ヲ具ヘサリシモノト認定ス第二點ニ關シテハ森戸仙之助外十二名カ無資格者タルニ於テハ其納稅額ハ選舉人ノ總納稅額ヨリ控除スヘキモノニシテ之ヲ控除スルトキハ階級ノ區別ニ異動ヲ生スルコトハ原告告争ヒナキ所ナリ然ラハ本件選舉ハ不正ノ階級區別ニ基キ行ヒ町村制第十三條ノ規定ニ違背セルモレナレハ被告ニ於テ一級二級共ニ之ヲ無効トモシハ違法ニアラス

○村會議員選舉ノ投票用紙ニ普通ノ半紙ヲ用キタルハ違法ニアラス(違法村會議員選舉取消ノ訴 明治三十二年第八十七號
明治三十三年三月三十日宣告)

○選舉會場外ニ於テ投票ノ記入ヲ爲シタルハ違法ニアラス(同上)
〔理由〕 原告ハ無資格者山本源吉ナル者選舉會場ニ出入シ勸誘ヲ爲シタリト云フモ只多數選舉人ノ認ムル所ナリト云フニ止マリ他ニ何等ノ證據ナキヲ以テ之ヲ認ムルヲ得ス原告ハ又投

票用紙ニ普通ノ半紙ニツ切ヲ用ヒタルノミナラス選舉會場外ニ於テ投票ニ自書又ハ代書セシメタルハ違法ナリト云フモ法律上此事ニ就キ規定スル所ナキニ依リ之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス

○町村制第二十一條ハ選舉ニ無關係ナル者ノ入場ヲ禁シタル規定ニシテ選舉人トシテ選舉會場ニ入り選舉終了後ニ選舉資格ナキコトヲ發見シタル場合ニハ之ヲ適用セス(村會議員選舉取消ニ關スル縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴

明治三十二年第六十號
明治三十三年三月三十日宣告)

○選舉資格ヲ有セサル者ノ爲シタル投票ハ無効ナリ(同上)

○無資格者カ投票ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ直ニ選舉全部ヲ無効トスヘキモノニアラス(同上)

○無資格者ノ爲シタル投票ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ當選ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ有效ナリ(同上)

〔理由〕 本件所爭ノ要點ハ町村制第七條ノ要件ヲ具備セサル小倉助五郎カ確定名簿ニ誤載シアリタル爲メ選舉會場ニ入場投票ヲ爲シ選舉終了後ニ至リ其無資格者ナルコトヲ發見セラレ

タル場合ニハ選舉全部ヲ取消スヘキモノナルヤ否ヤニ在リ而シテ被告ハ本件ハ無資格者ヲシテ入場投票ヲ爲サシメタルモノナレハ町村制第二十一條ノ規定ニ背反シ同制第二十九條ノ所謂選舉ノ規定ニ違背スルモノナレハ選舉全部ヲ取消スヘキモノナリト云フト雖モ町村制第二十一條ノ規定ハ選舉ニ無關係ナル者ノ入場ヲ禁シタル規定ニシテ本件ノ如ク選舉人トシテ入場シ選舉終了後ニ其資格ニ缺クル所アルコト發見セラレタル場合ニ之レヲ適用スヘキモノニ非ス然レトモ事實無資格タル小倉助五郎ノ爲シタル投票ハ町村制第七條第十二條ノ規定ニ該當セサル者ノ爲シタル投票ナレハ該投票ハ有效ノモノト言フヲ得ス然ルニ小倉助五郎ノ投票ハ果シテ何人ノ得票ニ歸シタルヤヲ知ルヲ得サレハ本件ノ場合ニハ假リニ一票ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ尙ホ次點者ノ得票ニ比シ多數ナルヲ以テ當選者ニ異動ヲ生セサルモノト決定セサルヘカラス而シテ町村制第二十九條第三項ノ選舉全部ヲ取消スヘキ場合ハ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ本件ノ如キ同制第七條第十二條ノ規定ニ牴觸スル場合ニ適用スヘキ規定ニアラサルヲ以テ之レヲ適用シテ以テ本件選舉全部ヲ取消シタル被告ノ裁決ハ其當ヲ得タルモノニアラス

○選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ裁決スルニ付甲者ノ得點ハ選舉録ノ得點ニ依リ乙

者ノ得點ハ再調査ノ得點ニ依リテ之ヲ定メタルハ違法ナリ(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十二年第五百七十九號 明治三十三年五月十四日宣告)

〔理由〕 本件ノ所争ヲ斷スル要點ハ被告カ齋藤富平ノ得點ヲ百三十七點トシ金子淳一ノ得點ヲ百三十六點トシ之ヲ標準トシテ裁決ヲ爲シタルハ相當ナリヤ否ヤニ在リ按スルニ被告ハ再調査ノ得點數即チ齋藤富平ノ百三十七點金子淳一ノ百三十五點ハ曾テ認知セサリシモノナルノミナラス當初ヨリ訴願ノ材料トナリタルコトナキモノナリト陳辯スルモ甲一號證ナル裁決書及乙第二號證ナル訴願狀ヲ閱スルニ其文中何レモ齋藤富平ノ得點ヲ百三十七點ト訂正シ金子淳一ノ得點ヲ百三十五點ト訂正シ云々ト明記シアルノミナラス甲二號證ナル選舉錄ニ依レハ齋藤富平金子淳一ノ得點ハ共ニ百三十六點ナルニ拘ラス被告カ齋藤富平ノ得點ヲ百三十七點トシテ裁決ヲ爲シタルヲ見レハ必竟再調査ニ於ケル齋藤富平ノ得點ヲ採リタルニ外ナラス是等ノ事實ニ徴スルモ被告ハ再調査ノ得點ヲ認知シ之ヲ裁決ノ材料ニ供シタルモノト認めサルヲ得ス然レハ金子淳一ノ得點數ニ付テモ亦再調査ノ得點百三十五點ヲ採リ之ヲ標準ト爲ス可キ筈ナルニ事茲ニ出テス選舉錄ノ得點百三十六點ヲ採リ以テ裁決シタルハ原告所論ノ如ク一ハ再調査ノ得點ニ依リ一ハ選舉錄ノ得點ニ依リタルモノニシテ即チ基本タル可キ標準ヲ誤

リタルモノト云ハサルヲ得ス而シテ今雙方共ニ再調査ノ得點數即チ齋藤富平ノ百三十七點金子淳一ノ百三十五點ヲ採リ之ヲ標準ト爲シ百三十七點ヨリ無効投票ノ二票ヲ控除スルモ仍ホ年長者タル齋藤富平ノ當選者タルコト明瞭ナリ故ニ本件ノ如キ場合ニ在テハ選舉ノ結果如何ニ論及スル必要ナク隨テ選舉ノ全部ヲ無効トスヘキモノニアラス

○選舉人トシテ召集セラレ選舉會場ニ入場シテ投票ヲ爲シタル後ニ至リ無資格者ナルコトヲ發見セラレタル場合ハ選舉ニ關係ナキ者ノ入場トシテハ町村制第二十一條ヲ適用スヘキモノニアラス(不當裁決取消ノ訴 明治三十二年第五百四十八號 明治三十三年六月十五日宣告)

○町村制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉ノ全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ニ適用スヘキモノトス(同上)

〔理由〕 被告ニ於テ町村制第二十一條第二十二條第二項ノ規定アルヲ以テ選舉人員ニ超過スル投票アルヘキ理ナク其參會ノ選舉人中二重ノ投票ヲ爲シタルモノアルコトヲ推知スルヲ得ヘシ又無資格者ハ選舉ニ參與スルヲ得サルモノナリトス故ニ此超過又ハ參與ノ確證アル以上ハ其選舉ハ定規ニ違背シタルモノナリト云フト雖モ町村制第二十一條ハ選舉ニ關係ヲ有セサル者ノ入場ヲ禁シタル規定ナリ而シテ本件一級定期選舉及一級補闕選舉ハ無關係者入場ノ形

跡ナク又二級定期選舉ハ選舉人トシテ招集セラレ入場シテ投票ヲ行フタル後無資格者ナルコトヲ發見セラレタル場合ナルヲ以テ共ニ該條ヲ適用スヘキモノニアラス然レトモ事實一級定期選舉並ニ一級補闕選舉ニ在リテハ各一箇ハ過剩投票ナリト認定ス又二級選舉ニ在リテハ無資格者ナル鈴木吉太郎ノ爲シタル投票ハ同制第七條第十二條ノ規定ニ該當セサル者ノ爲シタル投票ナレハ共ニ之ヲ有效ナリト謂フヲ得ス然ルニ右投票ハ各選舉ニ於テ何人ノ得票ニ歸シタルヤヲ知ルコトヲ得サルニ因リ假リニ一票ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ尙次點者ノ得票ニ比シ多數ナルハ各選舉錄ニ徴シ明カナルヲ以テ當選者ニ異動ヲ生セサルモノト決定セサル可カラス又同制第二十九條第三項ノ選舉ヲ取消スヘキ規定ハ選舉全體ニ影響スル環瑾アル場合ニ適用スヘキモノニシテ本件ノ如キ場合ニ適用スヘキ規定ニアラサルニ由リ之ヲ適用シテ以テ各選舉ヲ取消シタル被告ノ裁決ハ其當ヲ得タルモノニアラス

○選舉掛長ハ村役場書記ヲシテ選舉會場ニ入り選舉事務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得(村會議員選舉取消ノ訴願ニ付與ヘラレタル裁決不服ノ訴 明治三十二年六月二十七日宣告)

〔理由〕原告主張ノ第一第二ハ選舉人名簿ハ縦覽後ニ至リ恣ニ變更シタルモノナレハ選舉原簿ト人名ノ順序不揃ナルノミナラス一級ノ納稅額ハ二級ヨリ多キコト委員ノ報告ニ依ルモ尙ホ金三十圓餘ナルヲ以テ最初ヨリ正確ニ成立セシモノニアラスト云フニ在レトモ名簿縦覽後ニ至リ恣ニ之ヲ變更シタルモノナリト確認スヘキ證左ナク又選舉人一級二級ノ區別ニ於テ納稅額金三十圓餘ノ差額アリト云フモ被告ニ於テ原簿ヲ調査シ該差額ハ四圓四錢五厘ノ違算アリタルニ止リ爲メニ等級ニ異動ヲ生セサルノミナラス選舉人ノ納額ヲ誤リタルモノニアラストノ陳述ハ信ヲ措クニ足ル其第三ハ無資格者荒井彌三郎カ入場シテ選舉錄ヲモ書記セシハ町村制第二十一條ニ違フモノナリト云フニ在レトモ同條ノ規定ハ選舉ニ關係ヲ有セサルモノノ入場スルコトヲ禁シタルモノナレハ選舉掛長ニ於テ村役場書記ヲシテ選舉場ニ入り選舉事務取扱ノ補助ヲ爲サシメタル如キハ該條ノ規定ニ背キタルモノト謂フヘカラス故ニ本件選舉ハ取消スヘキモノニアラス

○選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外之ヲ動かカスコトヲ得ス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十二年第三十四號 明治三十三年七月九日宣告)

○選舉人名簿ノ確定シタル以上ハ一級二級ノ級別ヲ誤リタルノ事實アリトスルモ其名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(同上)

〔理由〕 被告ハ原告ニ於テ町村公民タル資格ナキ飯野辰吉見目辰吉ノ二人ヲ名簿ニ登載シ之ヲシテ選舉ニ參與セシメタルハ違法ナレハ本件二級選舉ハ無効ナリト云フト雖選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外動スヲ得サルモノナレハ假リニ右二人ヲ無資格者ナリトスルモ名簿ヨリ之ヲ取除クヘキ道ナキヲ以テ隨テ之ヲシテ選舉ニ參與セシメタルハ違法ニアラス然レハ被告ニ於テ之ヲ理由トシテ提出シタル野澤定吉外五十一名ノ選舉效力ニ關スル訴願ヲ容レ本件選舉ヲ無効ト爲シタルハ違法ナリ又被告ハ一級ノ未筆者平塚磯松ハ二級ニ下ルヘキモノニシテ既ニ此點ニ於テ級別ヲ誤リ居ルノミナラス二級ノ總額ヨリ前記兩人ノ納額ヲ控除スルトキハ益一級ニ二級選舉人ヲ加ヘタル事實ヲ現出スルヲ以テ一級選舉モ亦無効ナリト云フト雖モ選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外動スヲ得サルモノナレハ假令實際ニ級別ヲ誤リタル事實アルモ法律上之ヲ正當ノモノト認メサルヘカラス然レハ被告カ野澤定吉外五十一名ヨリ提出セシ選舉效力ニ關スル訴願ノ裁決ニ於テ之ヲ理由トシ本件選舉ヲ無効ト爲シタルモ亦違法ナリ

○ 町村會議員選舉ノ公告ハ選舉執行ノ日ヨリ七日前ニ爲スコトヲ要ス(不當裁決取消ノ訴 明治三十三年第十九號 明治三十三年十二月二十八日宣告)

○ 法定ノ期限内ニ公告ヲ爲サスシテ執行シタル選舉ハ町村制第二十九條第三項ニ依リ其全部ヲ取消スヘキモノトス(同上)

〔理由〕 本件所爭ノ要點ハ十月七日ヲ以テ本件選舉ノ日ヲ公告シ同月十三日ニ選舉ヲ執行シタルハ町村制第十九條ノ規定ニ違背シ同第二十九條第三項ニ依リ其選舉全體ヲ取消スヘキモノナルヤ否ニアリ依テ按スルニ町村制第十九條第一項ニハ選舉ヲ執行スルトキハ町村長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ云々選舉前七日ヲ限り之ヲ公告スヘシトアリテ其公告ハ選舉ノ日ヨリ七日前ニ發スヘキモノナルニ本件選舉ハ十月七日ヲ以テ公告ヲ爲シ同月十三日ニ執行シタルモノニシテ即チ一日ヲ短縮シタルヲ以テ同制第十九條ノ規定ニ違背スルモノト謂ハサルヲ得ス而シテ町村制第二十九條第三項ノ選舉全部ヲ取消スヘキ場合ハ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ニ適用スヘキ規定ニシテ本件ノ如キハ同條ノ所謂選舉ノ規定ニ違背シ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ナルヲ以テ右第二十九條第三項ノ規定ニ依リ其選舉全部ヲ取消スヘキモノナリトス故ニ被告カ本件選舉ヲ取消シタルハ相當ニシテ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス

○ 四名ノ選舉掛中闕席者アルモ出席者二名ヲ下ラサル限りハ一時二名若クハ三名ノ選舉掛ト選舉掛長トヲ以テ選舉ヲ執行スルコトヲ得不當裁決取消要求ノ

訴 明治三十四年第六十一號
明治三十四年六月二十九日宣告

○選舉掛ト選舉掛長トヲ併セ偶數ノ人員ヲ以テ選舉ヲ繼續スルモ町村制第二十三條ニ定メタル投票ノ受理並ニ效力ニ關スル假議決ヲ爲シタル事實ナキ以上ハ其選舉ハ適法ナリ(同上)

○選舉錄ニ不備ノ點アルモ適法ニ執行シタル選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスコトナシ(同上)

○村會カ裁決書ヲ訴願人ニ交付スル以前ニ於テ裁決更正ノ爲メ再議ヲ爲スハ其權能ニ屬ス(同上)

〔理由〕原告ニ於テハ第一村長ノ選任シタル選舉掛四名中闕席者ヲ生シ之ヲ補充スルニ至ルマテ一時二名若クハ三名ノ選舉掛ト掛長トヲ以テ組織シタル選舉會ニ於テ投票ヲ進行シタルハ町村制第二十條ノ違背ナリト云フト雖町村制第二十條ニハ選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其代理者ハ其掛長トナリ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ストアリテ終始四名ノ立會ヲ要スル趣旨ナリト解釋スヘカラサルヲ以テ苟モ二名ノ數ヲ下ラサル限リハ一時既定ノ人員ヲ備ヘサリシトノ故ヲ以テ之ヲ違法ナ

リト謂フヲ得ス又三名ノ選舉掛ト掛長ト偶數ノ人員ニテ投票ノ進行ヲ繼續シタル際ニ於テハ投票ノ受理並ニ效力ニ付テ何等別段ノ議決ヲ爲シタルコトナシ元來同條ニ於テ選舉掛二名若クハ四名ノ偶數ヲ選任スルノ規定ハ第二十三條ノ假議決ヲ爲ス場合ニ於テ掛長ヲ併セ奇數ノ人員ヲ要スルカ爲メナレハ二名ノ選舉掛ト掛長ト偶數ノ人員ニテ選舉ヲ繼續スルモ假議決ヲ爲セシコトナキ以上ハ是亦違法ナリト謂フヲ得ス第二選舉掛長ハ選舉開會中選舉人ノ會場ニ出入スルヲ禁止シタル爲メ有權者中投票ヲ爲スヲ得サリシ者十二名ヲ生スルニ至リタルハ確定名簿人員總數百四十五名ノ中投票ヲ爲セシモノ百三十三名ニ止マル事蹟ニ依テ明カナリト云フト雖選舉掛長ノ處置ハ既ニ投票シ了リタル原告ニ退場ヲ命シ又投票函閉鎖時刻經過後開會ノ際ニ於テ會場取締ノ爲メ參觀者ノ入場ヲ許サ、リシニ止マリ選舉人ニ對シ選舉權ノ行使ヲ妨ケタル事蹟ノ見ルヘキモノナシ夫ノ確定名簿ニ登載セラレタル有權者ノ如キハ事實上皆悉ク投票ヲ爲ス者ト限ラサレハ確定名簿ノ人員ト實際投票ヲ爲セシ人員トノ差數ヲ以テ選舉掛長ノ處置ノ結果選舉權ノ行使ヲ妨ケラレタル者ナリト推斷スルヲ得ス而シテ町村制第二十七條ニハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ云々ト規定スルニ止マリ其他ニ記載スヘキ事項ノ規定ナキヲ以テ前段事項ノ如キハ必ス記載スヘキモノト論スルヲ得サルノミナラス假リニ其

ノ記載ナキハ選舉錄ノ不備ナリトスルモ之レカ爲メニ適法ニ執行シ了リタル選舉ニ何等ノ影響ヲ及ホサハルモノトス第三原告ノ訴願ニ對シ村會ニ於テ一旦原告要求通りノ裁決ヲ爲シタルニ村長ハ其裁決書ヲ原告ニ交付セス更ニ裁決更正ノ議決ヲ爲サシメタル上之ヲ交付セシム不當ナリト云フト雖村會カ必要ニ應シテ交付以前ニ於テ裁決更正ノ爲再議ヲ爲スハ其權能ニ屬スル事項ナレハ之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス

○選舉人確定名簿ニ登載セラレタル者カ自家ヲ廢シテ他家ニ入ルモ町村制ノ定ムル公民ノ要件ニ缺クル所ナキ以上ハ其公民權ニ影響ヲ及ホスコトナシ(村會議員當選取消ノ訴 明治三十年第六十號 明治三十四年七月五日宣告)

○選舉人名簿ニ登載セララル、コトハ選舉權行使ノ條件ニシテ被選舉權ノ有無ニ關係ナシ(同上)

〔理由〕原告ニ於テハ第一確定名簿ニ登載セラレタル梨本貞吉カ自家ヲ廢シ公民權ナキ田原家ヲ繼承シタル以上ハ公民權ヲ喪失シタルモノナリト云フト雖町村制第七條ノ要件ハ人ニ由リ定メタルモノニシテ家ニ由リ定メタルモノニアラサレハ貞吉ニシテ同條ノ要件ニ缺クル所ナキ以上ハ其ノ自家ヲ廢シタルト梨本家ヲ繼承シタルトハ同人ノ有スル公民權ニ何等ノ影響

ナキモノトス第二選舉人名簿ニハ梨本貞吉トシテ確定シタルモノニシテ選舉當日貞吉ハ事實上既ニ田原貞吉トナリタル以上ハ公民權ヲ有スル梨本貞吉ハ既ニ存在セサル理ナレハ貞吉ノ當選ハ無効ナリ第三選舉人名簿ニ無キ田原貞吉ヲ以テ同人名簿ノ梨本貞吉トシテ之ヲ當選者トシタルハ確定名簿ヲ修正スルニ等シキ不法アリト云フト雖選舉人名簿ハ畢竟選舉權行使ノ條件トシテ定メラレタルニ外ナラスシテ被選舉權ノ有無ニ關係ナシ故ニ田原貞吉ニシテ前段説明ノ如ク公民權ヲ有スル以上ハ其當選ハ有效ニシテ名簿登載ノ如何ハ其ノ當選效力ヲ動カスニ足ラサルモノトス

○町村制第三百三十五條ニ規定セル町村最終ノ人口トハ内閣統計局ニ於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ヲ謂フ(村會議員選舉ノ效力ニ關スル不當裁決取消ノ訴 明治三十四年第二百十號 明治三十四年十二月十八日宣告)

〔理由〕原告ハ町村制第十一條及第三百三十五條ノ所謂人口トハ現實ノ人口ヲ指スモノニシテ明治三十三年二月一日附ノ官報ニ掲載セル神代村ノ人口數ノ内ニハ失踪者アルヲ以テ之ヲ控除スレハ現實千五百人未滿ナルヲ以テ之ヲ最終ノ人口トシ之ニ基キ議員ノ定員ヲ定ムヘキモノナリ假リニ官報ニ掲載セル人口ニ依ルヘキモノトスルモ本件選舉ハ正當ノ手續ヲ履行シタ

ルモノニシテ毫モ瑕瑾ナケレハ之ヲ取消シ更ニ選舉ヲ爲スヘキ理由ナシ單ニ増加議員ニ對スル選舉ノミ執行スヘキカ正當ナリト云フニアレトモ村會議員ノ定員ヲ定ムルニハ町村制第十條ニ掲ケアル人口標準ニ依ラサルヘカラス而シテ該標準ハ同制第三百三十五條ノ最終ノ人口調査ヲ基礎ト爲スヘキ規定ナルコトハ原告モ爭ヒナキ所ナリ而シテ明治三十二年内務省令第五十八號ニ依レハ町村制第三百三十五條ニ規定セル町村最終ノ人口トハ内閣統計局ニ於テ調査シ官報ヲ以テ報告スル最近ノ人口ヲ以テ最終ノ人口ト爲スヘキ旨ヲ規定セルカ故ニ假令失踪者アリテ現在ノ人口ハ原告主張ノ如クナリトスルモ本件村會議員ノ定員ヲ定ムルニハ明治三十三年二月一日附官報ニ掲載セル神代村ノ人口千五百十三人ヲ基礎トシ同制第十一條ニ依リ議員ノ定員ヲ十二名トシ以テ選舉ノ執行ヲ爲サ、ルヘカラス然ルニ原告カ該官報ニ千五百十三人トアルモ其内失踪者アリトノ理由ヲ以テ之ヲ控除シ千五百人未滿ト爲シ之ニ依テ議員ノ定員ヲ定メ半數改選ヲ爲スニ當リ一級二級合セテ四名ヲ選舉シ増加スヘキ議員ヲ選舉セサルハ同制第十一條ノ規定ニ違背セルモノト云ハサルヲ得ス然ラハ同制第二十九條ノ規定ニ依リ本件選舉ノ全部ヲ取消スヘキモノトス以上ノ如クナルヲ以テ原告ノ主張ハ其理由ナキモノトス

○選舉無資格者カ選舉人ノ代人トシテ選舉權ヲ行使スルノ目的ヲ以テ選舉會場ニ入りタルハ町村制第二十一條ノ規定ニ違背スルモ之カ爲メ其選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキモノニアラサレハ同制第二十九條第三項ノ規定ニ該當セス(村會議員二級選舉取消ノ訴 明治三十四年第八號 明治三十五年二月十九日宣告)

〔理由〕 按スルニ秋山吉太郎カ選舉會場ニ入場シタルハ選舉人トシテ入場シタルニ非スシテ父慶次郎ノ選舉權ヲ行使センカ爲メ入場シタルモノナルコトハ原告ノ求メニ依リ提出セシメクル聴取書謄本ト題セル書面ニ依リ明カナルヲ以テ町村制第二十一條ノ規定ニ違背スルモ之カ爲メ選舉全體ニ影響ヲ及ホサ、ルヲ以テ町村制第二十九條第三項ノ規定ニ該當セス其他原告ハ選舉人等ノ中自己ノ氏名住所ヲ掛長ニ申立テス自ラ投票ヲ投票函ニ投入シタル者及無封緘ノ投票ヲ爲シタル者數多アリト主張スルモ選舉録ニ何等ノ記載ナク且原告ニ於テ其舉證ヲ爲サ、ルヲ以テ之ヲ事實ナリト認ムルコトヲ得ス殊ニ無封緘ノ投票ニ付テハ原告ノ求メニ依リ提出セシメタル郡參事會ニ於ケル問答書ヲ見ルニ投票ノ封緘ナキ事實アリヤ如何トノ參事會員ノ問ニ對シ選舉掛長本莊武八郎ハ封筒ヲ用ヒアリシ然レトモ今ハ保管ナシ只茲ニ二枚アリト答ヘ又然レハ渾テ上封シアリシヤトノ問ニ對シ選舉立會人平島清次ハ皆上封シアラス單

ニ投票紙ニ糊付シアルモアリ其數不明ナルモ上封シアルモノハ七分許リト思フト答ヘアルニ依レハ却テ投票ハ悉皆封緘シアルタルモノト認ムルコトヲ得要スルニ原告ノ主張ハニモ選舉ヲ取消スヘキ理由ト爲スニ足ラサルモノトス

○選舉掛ノ一人カ投票執行中一時其席ヲ離ル、モ町村制第二十條ノ規定ニ違背スルモノニアラス(村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴 明治三十四年第四百六

十號
宣誓)

○選舉人カ其投票ヲ選舉掛長ニ差出サスシテ自ラ投函シタルハ町村制第二十二條ノ規定ニ違背スル行爲ナレハ其投票モ亦無効ナリ(同上)

〔理由〕 選舉掛高木惣次郎カ成田勇助ノ投票執行中其席ヲ離レタルコトノ如キハ町村制第二十二條ノ規定ニ違背スルモノト謂フヘカラス又選舉人鎌田重次郎大川清三郎ノ二名カ其投票ヲ選舉掛長ニ差出サスシテ自ラ投函セシハ町村制第二十二條ノ規定ニ違背スル行爲ナレハ其二箇ノ投票ハ無効ノモノナルコト勿論ナリト雖假ニ右二票ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ其得票次點者ノ得票ニ比シ尙二十餘票ノ多數ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルヲ以テ兩者トモ選舉ヲ無効トスヘキ理由ト爲スニ足ラス

○本籍タル甲村ニ家族ヲ留メ置キ自己ノ名ヲ以テ諸税ヲ納ムル者ハ單身乙町ニ寄留スルモ依然甲村ニ住所ヲ現有スルモノナレハ甲村ノ住民ナリトス(村會議員選舉取消ノ訴 明治三十四年第二百十七號
明治三十五年二月二十八日宣誓)

〔理由〕 原告ニ於テ渡邊吉次郎カ西方村ニ於テ本籍ヲ有スルモ單身鹿沼町ニ寄留シ同町ニ於テ一戸ヲ構ヘ戸數割ヲ負擔スル以上ハ鹿沼町ノ住民ナルコトハ爭フヘカラサルノ事實ニシテ西方村ニハ一家ノ都合上其家族ヲ住居セシムルニ過キサレハ西方村ヲ以テ吉次郎ノ住所ト認ムヘカラスト云フト雖吉次郎カ從來西方村ノ住民ニシテ一戸ヲ構ヘ國稅及其他ノ諸税ヲ負擔スル者ナルコトハ乙第一、第二號證ニ依リ明瞭ナリ而シテ同人ハ明治二十一年以來營業上ノ必要ヨリ單身鹿沼町ニ寄留スルモ之ト同時ニ西方村ニ於テモ本籍ヲ有シ家族ヲ留メ置キ自己ノ名ヲ以テ諸税ヲ納ムルモノナレハ同村ニ於テ依然住所ヲ現有スルモノト認ムヘク隨テ吉次郎ハ西方村ノ住民ニアラスト云フヲ得ス

○選舉掛ニ於テ縱令不正ノ投票ト認ムルモ先ツ之ヲ開緘シテ調査ヲ遂ケタル後其效方ヲ假決スヘキハ町村制第二十三條ノ法意ナリトス故ニ不正ノ投票ト認メ之ヲ未開緘ノ儘棄却シタルハ違法ナリ(村會議員選舉取消處分ニ關スル訴

明治三十四年第四百十五號
明治三十五年三月七日宣告

〔理由〕 原告ハ町村制ニ投票ノ棄却ヲ制裁スヘキ規定ナキヲ以テ過剩ニ係ル未開ノ投票ヲ棄却シタルハ違法ニアラスト云フト雖本件棄却投票ハ現ニ投票函中ニアリタルモノナレハ選舉掛ニ於テ假令不正ノモノト認ムルモ先ツ之ヲ開緘シテ調査ヲ遂ケ然ル後其效力ヲ假決スヘキハ同制第二十三條ノ法意ナリトス故ニ原告ハ之ヲ違法ニアラスト謂フヲ得ヌ又原告ハ選舉掛ノ決定ニ關シテハ何人モ其權能ニ侵入スルヲ得スト辯スルモ郡長ハ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ處分ヲ行フコトヲ得ヘキハ同制第二十九條ノ明示スル所ナレハ原告ノ主張ハ正當ノ理由ナシ然レハ本件選舉ニ於テ棄却シタル投票ハ何人ヲ選舉シタルモノナルカ之ヲ知ルニ途ナキモノナレハ該投票ハ假リニ次點者ヲ選舉シタルモノトシ之ヲ次點者ノ得票ニ加フレハ次點者ハ却テ高點者トナリ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アルヲ以テ同制第二十九條ニ依リ本選舉ヲ取消シタル處分及ヒ裁決ハ適法ノモノトス

○町村會議員ノ選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ヌ從テ縱合納稅額査定ノ時期ヲ誤リタル原簿ニ基キ調製セシ選舉人名簿ナリト雖モ既ニ確定名簿トナリタルモノナル以上ハ之ニ依リ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(村會議員選舉取消ノ訴 明治三十四年三月十七日宣告)

〔理由〕 原告ハ本件選舉ノ投票函ハ鎖鑰ヲ施サ、ルヲ以テ選舉人ハ投票ノ都度蓋ヲ取り開キ之ニ投入シタルモノナレハ町村制第二十二條第二項ニ違背セル選舉ナリト主張スルモ其事實ヲ認ムヘキ確證ナク甲第二號證ハ單一私人ノ證明書ニ過キサレハ之ヲ以テ原告ノ主張ヲ確ムル證據ト爲スニ足ラヌ又原告ハ本件選舉名簿ハ納稅額査定ノ時期ヲ誤リタル原簿ニ基キ調製セラレタルモノニシテ之ニ據リ執行シタル本件選舉ハ無効ナリト主張スルモ町村會議員ノ選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ依ルニアラサレハ之ヲ動かスコトヲ得サルモノニシテ本件名簿ハ既ニ確定シタルモノナレハ法律上正當ノモノト云ハサルヘカラサルヲ以テ假ニ原告主張ノ如キ事實ナリトスルモ該名簿ニ依リ執行シタル本件選舉ハ違法ナリト云フヲ得ヌ又選舉人柏木忠八ハ原告主張ノ如ク當時大患ナリシヲ以テ駕ニテ選舉會場外迄昇送セラレ來リ自ラ選舉ヲ爲サ、ルヲ以テ町村制第二十二條ノ規定ニ違反スルモノナリトスルモ本件選舉錄ニ依レハ當選者ト次點者トノ得票ノ差ハ四點ニシテ右忠八ノ無効投票ヲ當選者ノ得票ヨリ控除スルモ尙ホ次點者ノ得票ニ比シ三點ノ多數ナルヲ以テ當選者ニ何等ノ異動

ヲ生セサルモノトス而シテ町村制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉全體ニ影響スヘキ瑕瑾アル
場合ニ適用スヘキモノニシテ本件ノ如キ選舉全體ニ影響ナキ場合ニ適用スヘキモノニアラサ
ルニ依リ本件選舉ハ取消スヘキモノニアラス

- 一村内ニ被選舉資格ヲ有スル同姓名ノ者二人アル場合ニ於テ單ニ其姓名ノミ
ヲ記載シ其兩人中何レノ得票ナルヤヲ認メ得ヘキ著明ナル特徴ナキ投票ハ町
村制第二十三條第二項二號ニ所謂被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノトス
(村會議員選舉效力裁決取消ノ訴 明治三十四年第三百七十二號
明治三十五年三月十日宣告)

〔理由〕 本件所争ノ要點ハ單ニ高橋重次郎ト記載アル投票カ被告ノ主張スル大字北寺林高橋
重次郎ヲ指シタルモノナルヤ將タ原告ノ主張スル大字好地高橋重次郎ヲ指シタルモノナルヤ
否ニ在リ按スルニ一村内ニ於テ共ニ被選舉資格ヲ有スル同姓名ノ者二人アル場合ニ於テ單ニ其
姓名ノミヲ記載シタル投票アルトキハ其兩人中何レノ得票ナルヤヲ認メ得ヘキ著明ナル特徴
アルニ非サレハ之ヲ確知スル能ハス被告ハ北寺林ノ高橋重次郎ハ村會議員ノ候補ニ立テ同志
者ト共ニ運動シタル形跡及同人カ連名投票中ニ同志者ト列記セラレタル事實ニ依リ該投票ハ
同人ノ得票ナリト云フモ原告ニ於テモ好地高橋重次郎カ候補者トシテ運動シタルコトヲ主張

シ且同人モ亦同志者ト共ニ同一投票中ニ列記セラレタルコトヲ提出ノ投票ニ依リ證明シタル
以上ハ何レノ高橋重次郎ニモ著明ナル特徴アリト認ムルヲ得ス然ラハ單ニ高橋重次郎ト記載
シタル投票ハ町村制第二十三條第二項第二號ニ被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノニ該當シ
無効ノ投票ナルヲ以テ北寺林高橋重次郎ノ當選ハ取消スヘキモノトス

- 一封中ニ在ル二個ノ投票ハ何レノ投票ヲ以テ選舉人ノ意思ヲ表示シタルモノ
ナルヤ判別シ能ハサルヲ以テ共ニ之ヲ無効トス(村會議員選舉取消ノ訴 明治三
十四年第三百二十三號
十五年三月十日宣告)

- 町村制第二十四條第二項ハ普通代人カ投票ヲ爲ス場合ニ於ケル規定ニシテ法
定代理人ノ投票ヲ爲ス場合ニ適用スヘキモノニアラス從テ未成年者ノ後見人
カ委任狀ヲ提出セスシテ投票シタルハ違法ニアラス(同上)

- 公民ニアラサル未成年者カ町村制第十二條ノ規定ニ依リ多額納税ノ廉ヲ以テ
選舉權ヲ有スル場合ニ於テハ其後見人ハ選舉權ノ行使ニ付テモ當然之ヲ代表
スルモノトス(同上)

〔理由〕 從參加人ニ於テ原告ハ本件ニ付縣參事會ニ訴願提起ノ後村稅ヲ滯納シ明治三十四年

九月十四日財産差押處分ヲ受ケタル結果公民權ヲ停止セラレ同月十九日ニ至リ更ニ解停セラレタルモ公民權ノ行使ヲ中斷セラレタルヲ以テ訴權ヲ失ヒタル者ナリト云フト雖モ原告カ出訴シタルハ同年十月二十七日ニシテ公民權停止ノ時ニアラサレハ縱令其前ニ參加人ノ主張スル事實アリトスルモ原告カ本件ノ選舉人トシテ行政訴訟ヲ提起スルノ權利ニ影響ヲ及ボサス故ニ從參加人ノ妨訴抗辯ハ理由ナキモノトス又原告ハ第一本件ニ級選舉執行ノ際投票一票ノ紛失シタルコトヲ主張シ選舉掛岡本常太郎ノ證明書ヲ提出スルモ此ノ如キ證書ハ何時ニテモ隨意ニ作成シ得ルヲ以テ此證明書ノミニ據リ紛失ノ事實ヲ認ムルヲ得ス第二原告ハ一封ノ投票中ニ箇ノ投票アリタルトキハ表面ニアルモノヲ以テ有效トナスヘク二個共ニ無効ト爲シタルハ不當ナリト云フトモ本件ノ如ク一封中ニ二個ノ投票アリタルトキハ其何レノ投票ヲ以テ選舉人ノ意思ヲ表示シタルモノト認ムヘキヤ之ヲ判別スル能ハス隨テ一ヲ有效トシ一ヲ無効トスルヲ得サレハ共ニ之ヲ無効ト爲シタルハ不當ニ非ス第三原告ハ本件一級選舉ニ於テ後見人カ被後見人ノ代人トシテ投票ヲ爲ス場合ニ於テ町村制第二十四條ニ依リ委任狀ヲ示サ、ルヘカラスト云フト雖モ同條ハ普通代人カ投票ヲ爲ス場合ニ對スル規定ニシテ本件ノ如キ法定代理人ノ場合ニ適用ヘキモノニアラス而シテ後見人ハ被後見人ノ財産ヲ管理シ其財産ニ關スル

法律行為ニ付法律上當然被後見人ヲ代表スル者ナルヲ以テ町村制第十二條ニ依リ多額納税ノ廉ヲ以テ公民ニ非サル未成年者カ選舉權ヲ有スル場合ニ於テモ後見人ハ法律上當然被後見人ヲ代表スル者ト謂ハサルヘカラスト然レハ本件ニ於テ佐々木兼作ナル者カ未成年者佐々木松四郎ノ後見人トシテ投票ヲ爲シタル場合ニ於テ委任狀ヲ提出セサルモ町村制第二十四條ノ規定ニ違背シタルモノト云フト得ス

○過剩投票カ他ノ投票ト共ニ投票函内ニ在リテ其孰レカ過剩投票ナルヤヲ判別シ難キ場合ニ於テハ選舉掛ハ先ツ之ヲ開緘シテ調査ヲ遂ケタル上其效力ヲ決定スヘキモノトス(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十四年第五百五十四號
明治三十五年三月二十四日宣告)

○過剩投票アル場合於テ選舉掛カ豫メ過剩投票ヲ取除キタル上當選者ヲ定メタルハ不當ナリ(同上)

〔理由〕原告ハ本件選舉會ノ如キ過剩投票アリタル場合ハ町村制第二十三條ニ所謂定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却スヘキ場合ト異ナリ而シテ投票ノ效力ニ關スルコトハ同條ニ依リ選舉掛ニ於テ議決スヘキモノナレハ選舉掛カ之ヲ無効ト議決シ棄却シタルハ相當ナリト云フト雖本件ニ於テ選舉掛カ棄却シタル投票ハ他ノ投票ト共ニ投票函中ニ在

リタルモノナレハ其何レノ投票カ過剩投票ナルヤヲ判別スルニ由ナキヲ以テ選舉掛ニ於テ先ツ之ヲ開封シテ調査ヲ遂ケタル上其效力ヲ決定セサル可ラス然ルニ選舉掛ニ於テ開封前豫メ過剩投票ヲ取り除キ之ヲ棄却シ以テ當選者ヲ定メタルハ不當ナリトス故ニ郡長ニ於テ町村制第二十九條ニ依リ郡參事會ノ議決ヲ經本件選舉ヲ取消シタルハ不當ノ處分ナリト謂フヲ得ス

○町村制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニノミ適用スヘキモノトス(村會議員選舉取消ノ訴 明治三十五年第十八號 明治三十五年四月二十五日宣告)

〔理由〕原告ハ第一過剩投票ハ何人カ投函シタルモノカ知ルニ由ナク且ツ一人ニシテ二箇ノ投票ヲ爲シタルモノト認ムルモノナレハ投票ハ一人一票ニ限ル原則ニ背キ選舉全體ニ及ス瑕瑾ナルカ故ニ町村制第二十九條第三項ニ依リ選舉ヲ取消スヘキモノナリト云フト雖一人ニシテ二箇ノ投票ヲ爲シタリト云フ事實ハ原告ノ推認ニ止リ舉證セサルヲ以テ價値ナキモノトス而シテ同制第二十九條第三項ノ規定ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ適用スヘキモノニシテ本件ノ如キ不正投票ノアリタル場合ハ其投票ノミヲ無効トシ選舉ハ取消スヘキ法意ニアラス第二一級選舉人ニアラサル武井軍三郎カ選舉會場ニ入り居リタルハ同制第二十二條ニ違背シタル不法ノ選舉ナリト云フモ武井軍三郎ハ村役場ノ書記ニシテ選舉事務ノ助手タルモノナ

レハ同條ノ規定ニ違背シタルモノニアラス何トナレハ同制第二十一條ノ規定ハ選舉ニ關係ナキ者ノ入場ヲ禁シタル法意ナレハナリ第三過剩ノ投票アリシハ同制第二十二條ニ背キ選舉人ヲシテ投票ヲ自ラ投函セシメタルモノト認メサルヲ得スト論スルモ偶一箇ノ過剩投票アリタルノミヲ以テ直ニ其選舉ハ同制第二十二條ニ背キタルモノト推定シ能ハサルモノトス然レハ則本件選舉會ニ於テ過剩投票一票ヲ無効トシ之ヲ各當選者ノ得票ヨリ控除シ次點者ノ得票ニ比シ同數トナリタルモ當選者三名ハ孰レモ次點者ヨリ年長者タルヲ以テ本件選舉ヲ有效ト爲シタルハ違法ニアラス從テ被告ノ裁決ハ正當ニシテ取消スヘキモノニアラス

○掛長ヲシテ投票ヲ投函セシムルノ規定(町村制第二十二條第二項)ハ選舉ヲ公平且確實ナラシムルノ趣旨ニ出ツルモノナリ故ニ之ヲ他人ニ委スルコトヲ得サルモノトス從テ掛長カ補助員タル他人ヲシテ投函セシメタル投票ハ無効ナリ(福島縣參事會裁決取消ノ訴 明治三十五年第三十八號 明治三十五年五月十四日宣告)

〔理由〕按スルニ町村制第二十二條ニ投票ハ選舉人自ラ掛長ニ差出シ掛長之ヲ受ケテ投票函ニ投入ス可シトノ規定アルハ畢竟選舉ヲ公平且確實ナラメントスルニ外ナラサレハ掛長ハ投票ノ投函ヲ他人ニ委スルコトヲ得サルモノト解セサル可カラス然レハ本件選舉ハ補助員ニ於

テ多數ノ投票ヲ投函シタルモノナレハ選舉ノ規定ニ違背スルモノト云ハサルヲ得ス而シテ補助員ノ投函シタル投票ハ單ニ無効タルニ過キサルモ其多數ナリシコトハ原告モ争ハサル所ナルヲ以テ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルモノト認メサルヲ得ス故ニ縣參事會カ本件ノ一級定期改選及同補缺選舉ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行フ可シト裁決シタルハ相當ニシテ取消ス可キモノニアラス

○同一村内ニ同氏名ノ者二人アル場合ニ於テ村會議員補缺選舉ニ際シ投票ニ單ニ氏名ノミヲ記載スルモ其一人ハ現ニ村會議員在職中タル以上ハ該投票ハ他ノ一人ヲ指示シタルモノトス(村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴 明治三十五年六月二日

宣旨)

〔理由〕 按スルニ本件選舉ノ際金澤村内ニ菅原庄太郎ナル者兩人アリテ字内澤ノ菅原庄太郎ナル者ハ當時同村村會議員在任中ニシテ本件ノ選舉ハ其補缺選舉ニアラサリシ事實ハ原被告雙方ノ争ハサル所ナリ而シテ單ニ菅原庄太郎トノミ記載シタル十五票ノ投票ハ字内澤ノ菅原庄太郎ヲ指シタルモノナルヤ將々字中山ノ菅原庄太郎ヲ指示シタルモノナリヤ知り得ヘカラスルモノ、如シト雖モ字内澤ノ菅原庄太郎ハ現ニ同村會議員在職中ナレハ選舉人ニ於テ重ネテ

選舉シタリト認メ難ク且ツ字中山ノ菅原庄太郎ハ現實七點ノ投票ヲ得タル事實ニ徴スレハ本件菅原庄太郎トアル投票ハ字中山ノ菅原庄太郎ヲ指示シタルモノト認メサルヘカラス依テ縣參事會カ單ニ菅原庄太郎ト記シタル投票ヲ以テ字中山ノ菅原庄太郎ヲ投票シタルモノ即町村制第二十三條第二項第二號ニ所謂被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノニアラスト爲シタルハ不當ニアラス

○町村制第十五條第二項第二ニ所謂有給ノ町村吏員トハ有給吏員ノ屬スル町村ヲ指シタルモノトス(村會議員當選ノ效力ニ關スル訴 明治三十五年第七十一號 明治三十五年七月二日宣旨)

〔理由〕 原告ニ於テ町村制第十五條第二項第一ニハ所屬府縣郡ノ官吏トアルニ拘ラス其第二ニハ單ニ有給町村吏員トノミアリテ第一ノ如ク所屬ノ二字ヲ冠記セサルカ故ニ第二ニ有給町村吏員トアルハ自他ノ區別ナク總テ町村ノ有給吏員ハ町村會議員タルコトヲ得サルモノト解釋セサルヘカラスト云フト雖町村制同一ノ旨趣ナル市制第十五條第二項第二ハ單ニ有給市吏員トノミアリテ町村ノ有給吏員ニ市會議員タルコトヲ禁セサルニ依リ之ヲ觀ルトキハ町村制第十五條モ同一ノ旨趣ニ出ルモノト解釋スヘク隨テ同條第二ニ有給ノ町村吏員トアルハ有給吏員ノ屬スル町村ヲ指稱シタルモノト謂ハサルヘカラス然ラハ本件富永村守屋徳郎ハ他町

即古川町ノ有給吏員ナルヲ以テ町村制第十五條第二項第二ニ該當セス隨テ村會及郡參事會縣參事會ニ於テ同人ノ當選ヲ有效ナリト認メタルハ不當ノ裁決ナリト謂フヲ得ス

○選舉人名簿確定ノ後選舉人數名ヲ追録スルモ選舉前之ヲ削除シタルトキハ其追録ヲ以テ加除修正ト謂フヲ得ス從テ該名簿ニ依リ執行シタル選舉ハ有效ナリ(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十五年第七十二號 明治三十五年七月七日宣告)

〔理由〕原告ハ選舉人名簿ヲ縱覽ニ供シタル後深田又吉外十四名ヲ名簿ニ追録シタルハ即チ加除修正ヲ爲シタルモノナルニ依リ該名簿ハ無効ニ歸シタルモノナレハ該追録ヲ取消シタルハトテ新ニ效力ヲ生スヘキモノニ非ス故ニ該名簿ニ據リ執行シタル本件選舉ハ無効ナリト主張スルモ本件名簿ハ七日間縱覽ニ供シ既ニ正當ノ手續ヲ經テ確定シタル後深田又吉外數名ヲ該名簿ニ追録シタルモ該追録ヲ爲シタル名簿ニ依テ本件選舉ヲ執行シタルニアラス選舉前之ヲ削除シタルモノナレハ該追録ヲ以テ加除修正ト云フヲ得ス依テ原告ノ此論旨ハ其理由ナシ又原告ハ選舉原簿ニ據リ作製スヘキモノナルニ法律ノ認メサル下調簿ナルモノニ依リ原簿ニ記載ナキ選舉人川上太一ヲ縱覽期限前選舉名簿ニ追録シ確定後ニ至リ原簿ニ記入シタルハ違法ニシテ該名簿ハ不正ノ成立ナレハ之ニ依リ執行シタル本件選舉ハ無効ナリト云フモ當該村

長ニ於テ縱覽期限前該追録ヲナシタル後該名簿ハ正當ノ手續ニ依リ確定シタルモノナレハ町村制第十八條ニ基テ訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外勸カスヲ得ス然ラハ該名簿ハ法律止正當ノモノト云ハサルヘカラス而シテ本件選舉ハ該名簿ニ依リ執行シタルモノナレハ違法ト云フヲ得ス又本件原簿ニハ日附ナキモ明治三十四年二月調製トアルニ依レハ當該村長ニ於テ町村制第十八條ノ規定ニ從ヒ調製シタルモノト認メサルヲ得ス其日附ナキ一事ヲ以テ六十日ヲ限リ調製シタルモノニアラスト斷定シ難シ以上説明ノ理由ニ基キ本件村會議員選舉ハ之ヲ取消スヘキモノニアラス

○確定シタル選舉人名簿ニ於テ一級選舉人トシテ登録セラレタル者ハ縱令二級選舉人ニ屬スヘキモノトスルモ其者ニシテ選舉資格ヲ喪失セサル限リハ一級選舉人トシテ選舉ヲ行フコトヲ得ヘキモノトス(村會議員選舉ニ關スル裁決取消ノ訴 明治三十五年第七十八號 明治三十五年七月七日宣告)

○前後十數年間村會議員又ハ常設委員トナリ且選舉前二年以來戸別割ヲ納メタル者ハ一戸ヲ構ヘタル獨立ノ男子ナリトス(同上)

〔理由〕原告主張ノ第一及第三ノ二點ハ共ニ一級選舉人名簿中ニ登録セラレタル宮本七兵衛

ナル者ハ二級選舉人ニ屬スヘキモノナルヲ以テ一級選舉ヲ行フコトヲ得スト謂フニ在リト雖宮本七兵衛ハ成規ノ手續ヲ經テ確定シタル名簿ニ於テ一級選舉人トシテ登錄セラレタルモノナルヲ以テ選舉資格ヲ喪失セサル限リハ一級選舉人トシテ選舉ヲ行フコトヲ得ヘキモノナリ又原告主張ノ第二點ハ木原村大字與津青野才助ハ一戸ヲ構フル獨立ノ男子ニ非サルヲ以テ選舉資格ヲ有セスト謂フニ在ルモ青野才助ハ明治二十二年四月十七日ヨリ明治三十四年五月十八日マテ公民權ヲ有スル者ニ限リテ任スルコトヲ得ヘキ村會議員又ハ常設委員タリシノミナラス選舉前二年以來一戸ヲ構フル者ノ納ムヘキ戸別割ヲ納メタルモノニシテ此事實ニ依リテ見ルトキハ同人ハ一戸ヲ構ヘタル獨立ノ男子ナリト謂ハサルヘカラス

○町村制第十五條第二項ニ所謂議員タルコトヲ得ストハ議員ヲ兼ヌルコトヲ禁シタルノ趣旨ニシテ被選舉權ヲ有セシメサルノ法意ニアラス(村會議員選舉取消請求ノ訴 明治三十五年第八十六號
明治三十五年七月十日宣告)

〔理由〕 原告ハ町村制第十五條第二項ノ議員タルコトヲ得ストハ即議員ニ選舉セラル、ニトヲ得スト云フト同一ニシテ其一號乃至五號ニ列記セラレタル者ハ被選舉權ヲ有セサルニ依リ被告ニ於テ第二號ニ該當スル安部三太夫ヲ當選者ト爲シタルハ違法ナリト云フト雖同條中第

二項及第五項ニハ議員タルコトヲ得ス又第四項ニハ議員ニ選舉セラル、コトヲ得スト區別シ記シタルヲ以テ之ヲ觀レハ其議員タルコトヲ得ストハ只其議員ヲ兼ヌルコトヲ禁シ被選舉權ヲ有セシメサルノ法意ニアラスト解釋セサルヲ得ス隨テ被告ノ裁決ハ違法ニアラス

○選舉人名簿修正後十日以内ニ選舉ヲ執行シタル處措ハ町村制第十八條第二項ノ規定ニ違背スルモノトス然レトモ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ選舉全體ヲ取消スヘキモノニアラス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十五年第二十七號
十一月二十一日宣告)

〔理由〕 本件所爭ノ要點ハ十月七日ニ選舉人名簿ノ告示ヲ爲シ選舉有權者タル川合善三郎ヨリ提起シタル訴願ニ對シ村會カ與ヘタル裁決ニ依リ同月二十三日選舉人名簿ニ川合善三郎ノ氏名ヲ記入シ而シテ同月二十五日選舉ヲ執行シタルハ町村制第十八條第二項ニ違背シ同第二十九條第三項ニ依リ選舉全體ヲ取消ス可キモノナリヤ否ヤニ在リ按スルニ町村制第十八條第二項ニハ選舉前十日ヲ限リ名簿ニ修正ヲ加ヘ確定名簿ト爲シ云々トアルヲ以テ十月二十三日ニ修正ヲ加ヘ同月二十五日ニ選舉ヲ執行シタルハ該規定ニ違背シタルモノナルモ同第二十九條第三項ノ規定ハ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ニ適用ス可キモノナルヲ以テ本件ノ如キ

當選者中最少得點者ノ得票ハ百二十票ニシテ次點者ノ得票ハ四十四點ナルヲ以テ假リニ川合善三郎ノ投票シタル一票ヲ無効ナリトシテ百二十票ヨリ控除スルモ仍ホ得票ノ差倍數以上ナルヲ以テ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノトス依テ本件ノ選舉ハ取消ス可キモノニアラサルヲ以テ被告カ與ヘタル裁決ハ其當ヲ得サルモノナリ

○村會議員ノ任期ノ計算ハ曆年ニ依ルヘキモノトス從テ任期滿了後數日ヲ經テ執行シタル選舉ハ無効ナリ(村會議員選舉取消請求ノ訴 明治三十五年第二百九十六號 明治三十五年十二月二十二日宣告)

〔理由〕 本件所争ノ要點ハ島内村村會議員定期半數改選選舉ハ前回ニ在テハ明治三十一年四月二十一日之ヲ執行シタルヲ以テ今回即チ本件ノ定期半數改選選舉モ明治三十四年四月二十一日ナラサル可カラサルヤ否ヤニ在リ按スルニ町村制第十六條ニ議員ノ任期ハ六年ニシテ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ストアルヲ以テ其任期ノ計算ハ曆年ニ據ル可キモノト解釋セサルヲ得ス然レハ本件選舉ハ明治三十四年四月二十一日ヲ以テ執行セサル可カラサルニ事茲ニ出テス其期日ヲ繰下ケ同年四月二十五日之ヲ執行シタルハ右第十六條ノ規定ニ違背シタルモノニシテ適法ノ選舉ナリト云フヲ得ス其他當事者ニ於テ尙ホ陳辯スル所アルモ裁判ニ必要ナキヲ以テ逐一其説明ヲ爲サス

○増員セラルヘキ村會議員ノ再選舉ニ於テ其四名中二名ハ選舉執行前既ニ任期ヲ滿了シタルトキ二名ヲ再選舉トシ他ノ二名ヲ直チニ定期改選トシテ選舉セシメタルハ違法ニアラス(村會議員選舉取消ニ關スル訴 明治三十五年第二百八十一號 明治三十六年四月一日宣告)

○投票ヲ封筒ニ入レサルモ糊貼シテ外部ヨリ見ルコト能ハサテシメタルトキハ之ヲ以テ封緘カキ投票ナリト謂フヲ得ス(同上)

〔理由〕 原告ハ今回ノ選舉ハ明治二十八年四月ニ選舉セラレタル六名ノ議員ニ對スル定期改選並ニ同三十一年四月ニ改選セラレヘカリシ六名及増員セラルヘカリシ四名ノ議員ニ對スル再選舉トシテ執行スヘキ筋合ナリト云フト雖モ再選舉ヲ執行シタル時即チ明治三十四年八月ハ明治三十一年四月ヨリ既ニ三年ヲ經過シタルヲ以テ増員セラルヘキ四名ノ議員中二名ニ付テハ再選舉ヲナスヘキ餘地ヲ存セサルモノトス何トナレハ假リニ原告主張ノ如クシテ再選舉ヲ執行シタルトスルモ増員議員トシテ選出セラレタル四名ノ中二名ヲ直チニ退任者ト爲シ之ニ對シテ更ニ定期改選ヲ行ハサルヘカラサルヲ以テナリ故ニ國本村ニ於テ明治三十四年八月選舉ヲ行フニ當リ増員セラルヘキ議員中二名ヲ直チニ定期改選トシテ選舉セシメタルハ法規ニ違背シタルモノニアラス又原告ハ投票中封筒ニ入レサルモノアツシノ故ヲ以テ町村制第二

十二條ノ規定ニ違背シタルモノナリト謂フト雖モ原告ノ既ニ認ムル如ク該選舉ニ於ケル投票ハ封筒ニ入レサルモノハ皆糊貼シ外部ヨリ見ルコト能ハナラシメアリタル以上ハ之ヲ以テ封緘ナキ投票ナリト謂フコトヲ得ス又被告ハ再選舉ヲ行ヒタル時ハ恰モ定期改選ノ時期ニ際シタルヲ以テ同一ノ選舉名簿ヲ兩者ニ適用シタルハ相當ナリト謂フト雖モ本件再選舉ノ場合ハ郡長ノ取消ニ因リ選舉カ無効トナリタルカ爲メ更ニ選舉ヲ執行スル場合ニ係ルカ故ニ町村制第十八條第三項ニ依リ明治三十一年ニ於テ行ヒタル選舉ノ爲メニ調製シタル選舉名簿ヲ適用セサルヘカラス然ルニ國本村ニ於テ明治三十四年ニ調製シタル選舉名簿ヲ用キテ再選舉ヲ行ハシメタルハ正シク町村制ノ規定ニ違背シタルモノナリ

○投票ニ封緘ヲ爲サス或ハ代人ヲ以テ投票ヲ爲サシムル如キハ選舉人自ラ町村制第二十二條第二十四條ノ規定ニ背キ我投票ノ效力ヲ生セシメサルニ止マルモノナレハ他人ノ正當ニ施行シタル選舉ノ無効ト爲ルヘキモノニアラス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十六年第六十九號 明治三十六年六月十五日宣告)

○選舉開會中無資格者ノ選舉場ニ入ルハ無資格者自ラ同制第二十一條ノ規定ヲ犯スモノニシテ他人ノ施行スル選舉ヲ妨ケテ之ヲ無効トナシ得ルモノニアラ

ス(同上)

(理由) 原告ニ於テ本件ハ當選ノ有效無効ヲ論シタルニアラス無封緘ノ投票アリシハ町村制第二十二條代理投票ヲ爲シタルハ同制第二十四條無資格者ノ入場セシハ同制第二十一條ノ各規定ニ因ラサル違法ノ選舉ナレハ無効ト爲スヘキモノナリト云フト雖投票ニ封緘ヲ爲サス或ハ代人ヲ以テ投票ヲ爲サシムル如キハ選舉人自ラ町村制第二十二條第二十四條ノ規定ニ背キ我投票ノ效力ヲ生セシメサルニ止ルモノナレハ他人ノ正當ニ施行シタル選舉ノ無効ト爲ルヘキモノニアラス又選舉開會中無資格者ノ選舉場ニ入ルハ無資格者自ラ同制第二十一條ノ規定ヲ犯スモノニシテ他人ノ施行スル選舉ヲ妨ケテ無効ト爲シ得ルモノニアラサルニ因リ本件ノ選舉ハ違法ナリト謂フヲ得ス又本件ハ無効投票除却ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル虞ナキヲ以テ無効ト爲スヘキモノニアラス

○町村會議員選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ因ルニアラサレハ動かカスコトヲ得サルヲ以テ縱令前年度ノ納稅額ヲ標準トシテ調製シタル名簿ト雖モ既ニ確定シタル以上ハ法律上正當ナルモノトス從テ該名簿ニ依リ執行シタル選舉ハ無効ニアラス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十六年第八 明治三十六年十月

二十一日(號)

〔理由〕 被告ハ選舉原簿ハ選舉ニ接近スル時期ノ納稅額ヲ標準トシ調製スヘキモノナルニ本件選舉ニ用ヒタル名簿ハ前年度ノ納稅額ヲ標準トシタルモノナレハ全部法律ノ認メサル事項ナルヲ以テ之ヲ有效ト云フヲ得サルノミナラズ之ニ基キ執行シタル選舉ハ有效ニアラスト云フト雖町村會議員選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴願訴訟ノ結果ニ因ルニアラサレハ動カヌトトヲ得サルモノナレハ事實前年度ノ納稅額ヲ標準トシ調製シタルモ該名簿ハ既ニ確定シタルモノナルヲ以テ法律上正當ナルモノト謂ハサルヘカテ之從テ該名簿ニ依リ執行シタル選舉ハ無効ニアラス又被告ハ本條ハ町村制第十八條ニ對スル異議ニアラスシテ同制第二十九條ノ選舉ノ效力ニ關スルモノナリト主張スルモ前段ニ說明スル如ク本件選舉ニ用ヒタル名簿ハ既ニ確定シタルモノナレハ選舉ノ效力ニ關スル場合ニ於テモ該名簿全體ヲ無効トシテ爭フコトヲ得サルモノトス

○町村會議員ノ選舉期日ニ於テ止ムヲ得サル事由ニ因リ豫定時間ヲ繰下クルモ選舉權ノ行使ヲ阻害セサル以上ハ違法ヲ處措ト謂フヘカラス(村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴 明治三十六年第四百四十八號 明治三十六年十二月二十八日宣告)

〔理由〕 被告ハ町村制第十九條ハ町村長ニ命スルニ選舉ヲ行フトキハ豫メ其日時ヲ公告スヘキコトヲ以テシタルカ故ニ同條ニ本ツキ一旦公告シタル以上ハ縱令如何ナル事由アルモ之ヲ變更スルヲ得ス若シ變更ノ必要アルトキハ更ニ公告セサルヘカラス然ルニ本件ニ級選舉ハ豫定時刻ヨリ四時間ヲ繰下ケ執行シタルモノナルニモ拘ラス其前之レカ公告ヲ爲サハリシハ明カニ選舉ノ定規ニ違背シタルモノナリト謂フト雖町村制第十九條ハ選舉人ヲ選舉ニ招致スルカ爲メ之ヲシテ必要ノ事項ヲ周知セシムル目的ヲ以テ設ケタル規定ナルカ故ニ同條ニ依リ町村長ノ定メタル選舉期日ニ於テ相當ノ事由ニ因リ豫定時間ヲ繰下クルカ如キハ選舉人ノ選舉權行使ヲ害セサル限リ同條ノ認容スル所ナリト謂ハサルヘカラス本件ニ級選舉ハ當日午前八時ヨリ午後四時マテノ間ニ執行スヘキ旨ヲ公告シタルモ村長代理者解職ノ通知遲達ノ爲メ午前八時マテニ選舉掛長ヲ定ムルコト能ハス爲メ同日正午ニ至リテ始メテ選舉會ヲ開始シ午後八時ニ至リテ之ヲ閉鎖シタルモノナルカ故ニ時間ノ繰下ハ已ムテ得サル事由ニ出テタルモノト認メサルヲ得ス而シテ被告ハ時間ノ繰下カ選舉權ノ行使ヲ阻礙シ延テ選舉ノ結果ヲモ左右スルニ至ルヘキコトヲ主張スト雖本件ニ於ケル時間繰下カ現ニ選舉權ノ行使ヲ妨ケタルノ證據ヲ提供セサルカ故ニ本件ニ於テハ時間繰下カ爲メ選舉權ノ行使ヲ阻礙シ延テ選舉ノ結

果ヲモ左右スヘキ事實アリシモノト認ムルコトヲ得ス

○町村制第二十三條末項ハ投票其モノ、受理及ヒ效力ニ關スル事項ニ付キ假議決ヲ爲スヘシトノ規定ニシテ選舉事務ノ補助並ニ選舉會場ノ必要ナル雜務處理ノ爲メ臨時選舉人以外ノ者ヲ入場セシムルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラス(村會議員選舉ニ關スル訴 明治三十六年第五百二十三號
明治三十七年四月十一日宣告)

〔理由〕 二級選舉會ニ於テ笠原藤四郎竹田又藏外山傳七等ヲ選舉會場ニ入場セシメタルハ選舉事務ヲ補助シ及選舉場ニ於ケル必要ナル雜務ヲ處理セシメンカ爲メナリシコトハ臨監郡書記佐藤金次郎ノ復命書ニ徴シ明カナルニ依リ一級選舉ニ於テモ原告ニ於テ反對ノ舉證ヲ爲サルヲ以テ之ト同一ノ事實ナリト認ム又町村制第二十三條ノ末項ハ投票其モノ、受理並ニ效力ニ關スル事項ニ付假議決ヲ爲スヘシトノ規定ニシテ本件ノ如キ場合ニ適用ス可キモノニアラス其他村會ノ裁決ハ其前段ニ於テ町村制第三十七條ニ依リ之ヲ受理シ審査スル左ノ如シト記載シアルノミナラス村會議事録ニ依ルモ村會ニ於テ裁決シタルモノナルコト明カナリ依テ本件選舉ハ違法ノモノニ非サルニ依リ取消ス可キ限ニ在ラス

○行政廳カ訴願法第八條第三項ニ依リ期限經過ヲ宥恕シタル場合ニ於テ其旨ヲ

裁決書ニ記載スヘシトノ規定ナケレハ之カ記載ナキヲ以テ同項ヲ適用セサルモノト斷定スルヲ得ス(不當裁決取消ノ訴 明治三十七年第七十六號
明治三十七年十月十九日宣告)

○訴願法第八條第三項ハ別ニ其適用ヲ制限セサレハ單ニ天災事變等ノ場合ニ限リ之ヲ適用スヘキモノト云フヲ得ス(同上)

〔理由〕 第一點乙第七號證御津郡長ノ照會ニ對スル答申ニ依レハ原告ハ七月九日ニ於テ村會裁決ノ告知ヲ受ケタルモノト認ムヘク隨テ再ヒ訴願ヲ提出シタル時即チ七月二十四日ニハ已ニ其ノ期限ヲ經過シタルモノト謂ハサルヲ得ス原告ハ該答申ハ原告ノ知ラサルモノナリト云フモ契印トシテ田村ナル小印ヲ捺シアルノミナラス原告氏名ノ下ニ其ノ實印ヲモ捺シアルヨリ之ヲ見レハ原告ノ提出シタルモノト認メサルヲ得ス第二點行政廳ハ訴願法第八條第三項ニ依リ期限經過後ニ於テモ仍ホ訴願ヲ受理スルヲ得ルモノナレハ御津郡參事會ニ於テ本件訴願ヲ受理スルニ際シ其期限經過後ナルニ心付カサリシモノト認ムヘキ確證ナキ以上ハ本條項ニ依リ期限經過ヲ宥恕シタルモノト認メサルヲ得ス被告ハ郡參事會カ訴願法第八條第三項ニ依リ期限經過ヲ宥恕シタルトキハ其ノ旨ヲ裁決書ニ記載セサルヘカラサルニ何等ノ記載ナキハ同條項ヲ適用シタルモノニアラスト云フモ法律上之レヲ裁決書ニ記載スヘシトノ規定ナキニ

依リ其記載ガキヲ以テ之レヲ適用シタルモノニアラズト断定スルヲ得ヌ又被告ハ訴願法第八條第三項ハ天災時變等ノ爲メ期限内ニ訴願シ能ハサル場合ニ限り適用スヘキモノナリト云フモ同條項ニハ其ノ場合ヲ限定シアラサレハ單ニ斯ク如キ場合ニ限り適用スヘキモノト謂フヲ得ヌ

○町村制第十六條ニ規定セル議員任期ノ計算ハ曆年ニ依ルヘキモノトス(村會議員選舉效力ニ關スル裁決取消ノ訴 明治三十七年第九百十二號
明治三十八年七月三日宣旨)

○前任議員ノ在職中後任議員ヲ選舉スルハ町村制第十六條ノ規定ニ違背シ選舉全體ニ影響スヘキ瑕瑾アルモノトス(同上)

〔理由〕 按スルニ町村制第十六條ニ依レハ議員ノ任期ハ六年ニシテ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ストアルヲ以テ其任期ノ計算ハ曆年ニ據ル可キモノト解釋セサルヲ得ヌ而シテ本件油木村村會議員ハ明治三十一年三月三十日及三十一日ヲ以テ選舉セラレタルモノナレハ之ニ當選セシ議員ノ任期ハ明治三十七年三月三十日及三十一日ヲ以テ滿期ト爲ル可キモノナリ然レハ本件選舉ハ明治三十七年三月三十日及三十一日ヲ以テ執行ス可キモノナルニ同年同月二十七日及二十八日ヲ以テ執行シタルハ議員ノ任期ヲ短縮シタルモノニシテ町村制第十六條ノ規定ニ違背シ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アルモノト云ハサル可カラス又原告ハ前議員任期中ニ選舉ヲ行フモ後任議員ハ前任議員ノ任期滿了後就職スルトセハ法律上支障ナシト云フモ後任議員ハ選舉終了ト共ニ當然其任ニ就ク可キモノナルヲ以テ前議任員ノ在職中ニ後任議員ヲ選舉スルトキハ一時倍數ノ議員現在スルノ結果ヲ生スヘキヲ以テ亦原告ノ主張ハ其當ヲ得ヌ

○町村制第二十九條ニ所謂選舉ノ取消ハ選舉全體ノ取消ヲ指稱セルモノトス從テ無資格者ノ投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ於テ其選舉全體ヲ取消シタルハ相當ナリ(村會議員選舉ノ效力ニ關スル訴 明治三十七年第九百六號
明治三十八年九月二十七日宣旨)

〔理由〕 原告ハ無資格者太田賢次郎カ爲シタル投票ノ爲メ當選者中大澤福次郎ノ當選ヲ無効ナラシムルハ相當ナル可キモ小澤備一勝山忠兵衛ノ當選ヲモ無効ニ歸セシムルハ其當ヲ得サルモノナリト云フモ町村制第二十九條ニ所謂選舉ノ取消ハ選舉全體ノ取消ヲ云フモノナレハ被告縣參事會カ本件ノ如キ無資格者ノ爲シタル投票ノ爲メ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ於テ選舉ノ全體ヲ取消タルハ其當ヲ得タルモノトス依テ該裁決ハ取消ス可キ限ニ在ラス既ニ此點ニ於テ被告裁決ノ相當ナル以上ハ他ノ論點ハ裁判ニ必要ナキヲ以テ逐一説明ヲ爲サス

○糊貼シタル投票ト雖モ其紙質粗薄ニシテ被選舉人ノ何人ナルカヲ外部ヨリ容

易ニ透見シ得ルトキハ其糊貼ハ選舉ノ祕密ヲ嚴正ニスヘキ封緘ノ效ナキヲ以テ町村制第二十二條ニ所謂封緘ヲ施シタルモノト云フヲ得ス從テ其投票ハ無效ナリトス(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十七年第九百六十八號
明治三十九年三月十四日宣告)

〔理由〕 按スルニ原被所爭ノ要點ハ本件投票ハ糊貼シアリシモノナリヤ又其糊貼ハ町村制第二十二條ノ所謂封緘ナリヤニアリ原告ハ其投票全部糊貼シアリシモノナリト云フモ之ヲ檢スルニ一級選舉二級選舉ノ投票其糊貼ノ痕跡存スルモノアリ存セサルモノアリテ全部糊貼シタルモノト認ムルヲ得ス假リニ糊貼シタルモノトスルモ本件投票ハ全部封筒ヲ用ヒタルニアラスシテ其投票ノ紙質ハ執レモ粗薄ニシテ被選舉人ノ何人ナカルヲ外部ヨリ容易ニ透見シ得ルモノナレハ其糊貼ハ選舉ノ祕密ヲ嚴正ニスヘキ封緘ノ效ナキヲ以テ町村制第二十二條ノ所謂封緘ト云フヲ得ス隨テ本件村會議員選舉ハ同條ノ規定ニ違背スルモノナリ而シテ其投票全部カ同規定ニ違背シ無効ノモノナル以上ハ町村制第二十九條第三項ノ規定ニ依リ本件選舉全部ヲ取消スヘキモノニシテ原裁決ハ相當ナリトス

○町村會議員ノ選舉效力ニ關スル裁決ハ訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外之ヲ取消シ得ヘキ規定ナケレハ町會カ訴願ニ依ラスシテ郡長ノ命ニ基キ其裁決ヲ取消シ

タルハ違法ナリ(町會議員選舉ノ效力ニ關スル不服ノ訴 明治三十八年第二百十號
明治三十九年四月二日宣告)

○町村制第三十一條ハ町村制施行ノ際當該吏員ヲシテ町村會ノ職務ヲ行ハシムヘキ趣意ナルカ故ニ別段ノ制限ナキ以上ハ凡ソ町村會ノ職務ニ屬スルモノハ一時ノ爲メニスルト將タ永續ノ爲メニスルトヲ問ハス總テ當該吏員ノ權能ニ屬スヘキモノトス從テ該吏員カ同制第二十五條第一項ニ依リ永續的ノ旨趣ヲ以テ選舉分會ヲ設置シタルハ違法ニアラス(同上)

〔理由〕 按スルニ第一町村會議員ノ選舉效力ニ關スル裁決ハ訴願訴訟ノ結果ニ依ルノ外取消スコトヲ得ヘキ規定ナシ然ルニ明治三十七年七月二十七日久保木萬吉ニ對シ與ヘタル佐原町會ノ裁決ハ訴願ニ依ラス郡長ノ命ニ基キ爲シタルモノナレハ其裁決ハ違法ナリ從テ同年九月十七日香取郡參事會カ爲シタル裁決モ亦不法ノモノナレハ此點ニ於ケル原告ノ主張ハ理由ナキモノトス第二町村制第三十一條ニハ「此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付云々」トアリテ其規定ハ町村制施行ノ際ニ於ケル一時的ノモノナルコト明ナルモ「町村長及町村會ノ職務並町村條例ヲ以テ定ムヘキ事項ハ云々」之ヲ施行スヘシトアリテ即チ當該吏員ヲシテ町村會ノ職務ヲ行ハシムヘキ趣旨ナルカ故ニ別段ノ制限ナキ限リハ凡ソ町村會ノ職務ニ屬スルモノ

ハ一時ノ爲メニスルト將タ永續ノ爲メニスルトヲ問ハス總テ當該吏員ノ權能ニ屬スルモノト
解釋セサルヘカラス又町村制第二十五條第一項ニ「町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナ
ルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ云々」トアルハ市制第十四條ノ區域廣濶又人口稠
密ナル場合ニ於ケル規定ト同性質ノモノニシテ町村制第二十五條第一項ニ於ケル町村會ノ議
決ニ對シ別ニ限定シテアラサル限リハ其權能ニ依リ永續的ノ議決ヲ爲スモ之ヲ違法ナリト云フ
ヲ得ス然リ而シテ佐原町ニ於テ町村制實施ノ際當該吏員カ選舉分會ヲ設置シタルコトハ被告
モ認ムル所ニシテ其分會タルヲ設置以來十七年間ノ久シキ何等ノ異議ナク七回選舉ヲ實行シ
來リシコト、町會ニ於テ異議ナキノミナラス却テ甲第一號乃至四號證ノ如ク分會ニ關スル費
用ノ支出ヲ承認シタルコト、監督官廳ニ於テモ數年間之ヲ看過シ來リシ事實ニ徴スレハ最初
當該吏員ハ永續的ノ趣旨ヲ以テ選舉分會ヲ設置シタルモノト認定スルヲ相當トス然レハ係争
ノ選舉分會ハ適法ノモノニシテ毫モ違法ノ點ナキヲ以テ本件選舉ハ取消スヘキ限ニ在ラズ然
ルニ被告カ該選舉ヲ取消シタルハ其當ヲ得サルヲ以テ生文ノ如ク判決ス

○町村制第三十一條ハ町村制施行ノ際當該吏員ヲシテ町村會ノ職務ヲ行ハシ
ムヘキ趣意ナルカ故ニ別段ノ制限ナキ以上ハ凡ソ町村會ノ職務ニ屬スルモノ

ハ一時ノ爲メニスルト將タ永續ノ爲メニスルトヲ問ハス總テ當該吏員ノ權能
ニ屬スヘキモノトス從テ該吏員カ同制第二十五條第一項ニ依リ永續的ノ旨趣
ヲ以テ選舉分會ヲ設置シタルハ違法ニアラス(町會議員選舉取消事件ノ裁決不
服ノ訴 明治三十八年第二百一十一號第二百十五號第二百十六號
明治三十九年四月二日 宣 告)

〔理由〕 按スルニ町村制第三十一條ニハ「此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付云々」トア
リテ其規定ハ町村制施行ノ際ニ於ケル一時的ノモノナルコトハ明ナルモ「町村長及町村會ノ
職務並町村條例ヲ以テ定ムヘキ事項ハ云々」之ヲ施行スヘシトアリテ即チ當該吏員ヲシテ町
村會ノ職務ヲ行ハシムヘキ趣旨ナルカ故ニ別段ノ制限ナキ限リハ凡ソ町村會ノ職務ニ屬スル
モノハ一時ノ爲メニスルト將タ永續ノ爲メニスルトヲ問ハス總テ當該吏員ノ權能ニ屬スルモ
ノト解釋セサルヘカラス又町村制第二十五條第一項ニ「町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠
密ナルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ云々」トアルハ市制第十四條ノ區域廣濶又人
口稠密ナル場合ニ於ケル規定ト同性質ノモノニシテ町村制第二十五條第二項ニ於ケル町村會
ノ議決ニ對シ別ニ限定シテアラサル限リハ其權能ニ依リ永續的ノ議決ヲ爲スモ之ヲ違法ナリト
云フヲ得ス然リ而シテ佐原町ニ於テ町村制實施ノ際當該吏員カ選舉分會ヲ設置シタルコトハ

被告モ認ムル所ニシテ其分會タルヤ設置以來十七年間ノ久シキ何等ノ異議ナク七回選舉ヲ實行シ來リシコト、町會ニ於テ異議ナキノミナラス却テ甲第一號乃至第四號證ノ如ク分會ニ關スル費用ノ支出ヲ承認シタルコト、監督官廳ニ於テモ數年ノ間之ヲ看過シ來リシコト其他土地ノ狀況等ヲ綜合スレハ最初當該吏員ハ永續的ノ趣旨ヲ以テ選舉分會ヲ設置シタルモノト認定スルヲ相當トス然レハ係争ノ選舉分會ハ適法ノモノニシテ毫モ違法ノ點ナキヲ以テ本件選舉ハ取消スヘキモノニ非ス然ルニ香取郡長カ之ヲ違法ナリトシテ取消シ被告カ亦之ヲ是認シタルハ共ニ其當ヲ得タルモノニアラス

○町村制第二十三條第四號ノ規定ハ選舉ニ有害ノ記事ヲ禁止スルノ法意ナレハ被選舉人ノ氏名ノ上ニ村會議員ノ文字ヲ記載シタル議員選舉ノ投票ハ有效ナリ(村會議員當選ノ效力ニ關スル訴 明治三十八年第二百二十五號
明治三十九年四月十八日宣告)

〔理由〕原告ハ本件選舉ニ於テ被選舉人氏名ノ上ニ村會議員ノ四字ヲ冠セル投票ハ町村制第二十三條第二項第四號ニ該當シ總テ無効ノモノナルニ被告並ニ郡參事會ニ於テ之ヲ有效トシタルハ不當ナルニ付其裁決ヲ取消シ原告ノ當選ハ取消スヘキモノニ非ストノ判決ヲ請フト云ヒ」被告ハ係争ノ投票ハ被選舉人タルコトヲ明カナラシムル爲ニ村會議員ノ文字ヲ記載シタルニ過キサシハ無効ニアラサルヲ以テ原告ノ請求相立タストノ判決ヲ請フト答辯セリ按スルニ本訴主要ノ爭點ハ係争ノ投票即チ被選舉人ノ氏名ノ上ニ村會議員ノ四字ヲ冠セル投票ハ有效ナルヤ將タ無効ナルヤニ在リ原告ハ係争ノ投票ハ町村制第二十三條第二項第四號ニ該當スル無効ノ投票ナリト云フモ該法條ハ選舉ニ有害ノ記事ヲ禁止スルノ法意ニ外ナラス然ルニ係争投票ハ單ニ選舉ノ目的タル村會議員ナルコトヲ表示シタルニ過キサレハ之ヲ以テ無効ナリト云フヲ得ス然レハ被告並ニ郡參事會ノ裁決ハ共ニ不當ニアラサルヲ以テ取消スヘキ限ニ在ラス

○甲者カ前戸主タル乙者ノ死亡ニ因リ家督ヲ相續スルト同時ニ乙者所有ノ土地ヲ獲得シタルモ其名義書替ノ手續ヲ履踐スルコトナク依然乙者ノ名義ヲ以テ地租村稅地價割等ヲ納付スルモ其實甲者ノ納稅ナレハ甲者ハ町村制第七條ノ所謂其町村内ニ於テ地租ヲ納メ」トアルニ該當スルヲ以テ村會議員ノ選舉權ナシト云フヲ得ス(村會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴 明治三十八年第二百二十八號
明治三十九年五月二十五日宣告)

○村長カ村會議員選舉ノ日時ヲ定メテ公告シタル後其開會時間ヲ増加スルモ選

○舉權行使ニ何等ノ障害ヲ及ホサ、レハ之ヲ違法トスルヲ得ス(同上)

〔理由〕 按スルニ第一原告ハ中村光次郎新員政次郎カ自己ノ名義ニ於テ納稅義務ヲ盡サ、ルヲ以テ村會議員ノ選舉權ナシト主張スルモ中村光次郎ハ明治三十四年五月二十四日新員政次郎ハ明治三十年四月二十四日孰レモ前戸主タル父ノ死亡ニ因リ其家督ヲ相續スルト共ニ父所有ノ地所ヲ獲得シタルモ其所有名義書替ノ手續ヲ爲サ、ルニヨリ父ノ名義ヲ以テ地租及村稅地價割等ヲ納來レルモノニシテ其實中村光次郎新員政次郎ノ納稅ナレハ町村制第七條ノ所謂「其町村内ニ於テ地租ヲ納メ」トアルニ該當スルヲ以テ同人ニ村會議員ノ選舉權ナシト云フヲ得ス第二、原告ハ佐々木陸三郎ハ無資産トナリ選舉資格ヲ喪失シ選舉ニ參與シ能ハサルモノニシテ同人カ投票ヲ爲シタルハ違法ナリト云フモ佐々木陸三郎カ投票ヲ爲シタルコトハ信憑スルニ足ルヘキ立證ナキヲ以テ之ヲ事實ナリト認ムルコトヲ得ス第三、原告ハ本件選舉ハ封緘ナキ投票數箇ヲ加算シテ其效力ヲ決定シタルモノナリト云フモ選舉錄ヲ閱スルニ「一票封緘ナキ投票ハ同掛ニ於テ無効ト決定セリ」ト記載シ此他ニ無封緘ノ投票アリシコトヲ記載セズ而シテ原告ハ此點ニ付信憑スルニ足ルヘキ反證ヲ提出セサルヲ以テ別ニ無封緘ノ投票數箇アリシモノト認ムルコトヲ得ス第四、原告ハ選舉ノ日時明治三十七年四月二十八日午前八時

ヲ選舉期日前三日ニ至リ擅ニ之ヲ同日午前七時ト變更シタルハ違法ナリト云フモ別ニ其期日ヲ短縮シタルニアラスシテ其選舉會ノ時間カ午前八時ヨリ同十一時マテナリシヲ午前七時ヨリ同十一時マテトシ開會時間ヲ増加シタルニ過キサレハ選舉權行使ニ何等ノ障害ヲ及ホサルヲ以テ之ヲ違法ナリト云フヲ得ス

○町村制第十八條第二項ノ名簿修正ニ關スル選舉前十日ノ期間ハ之ヲ減縮スルコトヲ許サス而シテ該期間ヲ計算スルニハ普通ノ場合ト同シク修正ノ當日ヲ算入セサルヲ相當トス(村會議員選舉效力ニ關スル訴 明治三十八年第三百十七號
明治三十九年六月十一日宣告)

○町村長カ町村制第十八條第二項ノ法定期間ヲ減縮シ選舉前九日ヲ以テ名簿ニ修正ヲ加ヘタルハ選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキ瑕疵ナルカ故ニ其選舉ハ之ヲ取消スヘキモノトス(同上)

〔理由〕 按スルニ被告ハ明治三十七年五月三日午後五時十八分澤崎丈右衛門外三名ノ訴願ニ對シ村會ニ於テ爲シタル裁決ニ基キ直ニ村長カ名簿ノ修正ヲ爲シ之ニ依リ選舉ヲ執行シタルハ違法ニアラスト主張スルモ町村制第十八條第二項ニ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘ云々トアル以上ハ選舉前十日ノ期間ヲ減縮スルヲ得ス而シテ普通期間ヲ計算スル場合ニ於テハ事

柄ノアリタル當日ヲ算入セザルモノナルカ故ニ本件ノ争點タル町村制第十八條二項ノ期間ニ於テモ修正ノ當日ヲ算入セサルヲ相當トス然レハ本件ハ法定ノ期間ヲ減縮シ選舉前九日ニ於テ修正ヲ爲シタルモノナレハ之ヲ違法ニアラスト謂フヲ得ス而シテ右期間ノ減縮ハ選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキ瑕瑾ナルヲ以テ該選舉ハ同制第二十九條ニ依リ取消スヘキモノトス已ニ此點ニ於テ選舉ヲ取消スヘキ理由アル以上ハ他ニ雙方論争スル所アルモ本件裁判ニ必要ナキヲ以テ説明セス

- 町村會議員ノ選舉掛長カ町村制第二十二條第二項ノ規定ニ依リテ使用スヘキ選舉人名簿ハ其選舉ノ本會ニ於ケルモノト分會ニ於ケルモノトニ論ナク總テ同法第十八條ノ手續ヲ經タルモノナラサルヘカラス(六箇所村會議員選舉效力ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴 明治三十八年第六十號
明治三十九年六月二十日宣告)
- 町村長カ町村會議員選舉ノ前日ニ至リ特ニ選舉人名簿ヲ調製シ之ヲ分會場ノ選舉ニ使用シタルトキハ該選舉ハ町村制第二十九條末項ノ所謂選舉ノ定規ニ違背セルモノトス(同上)
- 〔理由〕 按スルニ町村會議員ノ選舉ニ關シ町村制第二十二條第二項ノ規定ニ從ヒ使用スヘキ

選舉人名簿ハ其選舉ノ本會ニ於ケルモノト分會ニ於ケルモノトヲ問ハズ總テ同制第十八條規定ノ手續ヲ經タルモノナラサル可カラス然ルニ本件分會場ノ選舉ニ使用セラレタル選舉人名簿ハ選舉ノ前日ニ至リ更ニ調製セラレタルモノナレハ同條第二項ノ手續ヲ履マサル違背ノ名簿ナリ隨テ該名簿ニ依リ執行セラレタル分會場ノ選舉ハ同制第二十九條末項ノ所謂選舉ノ定規ニ違背スルモノナリ而シテ此違法ノ選舉ハ本件選舉全體ニ影響ヲ及ホスヘキ瑕瑾アルモノト認ムルヲ以テ單ニ分會場ノ選舉ノミヲ取消スヘキモノニ非スシテ本件村會議員選舉ハ全部之ヲ取消スヘキモノトス

- 村會議員選舉ノ投票ニシテ用紙ノ欄外ニ「ウ」ノ字ヲ記載シタルモノハ町村制第二十三條ノ所謂被選舉人名ノ外他事ヲ記入シタルモノニシテ無効ナリ(村會議員當選ニ關スル縣參事會ノ裁決取消ノ訴 明治三十八年第三百四十八號
明治三十九年九月二十六日宣告)

〔理由〕 原告ニ於テテ有效ナリト主張スル第一ノ投票ハ其投票用紙ノ欄外ニ明カニ片假名ノ「ウ」ノ字ヲ記載シアリテ被選舉人ノ人名ヲ記載スルニ際シ誤テ投票用紙ニ無意味ノ墨痕ヲ付シタルモノ、如キモノト同一視スヘカラサルヲ以テ該投票ハ町村制第二十三條ノ所謂被選舉人名ノ外他事ヲ記入スルモノニ該當シ無効ノ投票ナリ又原告カ無効ナリト主張スル第二ノ投

票ハ其記載ノ文字ハ永岡徳二郎ト之ヲ讀ミ得ヘキヲ以テ原告主張ノ如ク町村制第二十三條ノ人名ノ讀ミ難キモノニ該當セサルノミナラス選舉人ハ永岡徳市ト書スヘキヲ誤テ「市」ヲ「二郎」ト記載シタルモノト推定シ得ヘキヲ以テ同制同條ノ所謂被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノニモ該當セサルモノトス以上ノ理由ニ依リ被告ノ與ヘタル本件裁決ハ相當ニシテ之ヲ取消スヘキ限リニ在ラス

○選舉會ハ投票終了ノ場合ヲ除ク外定刻前ニ之ヲ閉鎖シ得ルモノニアラス從テ不法ニ閉鎖シタル選舉ヲ取消シタルハ正當ナリ(村會議員選舉效力ニ關スル訴
明治三十八年第二百五十七號
明治三十九年十一月二日宣告)

〔理由〕 按スルニ選舉會ハ投票終了ノ場合ヲ除ク外定刻前ニ之ヲ閉鎖シ得ルモノニアラス原告ハ不參ノ選舉人ハ棄權者ナリト云フト雖其投票ヲ棄權シタリト認ムヘキ確證ナシ然レハ本件選舉會ハ定刻前ニ不法ニ閉鎖シタルモノトス故ニ選舉ヲ取消シタル被告及郡參事會ノ裁決ハ之ヲ取消スヘキ限リニ在ラス既ニ此點ヲ以テ選舉ヲ取消スヘキモノナル以上ハ其他ノ點ニ就テ雙方辯論スル所アルモ説明ヲ與フル必要ナシトス

○選舉人名簿ハ選舉ノ當時選舉權ヲ有シ選舉ニ參與シ得ヘキ者ヲ確定スル爲メ

設ケラレタルモノニ過キス從テ無資格者ハ該名簿ニ登錄シアルモ選舉權ヲ取得スルモノニアラス(村會議員ノ選舉效力ニ關スル訴 明治三十八年第三百八十三號
明治三十九年十月十二日宣告)

○町村制第三十七條第三項ハ最初町村會ニ訴願シタル者ニ限ラス總テ其事件ニ付キ直接利害ノ關係アル者ニ訴願訴訟ヲ許シタル規定ナリトス(同上)

〔理由〕 按スルニ被告カ與ヘタル明治三十八年十一月二十二日附裁決ハ同年一月二十日執行シタル北蒲原郡加治村會議員二級選舉ノ效力ニ關シ原告カ村會ノ裁決ニ服セス更ニ郡參事會ニ提起シタル訴願ニ對スル裁決ヲ不當トシ同村公民ニシテ選舉權ヲ有スル山口源次郎ナル者ヨリ被告ニ提起シタル訴願ニ對スルモノニシテ被告ハ審査ノ末同村二級選舉人中岩川四郎左衛門外四名ハ明治三十七年八月新潟縣ヨリ罹災救助ヲ受ケ未タ二箇年ヲ經過セサルヲ以テ選舉權ヲ有セサル者ナルニ拘ラス二級選舉ノ際選舉權ヲ行使シ而シテ右無資格者五名ノ投票取捨如何ハ直ニ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホスヘキヲ認メ町村制第二十九條第三項ニ依リ該二級選舉ヲ取消シタルモノナレハ被告ノ裁決ハ適法ニシテ取消スヘキモノニアラス原告ハ最初加治村會議員二級選舉ニ關シ山口源次郎カ同村會ニ提起シタル訴願ハ當選者ノ得票一點ヲ増加シ次點者ノ得票一點ヲ減少スルニアリテ選舉ノ效力ニ關スルモノニアラス從テ不適法ノ訴願ニ

シテ不成立ノモノナルニ被告ハ之ヲ看過シ裁決ヲ與ヘタルハ不當ナリト云フモ山口源次郎カ最初二級選舉會ニ於ケル投票效力ノ査定ヲ不當トシ村長ニ申立ヲ爲シタル訴願ハ村會ニ於テ理由アリト裁決セラレ村會限リ結局ヲ告ケタルモノニシテ同人カ被告ニ提起シタル訴願トハ其訴旨ニ於テ何等ノ關係ナキモノナルニ付被告カ裁決ヲ與フルニ當リ之カ當否ヲ審査スル必要ナキモノトス又原告ハ二級選舉ニシテ無資格者五名ノ投票アリテ其投票ノ取捨如何ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホスベキニ付取消スヘキモノナリトセハ一級選舉ニ付テモ亦無資格者一名ノ投票アリタルハ事實ニシテ而モ其一票ハ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホスベキハ選舉錄ニ徴シ明ナレハ共ニ取消スヘキモノナリ然ルニ被告ハ二級選舉ノミヲ取消シタルハ不當ナリト云フモ一級選舉ト二級選舉トハ必スシモ其效力ノ生滅ヲ共ニスヘキモノニアラス且當時一級選舉ニ付テハ何人モ其效力ヲ爭フモノナカリシヲ以テ被告ニ於テ二級選舉ノミヲ取消シタルハ不當ニアラス又原告ハ加治村二級選舉人岩川四郎左衛門外四名ハ明治三十七年八月新潟縣ヨリ罹災救助ヲ受ケ未タ二箇年ヲ經過セサルハ事實ナルモ既ニ町村制第十八條ニ依リ確定シタル選舉人名簿ニ登錄シアルヲ以テ選舉ヲ行フ妨ケス從テ二級選舉ハ取消スヘキモノニアラスト云フモ選舉人名簿ハ選舉ノ當時選舉權ヲ有シ選舉ニ參與シ得ヘキ者ヲ確定スルカ爲メ設ケテ

レタルニ過キスシテ該名簿ニ登錄ノ故ヲ以テ直ニ無資格者ニ選舉權ヲ與フルモノニアラス岩川四郎左衛門外四名ハ選舉ノ當時公民ニアラス選舉權ヲ有セサルモノニ付選舉ニ參與スルコトヲ得ス從テ被告カ二級選舉ヲ取消シタルハ不當ニアラス又原告ハ選舉ノ效力ニ關スル訴願ハ町村制第二十九條第一項ニ依ルノ外他ニ提起ノ途ナキモノナルニ山口源次郎ハ法定ノ期間内村長ニ適法ナル訴願ノ申立ヲ爲シタルコトナク漫然郡參事會カ原告ニ與ヘタル裁決ノ取消ヲ被告ニ訴願シタルハ不當ナリト云フモ町村制第三十七條第三項ハ最初町村會ニ訴願セル者ニ限ラス總テ其事件ニ關シ直接利害ノ關係アル者ニ訴願訴訟ヲ許シタル規定ニシテ選舉ニ關シテハ一般選舉人ハ直接利害ノ關係アル者ト認ムヘキモノナルヲ以テ加治村ノ公民ニシテ選舉權ヲ有スル山口源次郎ニ於テ郡參事會カ選舉ノ效力ニ關シ原告ニ與ヘタル裁決ヲ不當トシ被告ニ訴願ヲ提起シタルハ不當ナリト云フヲ得ス要スルニ原告ノ主張ハ採用スルニ由ナキモノトス

○町村制第七條ハ公民ノ資格要件タル地租ノ納額ニ付キ何等ノ制限ヲ設ケザレハ厘位ニ滿タサル地租ノ納稅者ト雖モ公民タルニ妨ケナキモノトス(村會議員選舉人名簿ノ正否ニ關スル訴 明治三十九年第二十四號 明治四十年三月十三日宣告)

〔理由〕 按スルニ本件訴訟ノ要點ハ(一)厘位ニ滿タサル地租ノ納税ハ町村制第七條ノ地租ヲ納メ云々ニ該當スルヤ否(二)田邊嘉助ニ關シテハ有效ナル訴願アリタルヤ否ニアリ右ノ第一點ニ關シテハ原告ハ貨幣法第三條及第四條ニ厘位ヲ以テ單位ト爲スモノナルニ依リ厘位未滿ノ地租ハ納租シ能ハサルト共ニ其請求ヲ爲シ得ルモノニアラス從テ厘以下ノ地租納稅義務者ハ公民ノ資格アリト云フコト能ハスト主張スト雖モ町村制第七條ニハ公民ノ資格要件トシテノ地租ノ納額ニ付テハ何等ノ制限ナキニ依リ本件ノ風間七藏池龜仁太郎鈴木斧次郎上石宇作上石仙藏ノ地租額厘位ニ滿タストスルモ町村制第七條ノ要件ニ適合セスト云フヲ得ス又右ノ第二點ノ田邊嘉助ニ付テハ原告ハ風間七藏ヲ無資格者ト認ムルニヨリ田邊嘉助ニ關スル訴願ヲ無効ナリト認ムルモノナリト雖モ風間七藏ノ公民ノ資格ヲ有スルモノト既ニ決セラル、以上ハ風間七藏ノ訴願ハ有效ニシテ選舉人名簿ニ登載ナク其儘確定名簿トナリタルモノト云フヲ得ス故ニ被告新潟縣參事會ノ裁決ハ取消スヘキ限リニ在ラス

○町會議員ノ選舉權ナキ者カ投票ヲ爲シタル場合ニ之ヲ控除スルモ次點者ヲシテ其地位ヲ失ハシムルニ止マリ當選者ノ得票數ニ何等ノ影響ヲ及ボサ、ルトキハ其選舉ヲ取消スヘキモノニアラス(町會議員選舉訴願裁決ニ對スル訴 明治)

三十八年第三百七十八號
四十年三月二十七日宣告

〔理由〕 按スルニ當選者中最少得票者カ前川勘左衛門ニシテ百六十九點次點者ハ大久保惣四郎山崎熊次郎ニシテ各百六十八點ナルコトハ當事者間ニ爭ナキ事實ナリ而シテ被告ハ甲第二號證ヲ援用シテ有權者中村若松カ議員選舉ノ投票ヲ爲サ、リシハ選舉掛ノ拒否ニ出テタルコトヲ主張スルモ該證ハ事後ノ作製ニ係リ根據ヲ有セサルモノナレハ該證ニ依リテ投票拒絶ノ事實ヲ認ムルヲ得ス而シテ又遠野區裁判所檢事局提出ノ中村若松外一名ニ對スル市町村會議員選舉罰則違犯被告事件ノ記録ニ依レハ選舉權ヲ有セサル中村若松カ明治三十七年五月一日釜石町會議員二級定期半數改選及補關選舉執行ノ際該議員候補者タル山崎熊次郎ヲ投票シタル事實ハ明白ナルヲ以テ該無効投票ヲ山崎熊次郎ノ得票數百六十八點ヨリ控除スレハ百六十七票トナルヲ以テ選舉權ヲ有セサル中村若松カ投票ヲ爲シタル結果ハ山崎熊次郎カ次點者タルノ位地ヲ失ヒタルニ止マリ當選者前川勘左衛門ノ得票數ノ上ニ何等ノ影響ヲ來タスモノニ非ス然ルニ被告縣參事會カ前記無効投票一票ヲ當選者前川勘左衛門ノ得票數ヨリ控除シ投票ヲ爲サ、ル有權者中村若松ノ一票ヲ次點者ノ得票數ニ加算スルトキハ則チ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル處アルモノナリトシテ該選舉ノ取消ヲ爲シタルハ違法ト云ハサルヲ得ス

○町村制第十九條ハ選舉公告ノ方法ニ付キ何等ノ規定ヲ設ケサレハ町村長カ或
揭示場廢止ノ手續ヲ爲サスシテ選舉ノ公告ヲ掲ケサルモ他ノ揭示場ニ之ヲ掲
ケタル以上ハ同條ニ違背セルモノト云フヲ得ス(村會議員選舉無效ノ訴 明治四十
八年第三百七十號
年四月十七日宣告)

〔理由〕 按スルニ原告ハ富岡村長カ土居場示場廢止ノ手續ヲ爲サスシテ恣ニ選舉ノ公告ヲ掲
示セサリシハ違法ナリト云フモ町村制第十九條ニハ單ニ町村長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ云々
之ヲ公告スヘシト規定セルノミニシテ之カ方法ニ至リテハ何等ノ規定ナキヲ以テ富岡村長カ
土居場示場廢止ノ手續ヲ爲サ、レハトテ既ニ選舉ノ場所日時ヲ日浦入江谷ノ二箇所ニ揭示シ
テ公告シタル事實アル上ハ町村制第十九條ノ規定ニ依リ選舉ノ公告ヲ爲サスト云フヲ得ス然
ラハ被告カ明治三十七年四月二十日富岡村ニ於テ執行シタル村會議員選舉ハ違法ニ非サルヲ
以テ吾川郡參事會ノ裁決ハ取消スヘキ限ニ在ラスト裁決シタルハ相當ナリト認ム

○町村會議員選舉投票中無効ノモノアリテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルトキハ其
選舉ハ取消スヘキモノトス(町會議員選舉效力ニ關スル縣參事會裁決取消請求
ノ訴 明治三十九年第七十一號
明治四十年六月十四日宣告)

○町村制第二十九條第三項ニ選舉ヲ取消シトアルハ選舉ノ全部ヲ取消スヘシト
ノ意ニシテ其一部ノ取消ヲ許シタルモノニアラス(同上)

〔理由〕 按スルニ本件中津町會ノ裁決ニ於テハ最末位ノ當選者太田長市百六十三票次點者土
岐八郎百五十九票無資格者ノ投票シタルモノ四人ナリシト云フモ大分縣參事會ノ裁決ニ於テ
ハ中津町長ノ調査書ニ基キテ無資格者二十名アリタリトシ又同會自カラ投票數ヲ調査シテ當
選者最末位岩田議事郎百七十七票次點者土岐八郎百五十九票ナリトセリ此ノ如ク兩者ノ言フ
所事實ノ差異アルニ原告ハ別ニ之ニ付何等ノ立證ヲ爲サルノミナラス其訴狀ニ於テ陳フル
所ヲ觀ルモ深ク之ヲ爭ハサルモノ、如シ而シテ大分縣參事會ノ云フ所ハ前述ノ如ク相當ノ根
據アルカ故ニ同參事會ノ見ル所ヲ以テ真正ノ事實ナリト認ム則チ明治三十七年四月二十七日
ノ執行ニ係ル中津町會議員定期改選ニ級選舉ニ於テ投票セル無資格者二十名ノ投票カ假リニ
總テ最末位當選者岩田議事郎ノ得票中ニ在リトセハ同人ノ得タル有效投票ハ百五十七票トナ
リテ次點者土岐八郎ノ得票ヨリ二票少キニ至ル是レ即チ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スヘキモノナ
レハ下毛郡參事會及大分縣參事會ノ裁決ハ至當ナリ蓋シ町村制第二十九條第三項ノ「選舉ヲ
取消シ」ナル文字ハ選舉ノ全部ヲ取消スヘシトノ意ニシテ其一部ヲ取消スヲ許シタルモノニ

アラサルコト明ナレハナリ其他原告ハ下毛郡參事會カ自カラ無資格者ノ數ヲ調査シタルコト
高牟禮保夫ノ追訴願ヲ採用シタルコトニ對シテ不服ヲ訴フルト雖モ孰レモ其理由ナク被告ノ
答辯セル所ヲ以テ相當トス

○或町村ニ於テ町村會議員選舉ノ投票ハ町村費ヲ以テ調製シタル一定ノ用紙ヲ
用ユヘキ定アル場合ト雖モ其用紙ニ記載セサル投票ハ無効ナリト云フヲ得ス
〔村會議員選舉效力ニ關スル裁決取消請求ノ訴 明治四十年第四百二十四號
明治四十一年二月七日宣告〕

〔理由〕 甲第一、二號證ハ即チ係争ノ投票ニ通ニシテ本訴ノ争點ハ右兩證ノ效力如何ニ在リ
一、甲第一號證カ村費ヲ以テ調製シタル一定ノ用紙ニ記載シタルモノニ非サルコトハ同證自
體及ヒ當事者雙方ノ陳述ニ徴シテ明ナルモ町村制其他ノ法令中此カル投票ヲ無効トスルノ規
定ナキカ故ニ縱令國分寺村ニ於テ村會議員選舉ノ投票ニ村費ヲ以テ調製シタル一定ノ用紙ヲ
用ヒシムルノ定メアレハトテ之カ爲メニ甲第一號證ノ投票ヲ無効トスヘキ限ニ在ラスニ、本
件選舉ニ於テ被選舉權者中中藤氏ヲ稱フル者ハ中藤俊彌ト中藤幸之輔トノ二人ニ過キサレコ
トハ原告ノ争ハサル所ナリ而シテ甲第二號證ノ投票中中藤ノ下ノ二文字ハ字體稍明瞭ヲ缺ケ
トモ之ヲ熟覽スルニ「年充」ナルコトヲ認ムルニ足ラス而シテ俊彌ノ國音カ果シテ被告主張ノ

如ク「トシミツ」ナルヤ否ヤハ明ナラサルモ年充ノ「年」ハ俊彌ノ「俊」ト國音相通シ年充ト幸之
輔トハ何等相類似スル所ナキヲ以テ甲第二號證ノ投票ハ俊彌ヲ選舉シタルモノト認ム此ノ如
ク甲第一、二號證ノ投票ニシテ有效ナル以上ハ中藤俊彌ノ得票ハ三十五票ニシテ即チ最多數
ナレハ同人ヲ當選者トスヘキハ當然ナリ從テ被告ノ裁決ハ相當ニシテ原告ノ請求ハ理由ナキ
モノトス

○議員選舉ニ付テハ其候補者タルト否トヲ問ハス苟モ被選舉權ヲ有スル者ナル
以上ハ其中ノ何人ヲモ任意ニ選舉シ得ルモノトス(町會議員選舉效力ニ關スル
訴 明治四十一年第十七號
明治四十一年三月二十三日宣告)

〔理由〕 凡ソ議員選舉ニ付テハ選舉人ニ於テ其候補者ナルト否トヲ問ハス苟モ被選舉權ヲ有
スル者ナル以上ハ其中ノ何人ヲモ任意ニ選舉シ得ヘキハ勿論ナリ而シテ本件町會議員選舉ニ
際シテハ佐藤惣助ナル者カ被選資格ヲ有スルコトハ被告ニ於テモ自認スルトコロナレハ佐藤
惣助ト記載シアル投票八十三票ハ外ニ現ニ候補者ト爲リ居ル佐藤惣助ナル者アリトスルモ該
投票ハ佐藤惣助ノ得票ナリト認ムルヲ相當トス然ルニ被告ハ總ト惣トノ文字ハ世俗之ヲ相混
用シ且佐藤惣助モ戸籍上會テ惣助ト稱セシコトアリシヲ以テ云々ト主張スルモ現實佐藤惣助

ナル者アル以上ハ其事實ノミヲ以テ係争投票ヲ佐藤總助ノ得票ナリト確認スルヲ得ス又被告ハ佐藤總助ノ地位名望資産等ハ佐藤惣助ノ遠ク及ハサル所ナレハ選舉人ノ意思ハ佐藤總助ニ投票シタルコト疑ナシト言フモ其事實ヲ認ムルニ足ル何等ノ立證ナシ之ヲ要スルニ係争投票八十三票ハ佐藤總助ノ得票ト認メ難ク隨テ佐藤繁松ノ得票百八十一票ハ佐藤總助ノ得票百四十票ニ比シ四十一票ノ多數ナレハ佐藤繁松ヲ以テ本件町會議員ノ當選者ト爲スヘキモノトス

(七) 水利組合ニ關スル件

○普通水利組合會ノ議員選舉ニ於テ組合規約ニ違背シタル無効ノ投票アルモ其選舉全體ヲ取消スノ理由トナラス(裁決取消ノ訴 明治二十七年第三十八號
明治二十七年七月十日宣告)

○普通水利組合ノ規約ニ明文ナキ以上ハ選舉ノ定規ニ關シテ市町村制ヲ適用セス(同上)

(理由) 原告等主張ノ要點ハ福岡堰水利組合會議員ノ選舉ニ於テ代人投票ヲ許シタルハ同組合規約第九條ニ違背シタルノミナラス原告等ノ異議申立ニ依リ再ヒ投票ヲ調査スルニ當リ選舉會場ニ非サル場所ニ於テ立會人ノ意見ヲ聽クコトナク選舉長並管理者ノ專斷ヲ以テ代人投票ヲ控除シテ當選人ヲ定メタルハ不法ナルヲ以テ其選舉全體ヲ取消スヘキモノナリト云フニ

在リ然ルニ本件選舉ニ於テ代人投票ヲ許シタルハ組合規約第九條ニ違背シタルモノナルモ投票ノ效力如何ニ依リ其選舉ヲ不法ナリト云フヲ得ス隨テ選舉全體ヲ取消スヘキモノニアラス又原告等ノ異議申立ニ依リ再ヒ投票ヲ調査スルニ當リ選舉會場ニアラサル場所ニ於テ立會人ノ意見ヲ聽クコトナクシテ其選舉ヲ訂正シタルハ組合規約ノ手續ヲ缺キタルモノニシテ被告ニ於テモ自認スル所ナリト雖モ組合規約ニハ市町村制ニ於ケル如キ選舉ノ定規違背ノ場合ハ其選舉ヲ無効トスヘキ規定ナキヲ以テ是亦選舉全體ヲ無効トスヘキ理由ト爲スヲ得ス故ニ茨城縣知事ノ爲シタル裁決ハ取消スヘキモノニアラス

○水利組合條例第四十七條第二項ハ訴願ノ期限ニ關スル規定ニシテ議員選舉ノ效力ニ關スル異議申立ニ適用スヘキモノニアラス(議員選舉ノ效力ニ關スル訴 明治二十七年第七十八號
明治二十八年三月二十七日宣告)

○水利組合ハ該組合規約ノ認可ヲ得ルト同時ニ成立ス府縣知事ノ告示ニヨリ始メテ組合ノ設置成リ管理者定マルモノニアラス(同上)

○水利組合條例第三十二條四ハ投票用紙等ノ保存ヲ指示シタル規定ニアラス(同上)

○投票用紙ノ存保シアラサルノ故ヲ以テ其選舉ヲ無効ナリト云フヲ得ス(同上)

〔理由〕 被告代理人ハ本件議員選舉ノ效力ヲ争ハント欲セハ水利組合條例第四十七條第二項ニ依リ二十一日ノ期間内ニ於テセサルヘカラス然ルニ原告ハ明治二十四年四月十九日ノ選舉ノ效力ニ付明治二十七年七月ニ至リ異議ヲ申立テタルモノナレハ行政訴訟ノ根本ニ於テ既ニ不適法ノモノナリト云フト雖水利組合條例第四十七條第二項ハ訴願期限ニ關スル規定ニシテ本件ノ如キ同條例第二十三條ニ依レル異議申立ニ之レヲ適用スヘキモノニアラス故ニ此點ニ於ケル被告代理人ノ申立ハ法律ノ誤解ニ起因スル不當ノ申立ナリトス而シテ原告代理人ハ水利組合條例第二十九條ノ規定ハ管轄廳カ組合管理者ヲ指定スルノ標準ヲ定メタルモノニシテ同條例第十二條第二項ニ規定シタル府縣知事ノ組合設置及ヒ管理者タルヘキ者ノ告示ニ依リ始メテ管理者ナルモノ定マリ又組合成立スルモノナリ然ルニ本件議員ノ選舉ヲ行ヒシハ明治二十四年四月十九日ニシテ府知事ノ告示ヲ爲シタル前日ナルヲ以テ此日ハ既ニ組合ノ認可ヲ受ケ居ルモ未タ府知事告ノ示セサルノ日ナレハ即チ組合設置以前ニ係ルモノニシテ隨テ此選舉ハ無効ナリト云フト雖本件水利組合ノ區域ハ南豊島郡澁谷村一村内ニ止マルヲ以テ水利組合條例第二十九條前段ノ規定ニ依リ該組合規約ノ認可ヲ得ルト同時ニ當然其村長ナル者之レ

カ管理者タルヘキモノナリ而シテ同條例第十二條第二項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ告示ハ既定ノ組合設置及ヒ其管理者ヲ公衆ニ告示スルニ過キサルモノナレハ該告示ヲ以テ始メテ組合ノ設置成リ管理者定マリタルモノト云フヲ得ス故ニ本件水利組合ノ如キハ同條例第一項ノ手續ヲ經既ニ府知事ノ告示以前ニ成立シタルモノニシテ隨テ組合會議員ノ選舉ヲ無効ナラシムル理由ナキモノトス又原告代理人ハ議員選舉ハ組合規約第七條ニ依リ投票ヲ以テ行フヘキモノナレハ管理者ニ於テハ其投票用紙及其他之レニ關スル必要ノ書類ヲ保存スヘキハ水利組合條例第三十二條四ニ明記シアル如ク管理者職務ノ一ナルニ之レヲ保存シアラサルヲ以テ見レハ適法ニ選舉ヲ行ハサリシヲ知ルニ足ルヘシト云フト雖水利組合條例第三十二條四ノ規定ハ投票用紙等ノ保存ヲ指示シタル規定ト認ムル能ハサルノミナラス其他投票用紙等ヲ保存スヘキ何等ノ規定ナキヲ以テ投票用紙ノ保存シアラサルノ故ヲ以テ選舉ヲ無効ナリト云フヲ得ス其他原告ニ於テ陳辯スル所アルモ本訴判決上必要ナリト認メサルヲ以テ之レカ説明ヲ與ヘス

○水利組合員ニアラサル者ハ其組合會カ如何ナル決議ヲ爲スモ之ニ因テ水ノ使用權ヲ侵害セラレタリト云フヲ得ス(三田用水内堀普通水利組合會不法決議取消ノ訴 明治二十八年第六十九號 明治二十九年六月十九日宣告)

○〔理由〕 原告ハ明治二十七年二月十三日ノ三田用水内堀普通水利組合會ノ議決ニ依リ用水使

用權ヲ侵害セラレタリト云フト雖原告ハ内堀組合員ニアラサレハ坂本分水口ノ用水ヲ使用ス

ル權利ナキノミナラス内堀會ノ決議ヲ以テ特ニ用水使用權ヲ與ヘラシタル者ニアラサレハ其

議決ニヨリ侵害セラレヘキ使用權アリト云フヲ得ス然ラハ即チ内堀會ノ議決ハ原告ノ用水使

用權ヲ侵害シタル違法ノ處分ト認メ難キヲ以テ取消スヘキモノニアラサルナリトス

○水利組合會員タルノ權利ヲ有スル者ニアラサレハ其組合ノ管理ニ屬スル用水

ヲ使用スルコトヲ得ス(不法議決取消請求ノ訴 明治二十九年第二十七號 明治三十年四月三十日宣告)

○〔理由〕 原告ハ本訴澁谷村千二百八十番地ノ水田ハ三田用水普通水利組合會ノ区域内ニ在ル

モノナレハ該用水ヲ使用スルノ權利アリト主張スト雖モ從前荏原郡役所ニ備ヘアル三田用水

普通水利組合田反別臺帳及組合費徵收簿等ニ據レハ澁谷村ニ於テ三田用水水利組合會ニ屬ス

ル水田ハ十六町七反九畝二十一步ニ止リ其費用ノ如キモ田十六町七反九畝二十一步ニ對シ賦

課シ來リタルモノニシテ原告ノ所有地ハ其區域外ニアルモノナレハ原告ハ三田用水水利組合

會員タル權利ヲ有セサルニ依リ之ヲ使用スルヲ得サルモノトス

○普通水利組合ト水害豫防組合トハ各個獨立ノ公共團體ナリ(不法工事差止請求

ノ訴 明治三十年第三十七號 明治三十年六月十五日裁決)

○普通水利組合ハ水害豫防組合ノ處分ヲ受クルコトナシ(同上)

○水害豫防組合議員ノ選舉ニ於テ確定名簿ニ登録セラレタル選舉人ノ數名ハ無

資格者ナリトノ理由ヲ以テ管理者カ投票ヲ爲サシメサルハ違法ナリ(不當裁決

取消要求ノ訴 明治三十年第十四號 明治三十年七月一日宣告)

○〔理由〕 被告ニ於テハ確定名簿ノ效力ハ名簿ニ登録セラレタルモノハ如何ナルモノト雖モ悉

ク選舉ニ參與スル權利ヲ生セシムルモノニアラスシテ名簿ニ登録セラレサルモノハ組合員ト

雖モ選舉ニ參與スルコトヲ得サラシムルニ在リ故ニ管理者ニ於テ登録人名中無資格者アルコ

トヲ確認スル以上ハ之ヲシテ選舉ニ參與セシメサルモ違法ニアラスト主張セリ按スルニ本件

組合規約ニ於テハ確定名簿ノ效力ニ付別ニ規定スル所ナシト雖モ其第九條ニ於テ選舉人名簿

ニ登録セラレタルモノヲシテ選舉ニ參與スルコトヲ得セシムル趣旨タルヤ疑ヲ容レサルヲ以

テ名簿ニ登録セラレタルモノハ確定ノ效力ニ依リ有權者トナラサルニモセヨ之ヲシテ投票ヲ

行ハシム可キモノトス然ルニ本件選舉ハ管理者ニ於テ自己ノ推斷ニ基ツキ確定名簿ニ登録セ

ラレタル北村榮次郎外二百七十六名ニ對シ投票ヲ爲サシメスシテ結了シタルモノナレハ組合規約ニ違反セル不當ノ選舉タルヲ免レサルモノトス此他原被雙方尙陳述スル所アルモ本件裁判ニ必要ナラスト認ムルニ付説明ヲ與ヘス

○水利組合規約ニ選舉人名簿縦覽及選舉ノ場所ハ組合内ニ公告スヘシトノ規定アルハ單ニ組合員ニ對シ公告スヘシトノ意義ナリ(水海道惡水吐樋管普通水利組合會議員選舉取消訴願ノ裁決ニ不服ノ訴 明治三十二年第四百七號
明治三十二年十二月二十七日宣告)

○水利組合條例第二十六條ハ組合會ニ於テ議事ヲ開キ議決ヲ爲スニ要スル人員ヲ定メタルモノニシテ組合會成立ノ人員ヲ定メタル規定ニアラス(同上)

○組合會ノ成立前ニ在リテ管理者カ水利組合條例第五十六條ニ依リテ其事務ヲ處理セシハ適法ナリ(同上)

〔理由〕原告ハ選舉人名簿縦覽及選舉ノ場所等ハ組合規約第十一條及第十三條ニ依リ組合内ニ公告スヘキ筈ナルニ管理者ニ於テ組合區域外ナル川西村役場ノ揭示場ヲ用ヒタルハ違法ナリト云フト雖該規約第十二條及第十三條ニ組合内ニ公告スヘシトアルハ單ニ組合員ニ對シ公告スヘキ旨ヲ規定シタルモノト認メサルヲ得サルニ依リ本件管理者ノ處置ハ違法ナリト謂フ

ヲ得ス又ハ被告ハ組合會ハ水利組合條例第二十六條ニ依リ議員三分ノ一以上出席スレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ルモノナレハ該定足數ノ議員當選確定シタルトキハ組合會ハ成立スルモノナリ而シテ川西村大字小屋ノ選舉ニ於テ既ニ半數ノ議員ハ當選確定シタルニ付即開議シ得ヘキ定足數以上ノ議員アルカ故ニ組合會ヲ召集セサル可ラス然ルニ管理者カ茲ニ出テスシテ水利組合條例第五十六條ヲ適用セシハ違法ナリト云フト雖同條例第二十六條ハ組合會ニ於テ議事ヲ開キ議決ヲ爲スニ要スル人員ヲ定メタルモノニシテ該會成立ノ後適用スヘキ規定ナリ然ルモノニアラス換言スレハ同條ハ組合會議事規則ニシテ該會成立ノ後適用スヘキ規定ナリ然ルニ本件管理者カ選舉取消ノ請求ヲ受ケタルハ大字小屋ノ選舉ハ執行濟ナルモ大字濱ノ邊ノ選舉ハ執行未濟ニシテ未タ組合會成立ニ到ラサル時ナレハ之ヲ適用スヘキ場合ニアラス然レハ管理者ニ於テ同條例第五十六條ニ依リ處理セシハ相當ノ處置ニシテ違法ト爲スヘキモノニアラス然レトモ此點ハ唯裁決ノ失當ニ止マリ選舉ノ效力ニ關係ナキヲ以テ之ヲ理由トシ選舉ヲ取消スヲ得ス

○水利組合條例ハ組合會議員ノ選舉資格ヲ制限スルコトナシ從テ婦人ト雖モ其選舉權ヲ有スルモノトス(水利組合會議員選舉ニ關スル不當裁決取消ノ訴 明治)

三十五年第九十八號
三十五年十一月十四日宣告

○水利組合會議員ノ選舉ニ際シ甲ノ長女乙甲ノ委任狀ヲ携帶スルコトナク甲ナリト稱シテ爲シタル投票ハ無効ナリ(同上)

〔理由〕原告ハ水利組合會ハ公法人ナルヲ以テ其議員ノ選舉ニ付婦人タル山口ツルニ選舉權ナキハ論ヲ俟タスト云フト雖モ水利組合條例第二十條ニ組合會議員ハ其組合員ニ於テ之ヲ選舉スヘシトアリテ其選舉人ノ資格ヲ定メタル規定ナキヲ以テ婦人ニ選舉權ナシト謂フヲ得ス然レハ此點ニ係ル原告ノ主張ハ理由ナキモノトス次ニ被告ニ於テ山口ツルノ投票ニ付キツル自身カ投票シタルモノナルコトハ選舉錄ニ徴シ明カナリト云フト雖モ甲第二號證即チ明治三十四年十一月十三日取手警察署ニ於ケル司法警察官警部野尻宇一郎ノ作成シタル山口タマノ聽取書及同第三號證即チ同年十一月十七日龍ヶ崎區裁判所檢事代理司法官試補濱口菅六郎ノ作成シタル山口タマノ聽取書ニ依レハツル本人カ投票シタルニ非スシテ其長女タマカツルト稱シテ投票シタルモノナルコト明瞭故ニ其投票ハ無効ナリトス又被告ハ假リニタマカ投票シタリトスルモ組合規約ニ依リツルノ代人トシテ投票シタルモノナリト云フモ代人投票ニハ委任狀ヲ要スル組合規約ノ規定ナルニ當時タマカ委任狀ヲ携帶セサルコトハ甲第二號及三號證

ニ據リ明カナレハ正當ナル投票ナリト認ムルヲ得サルモノトス

○住居ノ移轉ト見サル場合茨城縣參事會裁決取消ノ訴 明治三十五年第三百三十四號
明治三十六年二月二十日宣告

〔理由〕原告ニ於テ從參加人中村三一郎ハ土浦町ニ移住シ選出部内六鄉村ニ住居セサルカ故ニ岡堰普通水利組合會議員タル資格ノ一要件ヲ具備セスト云フト雖乙第三號證及丙第三號證ハ六鄉村長ノ證明ニ依レハ三一郎ハ同村大字澁沼八番地ニ於テ住居シ且茨城縣縣稅賦課規則ニ依リ現在者ニ賦課スヘキ縣稅戶數割及村稅戶別割ヲ同村ニ於テ納メ居ルコト疑ヲ容ルヘカラズ又乙第二號證土浦町長ノ證明ニ依レハ同人ハ辯護士事務所ヲ有スルノミニシテ同町住民ニ非サルコト明瞭ナリ然レハ三一郎ハ六鄉村ニ住居セスト謂フヲ得ス隨テ本件水利組合會議員タル資格ノ一要件ヲ缺キタルモノニ非ス

○水利組合會議員選舉人名簿調製後縱覽期間滿了前ニ於テ土地ヲ買得セル者ノ爲シタル投票ハ無効ナリトス(縣參事會裁決取消ノ訴 明治三十六年第九十九號
明治三十六年十一月二日宣告)

〔理由〕被告ニ於テ組合規約ニハ選舉人名簿調製期日ニ付何等規定スル所ナキヲ以テ選舉人名簿ノ確定前即名簿縱覽期限中ニ新ニ組合員トナリ選舉權ヲ有スル者ハ名簿ニ登錄セサルヘカラスト云フト雖組合規約第五條ニハ管理者ハ議員選舉ヲ行フ毎ニ選舉人名簿ヲ調製シ七日

間關係者ノ縦覽ニ供スヘシ云々トアレハ選舉人名簿ノ調製期日ハ之ヲ縦覽ニ供スル以前カリト解釋セサルヘカラス故ニ關係者ハ其名簿中該期日以前ニ組合員トナリタル者ノ誤脱等ヲ發見スルトキハ修正ヲ求ムルコトヲ得ヘシ然ルニ本件ニ於テ湖北村住民増田元吉以下百十五名ハ名簿調製後縦覽期間満了前ニ至リ土地ヲ買得シタル者ナレハ名簿調製ノ當時ニ在リテハ未ダ組合員ノ資格ヲ有セサルコト明カナリ然ラハ右組合員タル資格ナキ者ノ投票ハ法律上無効タルヘシ隨テ此投票ニ依リ成リタル當選ハ取消スヘキモノトス

○甲水利組合カ古來或河川沿岸ノ引入口ヨリ用水ヲ引入ル、ノ權利ヲ有スル以上ハ乙丙等他ノ水利組合ハ該水路ヲ閉塞スルノ權ナシ故ニ甲組合カ其閉塞工事ヲ破壞シ流水ヲ引入ル、モ之ヲ以テ公益ヲ害スルモノト云フヲ得ス(不法命令取消請求ノ訴 明治三十九年第九十二號
明治四十年十月二十二日宣告)

〔理由〕 被告ノ成立ヲ爭ハサル甲第二號證ノ一「相極申一札ノ事」ト題スル證文中ニ「私共村々往古ヨリ矢代川ニ而養水取揚來リ云々」ノ記事「稻塚新田庄屋三郎右衛門」ノ署名甲第二號證ノ二「差上申濟口證文事」ト題スル書中ニ「右川下同國同郡石塚村四ツ屋村稻塚新田中川村寺町村柳井田村田中村(中畧)七箇村共矢代川流末ニ而夫々用水引入口有之候得共云

云」ノ記事甲第二號證ノ三「爲取替申和融證文ノ事」ト題スル書中ニ「私共村々往古ヨリ矢代川用水取來リ云々」ノ記事「稻塚新田百姓代」等ノ署名寛政八年文化四年明治四年ノ成立(乙第一號證成立以前)ニ係ル甲第三號證ノ一、二、三各繪圖面ニ用水引入口ノ記載アルノ事實甲第五號證明治二十五年十二月二十七日原告組合組織ニ關スル會議議事録中ニ「西稻塚新田ニ至リテハ矢代河ノ水及中川用水ノ殘水ヲ用キ云々」ノ記事甲第六號證ノ一明治三十六年三月中郡役所ノ照會ニ基キタル調書ニ「稻塚普通水利組合用水矢代川ヨリ引入」ノ記事甲第六號證ノ二明治四十年九月二十日附郡長書面ニ「當應備付ノ臺帳ニハ矢代川ヨリ引水ノ旨記載有之候ヘ共云々」ノ記事アルニ徴スレハ原告組合カ古來矢代川ヨリ用水ヲ引入シ來リ且同川沿岸ニ引入口ヲ有セシコトハ明ニシテ係爭引入口ノ外他ニ原告組合ハ矢代川沿岸ニ用水引入口ヲ有セサルハ爭ナキ所ナレハ原告組合ハ係爭引入口ヨリ矢代川流水ヲ引入スルノ權利ヲ有スルモノト認メサルヲ得ス被告ハ乙第一號證「相渡申一札ノ事」ト題スル證文ニ「矢代川通リヨリ用水口無之場所ニ候得共二百十日ヨリ八十八夜ノ間水車用水掘織(中畧)八十八夜ヨリ二百十日迄ノ間ハ矢代川通リ取入口五間通リ埋潰シ可申候云々」ノ記事アルニ由リ原告組合ハ該水路ニ依リ引水スルノ權利ナク參箇村組合ハ該取入口ヲ閉塞スルノ權能ヲ有スト云フ

ト雖モ乙第一號證ニ對シテハ原告ハ不知ノ旨陳述シ當裁判所ノ參考人トシテ訊問シタル同證署名者ノ相續人細貝鐵太郎ハ其成立ヲ疑フ旨陳述スルノミナラス同證ニ證據人トシテ署名シタル石山萬作ハ同證ニ「用水口無之場所」トアルニ係ハラス事實ハ用水口ハ水車設置以前ヨリ存在シ只水車設置ノタメ之ヲ取擴ケタルニ過キサル旨陳述スレハ乙第一號證ノ成立ハ眞實ナリトスルモ同證ノミニヨリ直ニ原告組合ハ該水路ニ依リ矢代川ヨリ用水ヲ引入スルノ權利ナク又參箇村組合ハ之ヲ閉塞スルノ權利ヲ有スルモノト斷定スルヲ得ス又被告ハ乙第三號證明治二十五年九月二十五日附組合設置具狀書ニ「西稻塚新田ハ湧出水及中川殘水用水ニシテ云々」ノ記事アルニ由リ其主張ヲ立證スト云フト雖モ其成立ヲ認メタル殆ト同一目的ヲ以テ僅ニ數月ヲ隔テ成立シタル甲第五號證ニ「西稻塚新田ニ至リテハ矢代川ノ水及ヒ中川用水ノ殘水云々」ノ記事アレハ乙第三號證ノ記事ノミニヨリ原告組合カ矢代川ヨリ用水ヲ引入スルノ權利ナキノ事實ヲ認メ難ク乙第二號證同第二號證ノ一ハ繪圖面ニシテ係爭水路ノ所在ヲ示スニ止マリ乙第四號證ハ係爭事件發生後原告カ乙第三號證記載記事ノ訂正ヲ求ムル具狀書ニ過キサレハ本件爭點ヲ決定スル材料トナシ難ク又被告從參加人ハ丙第一號證嘉永六年成立ノ繪圖ニ依リ原告組合ハ中川用水ノ殘水及ヒ湧出水トヲ以テ灌溉シ來レルモノナルヲ立證スト

云フト雖モ同證ハ栗原村用水路堰所並ニ流末ヲ目的トシ調製セラレタルモノナルハ同證ノ記事ニ依リ明瞭ナレハ同證ニ記載ナキノ故ヲ以テ原告組合ハ矢代川沿岸ニ用水引入口ヲ有セサルモノナリト斷定スルヲ得ス丙第二號證「爲取替申用水約定書」ト題スル證文ハ栗原村ト柳井田村外ニ箇村トノ契約書ニシテ被告從參加人ハ本證ニ由リ栗原村地内ニ用水引入口ノ存在スルハ參箇村組合トノ特約ニ基クモノナルヲ示シ原告カ甲第四號證ヲ以テ用水引入口ハ他ニモ存在スル旨ノ主張ヲ打破セントスルモノナレトモ栗原用水ノ有無ハ本件爭點ニ關係ナク丙第三號證「相渡申一札ノ事」ト題スル證文ハ寛政十年十月石塚村四ツ谷村ヨリ柳井田村外ニ箇村ニ用水ニ關シ其非行ヲ責メラレ差出シタル謝罪狀ニシテ被告從參加人ハ原告組合ハ直接兩村ニ接近シ利害ノ關係多大ナレハ其當時矢代川沿岸ニ用水引入口ヲ有セントセハ決シテ默過スヘキニアラサルニ其然ラサルハ用水引入口ヲ有セザリシノ證ナリト云フト雖モ本證モ必要本件爭點ヲ決定スルノ材料トナスニ足ラス其他原告並被告ニ於テ種々陳述スル所アルモ必要ナキト認メ一々之カ説明ヲ與ヘサルモ前記ノ如ク原告組合ニシテ係爭引入口ヨリ矢代川流水ヲ引入スルノ權利ヲ有スル以上ハ原告組合カ右引水口閉塞工事ヲ破壊シ流水ヲ引入レタルヲ以テ公益ヲ害スルモノト認ムルヲ得サレハ水利組合條例第四十九條ヲ適用シタル本件被告ノ

處分ハ適法ナリト云フヲ得ス

○普通水利組合カ從來其區域内ノ或場所ニ於テ河川ヲ堰止メ用水トシテ之ヲ引取ルノ權利ヲ有スル場合ト雖モ當該行政廳カ其取入口ノ上流ニ於テ他人ニ河水使用ヲ許可スルニ當リ該組合ニ諮問スヘキ法令ノ規定ナケレハ縱令諮問ヲ爲サ、ルモ違法ニアラス(流水使用許可違法處分取消請求ノ訴 明治三十九年三月十二日宣告)

〔理由〕 乙第三號證甲第五號證及甲第十一號證ハ寬政六年中江用水カ上江用水ノ關川ヲ皆留シタルヲ不當ナリトシ「上江中江兩江口水掛高御見鏡ヲ以テ江口分水被仰付無法ニ過水引取不申様上江組村役人被召出被仰付置度奉願上候」ノ訴ニ對スル内濟證ニシテ其要旨タル「當寅年旱魃ニ付中江水下減水然ル處御役所様ヨリ御出役兩江口御見分ノ上御差圖ニ任セ用水引取候上ハ以來ハ旱魃ノ節御役所様へ願出御出役立會ノ上御差圖ニ任セ雙方無異論用水引取可申事」ニ依レハ出張官吏ノ差圖ニ任セ用水ヲ引取ルモノナルカ故ニ被告ハ原告ニ何等ノ權利ナシト主張スルモ之レ灌溉水ノ爭論ニ際シ一方カ無權利ナラサル限リハ適當ノ解決方法ニシテ之ヲ以テ直チニ原告ニ水利權ナシト認ムヘキニアラサルノミナラス寧ロ之ニ依リテ原告カ水利權ヲ有セシ證據トナスニ充分ナリトス甲第九號證ノ一、二ハ被告モ亦關川水源ノ一ト認ムル芙蓉湖ニ於ケル原告ノ用水工事ノ公認セラレタルモノナルコトヲ證シ甲第一號證東京控訴院ノ判決及甲第十號證新潟縣令ノ開届書ハ原告カ芙蓉湖ニ對シ水利權ヲ有スルコトヲ證シ甲第八號證中江用水江組村々人民惣代ト杉野澤村人民惣代トノ間ニ於ケルニ杉野澤村ニテ該村其他分水新江開鑿等ノ頼談有之候共同郡中江用水組村々ニ談判熟議不致上ハ單ニ新規事業ノ企致間敷候事」ノ契約甲第六號證「兩村用水引取方御差圖請可申候」及甲第七號證「高柳江口ヨリ關川取入二子島村高柳村馴合拙者村々へ用水引取可申巧ニ相違有之間敷」云云「若後年中江用水差障相成怪敷儀少シ足共有之候ハ、私共江筋皆留ニいたし可申候其節一言之儀申間敷候」ハ之等諸村ノ人民カ又原告ノ水利權ヲ認メ之ヲ侵害セサルコトヲ約シタルヲ證シ甲第十二號證ニ依レハ新潟縣知事ハ原告用水ノ源水トシテ苗ノ瀧及芙蓉湖ヲ認メタルコトヲ證スルモノニシテ之等ノ諸證ニ依レハ原告ハ關川ヲ水上村大字西條ニ於テ堰止メ用水トシテ引取ル權利ヲ有スル證據充分ナリトス乙第四號證ハ上江用水組合カ原告ノ要求ニ應セザリシコトヲ證スルニ止マリ原告ノ權利ヲ否定スル證トナスニ足ラス然レトモ當裁判所ノ相當ト認メタル鑑定ニ依レハ原告ノ用水取入口ニ於ケル關川水量ハ本件許可ニ依ル使用ノ爲メ

ニ影響ヲ蒙ルコトナシト認ムルノミナラス本件許可ノ如キ場合ニ於テ諮問スヘキ法令ノ規定存セサルヲ以テ違法ニ原告ノ權利ヲ毀損シタル處分トシテ本件許可ヲ取消スヘシトノ原告ノ主張ハ之ヲ認ムルコト能ハス

(同一判例 關川流水使用許可處分取消ノ訴

明治三十九年第四十四號
明治四十一年三月十二日宣告)

(八) 公民権ニ關スル件

○町村制第七條第二項ニ一戸ヲ構ヘトアルハ獨立シテ生計ヲ營ム者ヲ指示シ戸

主ト非戸主トヲ問ハス(公民権有無爭論ノ訴

明治二十三年第三號
明治二十三年十一月二十一日宣告)

○戸主ニ非スシテ現在納稅ヲナシタル者ハ亦納稅者タルノ資格ヲ有ス(同上)

[理由] 戸主タルト否トニ依リ公民タル資格ノ有無ヲ爭フニ在リト雖抑町村制第七條ニ依レ

ハ滿二十五歳以上ニシテ一戸構ヘトアルハ戸主ト非戸主トヲ問ハス一戸ヲ構ヘ獨立ノ生計ヲ營ム者ヲ云フモノニシテ本案原告人ニ於ケルヤ明治十七年濱松町元魚十一番地ニ於テ自ラ宅地ヲ購求シ家屋ヲ建築シ今日ニ至ルマシ諸般ノ義務ヲ負擔シ所謂一戸ヲ構ヘテ獨立ノ生計ヲ營ミタル事實アルコトハ即甲第一號乃至十五號證ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ殊ニ當時戸主ニ於テ一戸ヲ構ヘタル者ト認メタルコトハ戸數割ヲ賦課シタルヲ以テ之ヲ觀ルモ明カナリト

ス又被告人ハ同二十年父子同居シタル以來ノ納稅殊ニ所得稅ノ如キハ戸主即チ父和四郎ノ名ヲ以テ徵收スヘカリシニ非戸主即チ原告人ノ名ヲ以テシタルハ當該吏員ノ不注意ニ出テタルモノナレハ原告人ノ納稅資格ニ算入スヘカラスト云フト雖所得稅法ハ徵稅上單ニ戸主ヲ以テ納稅者ト視ルニ過キスシテ實際ノ納稅者タル資格ヲ失フ者ニ非サルヲ以テ原告人ノ納稅ハ之ヲ納稅資格ニ算入シ得ヘキハ當然ノ事ナリトス故ニ被告人ニ於テ原告人ヲ選舉人名簿ニ記入セザリシハ不當ノ處分ナリトス

○幼時ヨリ親戚ノ家ニ於テ養育ヲ受ケタル以來依然同居スルモノハ町村制第七條ニ所謂一戸ヲ構ヘタル獨立ノ男子ト謂フコトヲ得ス(公民権有無不當ノ訴

明治二十四年第四號
明治二十四年六月四日宣告)

[理由] 本件原被告所爭ノ要點ハ被告吉原彌兵衛ハ町村制第七條第二項一戸ヲ構ヘト云ヘル要件ヲ具フルモノナルヤ否ニアリトス而シテ被告ニ於テハ幼ニシテ父母ヲ失ヒタルヨリ其叔父吉原彌藏ノ家ニ在リテ養育ヲ受ケタリシモ成長ノ後其家ニ同居シアルハ叔父吉原彌藏カ一ノ嗣子ナク且彌藏カ妻ハ病身ナルヨリ叔父カ家事ヲ補助スルカ爲メニシテ自己獨立ノ業ヲ營ミ獨立ノ生計ヲ營ムヲ得ルノ能力アルハ被告カ明治十九年以來茶業組合ノ組長及蠶業組合幹

事ニ當選シ其他公務ヲ奉シタルト一戸主ニシテ地租十圓以上ヲ納メ來ルヲ以テ知ルヲ得ヘク其戸數割戸別割ヲ納メサルハ明治十七年以後本縣規則ノ然ラシムル所ナリト云フト雖被告ハ幼時叔父吉原彌藏ノ家ニ於テ養育ヲ受ケタル以來依然共居同爨シ獨立ノ事實ヲ表明スルモノ無之ニ依リ町村制第七條第二項ノ一戸ヲ構ヘタルモノト認ムルヲ得ス故ニ被告ハ公民権ヲ有セサルモノトス

○町村ノ收入役ト雖モ公民権ヲ得タル者ハ當然選舉權ヲ有ス(公民権ノ有無ニ付

縣知事ノ裁決不當ノ訴

明治二十四年第二十九號
明治二十四年九月二十五日宣告

〔理由〕原告陳述ノ要點ハ町村制第五十六條第二項中但書ノ規定ハ之ヲ收入役ニ適用スヘキモノニアラス又假令ヒ有給町村長有給助役收入役等公民権ヲ有スルモノトナスモ町村制第十二條ノ選舉權ヲ有スルモノニアラスト云フニ在リト雖モ町村制第六十二條第三項ノ規定中單ニ第五十六條第二項ヲ適用ストアリテ其但書ヲ適用セストノ明文ナキノミナラス當選ト云ヒ選任ト云フモ毫モ其意義ニ異ナルトコロナシ又原告ハ第五十六條第二項ノ所謂ル公民権ナルモノハ町村制第七條ノ要件ヲ具備シタル普通公民権ト異ナルモノナリト主張スルモ町村制中二種ノ公民権アルヘキノ理由ナク隨テ町村制第五十六條第二項ニ依リ公民権ヲ得タル收入役

ハ同法第十二條ニ規定シタル選舉權ヲ有スルモノト爲サルヲ得ス故ニ被告ニ於テ收入役阿部龜助ヲ町會議員選舉人名簿ニ登載シタルハ之ヲ不當ナリト謂フヲ得ス

○市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ市長選舉ニ與カルヲ欲セザレハトテ市會議員タル名譽職ヲ退クノ適法ノ理由トナラス從テ之ヲ理由トシテ市會議員ヲ辭シタル者ニ對シ市會カ公民権ヲ停止スルノ議決ヲ爲シタルハ正當ナリトス(公民権停止不當議決取消請求ノ訴 明治二十四年第二十九號
明治二十五年三月二十八日宣告)

〔理由〕原告ニ於テ明治二十四年二月七日提出シタル連署ノ辭表ハ市長選舉ニ付キ法律ノ見解ヲ異ニスルヲ以テ市長投票ノ選舉ニ與カルヲ欲セサルヨリ辭職シタルモノニシテ其事實理由ハ公民権ノ停止ヲ受ク可キ價直ナキニ由リ該議決ハ不當ナリト云フト雖モ市制第八條中市公民ニシテ名譽職ヲ擔任ス可キハ其義務ナリトシ第一乃至第六ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス其理由ナクシテ之ヲ爲スモノハ三年以上六年以下市公民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔スヘキ市費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得ルノ規定アリ而シテ本訴ハ法律ノ見解ヲ異ニスルヲ理由トシ辭表ヲ提出シテ名譽職ヲ退キタルモノナルモ市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ論スル如キハ議員ノ職務上ニ關スル事ニシテ公民タルノ

義務即チ名譽職ヲ退キ得ヘキ理由ト爲スヘキモノニアラス依テ高岡市會ノ議決ハ不當ナラサルニ付之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村ノ名譽職ニ在ル者ハ辭職届書ヲ提出スルトキハ即チ退職シタルモノニシテ村會ノ議決シタル後始メテ退職者ト爲ルニアラス(公民権停止議決取消ノ訴

明治二十七年第六十四號
明治二十七年十二月二十一日宣告)

○町村會ノ招集狀ニ村長ノ名義ヲ以テスルモ其村會ノ議決ヲ違法ト云フヲ得ス(同上)

〔理由〕原告等ニ於テ明治二十六年度地租及地方税ノ徵收令狀ヲ受領シタルニ依リ其納税額ヲ取纏メ收入役ニ納付セントスルニ際シ町村税未納者ノ分ハ町村税ヲ先ニスルニアラサレハ收入スヘカラストノ村長ノ命ナリトシ拒絶セラレタルヲ以テ遂ニ納税期日ヲ誤リ村民中ノ多數ハ爲ニ財産差押ノ處分ヲ受ケ非常ノ困難ヲ生セシメタレハ其責ニ任シ辭職届ヲ差出シタルナリ決シテ故ナク辭職シタルモノニアラス而シテ辭職届書ヲ提出シタル場合ニ於テ村會ハ先ツ辭職ノ理由アルヤ否ヤヲ調査シ其理由ナシト議決シタルトキハ其由ヲ辭職者ニ通知シ尙之ニ服セサル者ニ對シ町村制第八條第三項ノ處分議決ヲ爲スヘキ者ナルニ其理由モ調査セス直

ニ同條第三項ヲ適用シタルハ不當ノ處分ナリト云フト雖原告等主張ノ事實ハ其職務ヲ辭退スルニ足ルヘキ理由ト云フヲ得ス而シテ町村制第八條第一項ニ於テ名譽職ニ選舉セラルハノ權利又之ヲ擔任スルノ義務アルコトヲ規定シタル以上ハ其名譽職ニ在ル者ニシテ辭職届書ヲ提出スルトキハ即チ退職シタルモノニシテ村會カ其理由ナキコトヲ議決シタル後始メテ退職ト稱スヘキモノニアラス又原告等ハ村會カ該決議ヲ爲スニ際シ議員三分ノ二ニハ招集狀ヲ發シタルモ其三分ノ一ニ對シテ之ヲ發セサルハ無効ノ決議ナリト云フト雖三分ノ一ニ當ル議員ハ村會招集前既ニ辭職届書ヲ提出シタルヲ以テ之ト同時ニ議員タル資格ヲ失フタル者ナレハ被告ハ退職者ニ對シテ招集狀ヲ發スヘキモノニアラサルナリ又原告等ハ議員三分ノ二ニ對シテモ議長之レカ招集ヲ爲サシテ村長ノ名義ヲ以テ之レヲ爲シタレハ町村制第四十二條ニ違背シタル議事ナリト云フト雖モ同制第三十九條ノ規定ニ依レハ町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トストアリテ町村長ハ法律上其職務ニ於テ既ニ議長タル資格ヲ具有スル者ナレハ招集狀ニ村長ノ名義ヲ附シタルノ一事ヲ以テ其招集シタル村會ノ議決ヲ違法ト云フヲ得ス故ニ笹原村村會カ原告等ニ對シテ爲シタル公民権停止ノ決議ハ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○北海道區制第五條第一項ニ三年以來直接國稅年額二圓五十錢以上ヲ納ムル者

トアルハ年額二圓五十錢以上ヲ納ムヘキ納稅義務ノ原因カ間斷ナク繼續スルコトヲ要スルノ意義ナリ(公民資格有無ニ付キ爲シタル裁決ニ對スル訴 明治三十三年四月六日宣告)

〔理由〕原告ハ北海道區制第五條第一項ニ直接國稅年額二圓五十錢以上ヲ納メトアルハ一年兩度ニ納稅シタル額ヲ通算シ其額二圓五十錢以上ニ達シタルニ於テハ同條ニ依リ公民資格ヲ有スルモノナリト云フニアルモ同條ノ規定ハ單ニ其稅額ヲ納ムルニ止マラス年額二圓五十錢以上ヲ納ム可キ納稅義務ノ基因カ間斷ナク繼續スルコトヲ要スルモノト解釋セサルヘカラス而シテ本件小樽區會議員選舉原簿調製期日ハ明治三十二年十月一日ナルヲ以テ該期日ニ選舉資格ヲ有スルモノハ同二十九年十月二日以來斷ヘス年額二圓五十錢以上ノ納稅資格ヲ有スルモノナラサルヘカラス然ルニ原告ニ於テハ同二十九年三月ニ營業稅二圓二十錢戶數割三十五錢合計二圓五十五錢ヲ納メ同三十年八月ヨリ選舉當日迄ハ金二圓五十錢以上ヲ納稅シタル事實アルモ同二十九年五月ニ在テ營業ヲ縮少シタル爲メ同年七月ノ納稅額ハ僅カニ營業稅四十二錢五厘トナリ之ニ戶數割三十五錢ヲ加フレハ合計七十七錢五厘ナルヲ以テ之ヲ一年分ニ積算スルモ金一圓五十五錢ニ過キス即チ原告ハ間斷ナク年額二圓五十錢以上ノ納稅義務ノ要素

カ繼續シタリト云フコトヲ得サルニ依リ制第五條第一項ニ所謂三年以來直接國稅年額二圓五十錢以上ヲ納ムル者ニ該當セス故ニ被告カ原告ヲ選舉人名簿ニ登錄スヘキモノニアラスト裁決シタルハ至當ナリトス

○戶主ト同居同炊スル者ハ別ニ一戶ヲ構フル者ト謂フヲ得ス從テ公民権ノ資格ヲ具備セサルモノトス(村會議員資格ニ關スル訴 明治三十四年第四百六十七號)

〔理由〕小林矩一ハ其戶主ナル小林矩度ト同居同炊スル者ナルヲ以テ別ニ一戶ヲ構フル者ト謂フヲ得ス從ヒテ公民権ノ資格ヲ具備セサル者ナルカ故ニ南高來郡參事會カ本件ニ關シ南高來郡島原村會ノ議決ハ其效ナキモノトストノ裁決ヲ爲シタルハ不法ナリトス又原告ニ於テ長崎縣參事會ニ訴願スルニ當リ村會議長ノ肩書ヲ記載シタルモ村會ニ於テハ會テ本件ニ關シ訴願提起ノ議決ヲ爲シタルコトナキノミナラス町村制其他ノ法令ニ於テ町村會ハ斯ル訴願ヲ爲スノ權能ヲ有セサルモノナルヲ以テ原告主張ノ如ク村會議長ナル肩書ハ誤寫ニ出テタル贅文ニ過キスシテ町村制第三十七條第四項ノ規定ニ基キ町村長ヨリ訴願シタルモノト認メサルヘカラス故ニ被告長崎縣參事會ニ於テ本件訴願ヲ受理セサルハ不法ナリトス

○町村制第八條第四項ハ同條第三項ノ處分ヲ受ケタル者ニ訴願及ヒ訴訟ヲ許シ

タル規定ニシテ同法第三十七條ニ於ケルカ如ク其處分ヲ爲シタル者ニモ亦之ヲ許シタル規定ニアラス(公民權停止不法裁決取消請求ノ訴 明治三十七年第三百十八號 明治三十八年三月二十四日 宣告)

八號

〔理由〕 町村制第八條第四項ハ同條第三項ノ處分ヲ受ケタル者ニ訴願及訴訟ヲ許シタル規定ニシテ同法第三十七條ニ於ケル如ク其處分ヲ爲シタル者ニモ亦之ヲ許シタルモノニアラサルコトハ法文上自ラ明ナリ然レハ本件郡參事會ノ裁決ニ對シ日光町長ハ訴願ヲ爲スコトヲ得サルモノナレハ被告縣參事會カ其訴願ヲ受理裁決シタルハ違法ナリ又被告及參加人ハ町村制第一百二十條ヲ引用シ論スル所アルモ本件ハ同法第八條ノ規定ニ依ルヘキ場合ナルヲ以テ同法第一百二十條ヲ適用スルヲ得サルモノトス其他ノ論點ニ對シテハ裁判上必要ナキヲ以テ説明セス

(九) 大地主資格ニ關スル件

○大地主ノ名簿調製前ニ於テ地所ノ所有權ヲ適法ニ取得シタルトキハ其名簿告示ノ際未タ登記ノ手續ヲ了セサルモ當然其資格ニ算入スヘキモノトス(大地主名簿登錄ノ訴 明治二十五年第二十一號 明治二十六年二月二十二日宣告)

〔理由〕 被告ニ於テ郡制第九條ニ大地主ト稱スルハ或ハ其財產的優者ヲ待ツニ特ニ公權行使

ノ權能ヲ付與シタル法意ナル可キモ其資格ニ就キテハ法律以外ニ出テ不法ニ優先ナル權能ヲ付與シタル精神ニアラス故ニ地價一萬圓以上ノ地所ヲ所有スルニ方リ買受讓受ヲ得テ新タニ取得セシモノアラハ同制上何等ノ除外例ノ設ケナキヲ以テ普通ニ般ノ法規手續ニ從ヒ登記簿ニ記入ヲ了ラサル可カラスト言フト雖土地家屋等賣讓與ノ如キハ雙方ノ合意ニ由テ成立ス可キハ勿論ニシテ其登記ハ該物件ニ關係ヲ有スル第三者ニ對シ之カ效果ノ有無ヲ規定シタルニ過キサレハ公權ニ關スルノ規定ニアラス故ニ大地主ノ資格ニ關シ名簿調製前ニ於テ不地所ノ所有權ヲ適法ニ取得シタルモノアルトキハ之ヲ名簿ニ記載シ所有權ノ取得者ヲシテ其資格ニ由リ選舉權ヲ行フコトヲ得セシム可キハ當然ニシテ其資格ハ法律以外ニ出テ不法ニ得タル權能ナリト言フ可カラス依テ被告カ明治二十四年八月十二日告示第二十號ヲ以テ原告等ノ氏名ヲ大地主名簿ヨリ削除シタルハ其當ヲ失スルモノトス其他登記法ニ就キ辯論スル所アルモ説明ス可キ限ニ在ラス

(十) 町村會議員失職ニ關スル件

○滯納處分ニシテ不當ナリトスルモ其取消サレサル以上ハ之ニ基キテ與ヘタル町會議員失職ノ決定ヲ違法ナリト謂フヲ得ス(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十五年)

五年第四十號
年五月三十日宣告

○〔理由〕原告ハ明治三十四年度前半期營業稅附加稅ノ納付ニ付會テ督促令狀ヲ受ケタルコトナシ故ニ町長カ明治三十四年七月二十二日原告ニ對シ爲シタル滯納處分ハ無效ノモノニシテ隨テ檜山支廳長カ之ヲ理由トシ原告ヲ町會議員失職者ト決定セシハ違法ナリト云フト雖檜山支廳長ニ於テ右決定ヲ爲シタルハ江差町長ニ於テ原告ニ對シ滯納處分ヲ執行シタル事實アルニ據リ爲シタルモノナレハ適法ノ處置ト謂ハサルヘカラス而シテ其滯納處分ノ適法ナルヤ否ハ原告ニ於テ之ニ付訴願ヲ爲サ、ルニ依リ裁定ヲ下タスヘキ限ニ在ラス

○村會議員ニシテ公吏侮辱被告事件ノ爲メ輕罪公判ニ付セラレタルトキハ當然其職ヲ失フモノトス(不當裁決取消ノ訴 明治三十五年第二百九十七號
明治三十六年七月三日宣告)

〔理由〕原告ハ輕罪公判ニ付セラレタルハ刑法上公權停止ヲ附加セラルヘキ事件ニアラスト云フト雖被告提出ノ判決謄本ニ依レハ原告ハ公吏侮辱被告事件ニ付古川區裁判所ニ於テ公判ニ付セラレタルモノニシテ其罪質ハ明治二十三年法律第百號ニ該當シ刑法第百四十二條同第三十三條ノ適用ヲ受クヘキモノナレハ原告ハ公權停止ヲ受クヘカラサル事件ノ爲メナリト謂フヲ得ス然レハ原告ハ町村制第九條二項中ニ所謂公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪

ノ爲メ公判ニ付セラレタルモノニ該當シ同制第十二條一項但書及同第十五條一項ニ依リ被選舉權ヲ有セサルニ至リ從テ村會議員タルヲ得サルモノトス

○國稅徵收法第二十一條ニ所謂前條ノ處分トハ同法第二十條ニ掲クル收稅官吏カ家屋倉庫及ヒ筐匣ヲ搜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉筐匣ヲ開カシメ若クハ自ラ之ヲ開クコトヲ指稱セルモノトス(町會議員解職議決取消ノ訴 明治三十九年第九十七號
日宣告)
明治四十年六月二十四

○國稅徵收法施行規則第十六條六立會人アル場合ノ差押ノミニ適用スヘキモノニシテ立會人ナキ場合ノ差押ニ適用スヘキモノニアラス(同上)

○租稅滯納處分中ニ在ル町村會議員ハ町村制第九條第四項前段ニ依リ其資格自ラ消滅スルモノトス(同上)

〔理由〕按スルニ府縣制第十六條第二項ニ依リ府縣稅滯納ノ場合ニ準用スヘキ國稅徵收法第二十一條ニ所謂「前條ノ處分」トハ同法第二十條ニ掲クル收稅官吏カ家屋、倉庫及筐匣ヲ搜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉、筐匣ヲ開カシメ若クハ自ラ之ヲ開クノ處分ヲ指稱スルモノナルヤ文理上自ラ明ナリ尤モ同施行規則第十六條ニハ「收稅官吏財產ヲ差押ヘタルトキハ差押調書

ヲ作り立會人ト共ニ之ニ署名捺印シ其一通ハ立會人ニ交付スヘシ云々」トアルモ同條ハ立會人アル場合ノ差押ノミニ適用スヘキモノニシテ立會人ナキ場合ノ差押ニ適用スヘキモノニ非スト解釋スルヲ正當トス而シテ本件ノ差押ニ際シ當該官吏カ國稅徵收法第二十條ニ列舉セル家屋、倉庫及ヒ筐匣ノ搜索等ノ處分ヲ爲サ、リシコトハ原告ノ主張事實自體ニ徴シテ自ラ明ナル所ナレハ假ニ其差押ニシテ立會人ナクシテ爲サレタルモノトスルモ之ヲ目シテ不適用ノ差押ト爲スコトヲ得サルヤ勿論ナリ夫レ此クノ如ク本件ノ差押ニシテ既ニ不適用ニ非ストスル以上ハ原告ハ明治三十八年三月十二日ニ於テ租稅滯納處分中ニ在リタル者ニ外ナラス從テ町村制第九條第四項前段ニ依リ原告ノ有シタル飯田町會議員ノ資格ハ自ラ消滅シタルモノト爲サ、ルヲ得ス既ニ此點ニ於テ原告ノ請求ノ不當ナルコト明ナルカ故ニ爾餘ノ爭點ニ對スル說明ハ之ヲ省畧ス

(十一) 郡會議員失職ニ關スル件

○區長ハ町村固有ノ事務タルト否トヲ問ハス町村長ノ事務ヲ補助スヘキ職責ヲ有ス從テ郡會議員選舉事務ニ付テモ亦町村長ヲ補助スヘキモノナレハ郡制第六條第八項ニ所謂選舉事務ニ關係アル吏員ニ該當ス郡會議員失職決定不當哉

決取消ノ訴 明治三十七年第八十五號
明治三十七年十二月十二日宣告

〔理由〕 原告ハ今市町ノ區長ニ當選シタルモ其告知ヲ受ケタルコトナキヲ以テ區長ニアラスト云フモ乙第三號證ニ依レハ區長當選ノ告知アリタルコト明カナルノミナラス乙第四號證ニ依レハ現ニ原告ニ於テ區長タル職務ヲ執行シ居タルコト亦明ナルニ依リ原告ハ區長ニアラスト云フヲ得ス又原告ハ區長ノ職務ハ町村固有ノ事務ニ限レルヲ以テ區長ハ選舉事務ニ關係アル吏員ニアラスト云フモ町村制第七十三條ニ區長ハ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトストアルヲ以テ町村固有ノ事務タルト否トヲ問ハス區長ハ町村長ノ事務ヲ補助ス可キ職責ヲ有シ隨テ郡會議員選舉事務ニ就テモ亦町村長ヲ補助ス可キモノナレハ郡制第六條第八項ニ所謂選舉事務ニ關係アル吏員ナリト云ハサルヲ得ス依テ被告ノ裁決及郡參事會ノ決定ハ其ニ取消ス可キ限ニ在ラス

○租稅滯納處分ノ爲メ財產ヲ差押フル場合ニ於テハ其差押物件ノ不動産ナルト否トニ論ナク立會人アルコトヲ要ス從テ立會ナクシテ爲シタル差押ハ無効ナリ(郡會議員資格ニ關スル裁決不服ノ訴 明治三十七年第一千六百六十三號
明治三十八年十一月八日宣告)

○郡會議員在職者ニシテ租稅滯納處分ヲ受ケタレハトテ其處分無効ナルトキハ

町村制第九條二項中ニ該當セサルヲ以テ失職スヘキモノニアラス(同上)

〔理由〕 被告ハ立會人ナクシテ財産ノ差押ヲ爲スモ行政處分ハ初メヨリ無効ニアラス且ツ不動産ノ差押ニハ必ス立會人ヲ要セスト云フモ租稅滯納處分ニ付財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テハ立會人ヲ要スルコトハ國稅徵收法第二十一條及同法施行規則第十六條ノ明示スル所ナレハ他ニ特別ノ規定ナキ限リハ其差押物件カ不動産ナルト否トヲ問ハス立會人ヲ要スヘキモノトス然レハ明治三十六年十月二日相川町助役カ立會人ヲ要セスシテ原告ノ財産ヲ差押タルハ適法ノモノニ非ス又被告ハ處分ニ瑕瑾アルモ取消サレサル限リハ有效ナリト主張スルモ原告ハ相川町助役ノ行爲ハ全然無効ト認メ只取消ヲ求メサルニ過キサルモノナレハ之ヲ理由トシ不法行爲ヲ有效ナリト謂フヲ得ス要スルニ本件ハ爭點ノ根本タル町稅滯納處分カ效力ナキモノナレハ即チ原告ハ町村制第九條二項中ニ該當セサルヲ以テ被告ノ裁決及佐渡郡參事會ノ決定ハ失當ノモノトス

○町村公民ニシテ公民權ヲ停止セラレタル者ハ町村會議員ノ選舉權ヲ失フト同時ニ郡會議員ノ被選舉權ヲモ失フモノトス從テ此場合ニ在リテハ適法ニ選舉セラレタル郡會議員ト雖モ其職ヲ失フヘキハ當然ナリ(郡會議員失職決定取消

ノ訴 明治三十七年第九百八十九號
明治三十八年十二月二日宣告)

〔理由〕 原告ハ公民權ヲ停止セラレタル者ハ選舉權ヲ有セサルニ止マリ一旦適法ニ選舉セラレタル郡會議員ハ之カ爲メ其職ヲ失フモノニアラスト云フモ郡制第二十六條第一項ニ郡會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其職ヲ失フトアリ又同制第六條第二項ニ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且云々ノ者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有ストアリ又町村制第十三條第一項ニ町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラレタル者(第九條第二項)及云々ノ者ハ此限ニ在ラスト規定シアルニ依レハ公民權ヲ停止セラレタル者ハ選舉權ヲ失フト共ニ郡會議員ノ被選舉權ヲモ喪失スルモノニシテ其結果適法ニ選舉セラレタル郡會議員ト雖モ其職ヲ失フ可キモノナルコト明カナリ而シテ原告カ和歌山地方裁判所ノ輕罪公判ニ付セラレタルコト即チ町村制第九條第二項ニ該當スル者ナルコトハ原告ノ爭ハサル所ナリ然レハ郡參事會ノ決定及縣參事會ノ裁決ハ共ニ其當ヲ得タルモノナルヲ以テ取消ス可キ限ニ在ラス

(十二) 道府縣會議員失職ニ關スル件

○府縣制實施ノ際府縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ヲ府縣知事ニ於テ行フコトヲ得ルノ權能ハ府縣參事會ノ成立マテヲ限ルモノナレハ其成立ト共ニ知事ノ權

域ヲ脱スルモノトス(縣會議員失職決定取消ノ訴 明治三十二年第五百七十三號
明治三十三年五月二十八日宣告)

〔理由〕 被告ハ法律上附與セラレタル權能ニ基キ失職ノ決定ヲ爲シタルモノナレハ縣參事會
成立ノ後ト雖モ其決定ヨリ發生シタル訴訟ニ付テハ被告縣知事ニ於テ其答辯ヲ爲ス可キハ當
然ノ條理ナリト云フト雖モ府縣制第四百十三條ノ規定ヲ閱スルニ府縣參事會ノ職務ニ屬スル
事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其成立ニ至ルマテノ間府縣知事ニ於テ之ヲ行フトアリテ縣知
事ニ附與シタル權能ハ縣參事會ノ成立ニ至ルマテノ間ニ制限セラレアルコト明カナリ左レハ
縣參事會カ既ニ成立シタル以上ハ縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ハ之ト共ニ縣知事ノ權域ヲ脱
シ縣參事會ニ於テ之ヲ承繼シタルモノト云ハサルヲ得ス果シテ然ラハ本訴ニ付キ被告タルノ
權義モ亦制第三十七條ノ規定ニ依リ縣參事會ノ職務ニ屬スル事項中ノ一ナルヲ以テ縣參事會
ノ成立ト共ニ縣參事會ニ於テ之ヲ承繼シタルモノト爲スヲ相當ナリトス故ニ被告縣知事ニ於
テ本案ノ答辯ヲ爲スハ其當ヲ得タルモノニ非ス

○府縣會議員ニシテ府縣會議員及郡會議員選舉ニ關スル罰則第一條第一號ニ依
リ公判ニ付セラレタルトキハ縱令其結果單ニ罰金ノミニ處セラル、コトアリ
トスルモ尙ホ市制第九條ニ所謂公權停止ヲ附加スヘキ輕罪ノ爲メ公判ニ付セ
ラレタルモノトス(縣會議員失職決定取消要求ノ訴 明治三十二年第五百七十三號
明治三十四年五月二十七日宣告)

○府縣會議員ノ資格ノ有無及ヒ其失職者ナルト否トヲ定ムルハ府縣制第四百十
三條ニ所謂急施ヲ要スルモノトス(同上)

○府縣制第三十七條第一項ノ規定ハ決定以前ニ於テ失職者ニ告知ヲ爲シ之ニ對
スル異議ノ申立アリタルトキ始メテ決定ヲ爲スヘシトノ法意ニアラス(同上)

〔理由〕 原告ハ府縣郡會議員選舉罰則第一條第一號ノ規定ハ二者擇一ノ刑ニ處セラル可キモ
ノナレハ原告カ該規定ニ依リ公判ニ付セラレタルハ公權停止ヲ附加ス可キ輕罪ノ爲メ公判ニ
付セラレタルニアラスト云フモ同罰則第一條第一號ハ原告所論ノ如ク二者擇一ノ刑ニ處セラ
ル可キ規定ナルモ原告カ該法條ニ依リ公判ニ付セラレタルハ假令公判ノ結果單ニ罰金ノミニ
處セラル、コトアリトスルモ原告ノ所爲輕禁錮即チ公權停止ヲ附加ス可キ刑ニ處セラル可キ
罰ヲ包含スル犯罪ニ該當スルモノトシテ公判ニ付セラレタルモノナレハ市制第九條ニ所謂公
權停止ヲ附加ス可キ輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルモノト云ハサルヲ得ス又原告ハ本件ノ決
定ハ急施ヲ要スルモノニ非サルニ縣知事カ之ヲ急施ヲ要スルモノト認メ決定ヲ爲シタルハ府
縣制第四百十三條ヲ濫用シタルモノナリト云フモ縣會議員資格ノ有無及其失職者ナルト否ト

ヲ定ムルハ縣治上關係スル所大ナルヲ以テ縣知事カ急施ヲ要スルモノト認メタルハ相當ナリトス又原告ハ縣知事カ爲シタル決定ハ關係法條ヲ列記シタルニ止マリ何等ノ理由ヲモ付セサルモノナルヲ以テ府縣制第二百二十八條第四項ニ背キタルモノナリト云フモ原告ノ提出セル該決定書ヲ閱スルニ其理由具備シアリテ原告所論ノ如キ不法アルモノト認ムルヲ得ス又原告ハ被選舉權ニ關スル問題ニ付テハ先ツ失職者ニ對シ其告知ヲ爲シ異議ノ申立アリタルトキ始メテ失職ノ決定ヲ爲ス可キモノナルニ原告ニ對シ何等ノ告知ヲモ爲サス直チニ失職ノ決定ヲ爲シタルハ府縣制第三十七條第一項ニ背キタルモノナリト云フモ同條ノ規定ハ決定以前ニ於テ失職者ニ告知ヲ爲シ之ニ對スル異議ノ申立アリタルトキ始メテ決定ス可シトノ法意ナリト解スルヲ得ス又原告ハ市制ニ於テハ其第九條第四項ノ規定アルヲ以テ公判ニ付セラレタル者ハ當然解職ス可キモ府縣制ニ於テハ斯ノ如キ規定ナク單ニ第三十七條及第六條ノ規定アルノミナレハ原告ノ如キハ失職者タル可キ者ニ非ス然ルニ縣知事カ市制第十二條第一項但書ニ依リ原告ハ被選舉權ヲ失ヒタル者ナリト裁決シタルハ不法ナリト云フモ該但書ニ此限ニ在ラストアルハ同項本文ニ選舉權ヲ有ストアルヲ受ケテ此限ニ在ラスト規定シタルモノナレハ選舉權ヲ有セス即チ選舉權ヲ失ヒタリト法律上看做シタルモノト解スルヲ相當ナリトス左レハ市會

議員ノ選舉權ヲ失ヒタル原告ニ縣會議員ノ被選舉權ナキコトハ府縣制第六條ノ規定ニ依リ明ナリ

○適法ニ成立セサル縣參事會ノ決議ハ無効ナリ(縣會議員失職決定取消ノ訴) 明治

三十三年第二百四十號
三十四年五月二十八日宣告

(理由) 本件ニ就テハ先ツ明治三十三年十月十一日縣會議員橫尾輝吉失職ノ件決定ノ爲メ開キタル縣參事會ハ適法ニ成立シタルモノナルヤ否ヲ決セサルヘカラス何トナレハ此點ニシテ違法ト決スル以上ハ他ハ査究ノ要ナケレハナリ依テ之ヲ審按スルニ被告ニ於テハ明治三十三年十月十一日該會ヲ開クニ當リ從來ノ慣例ニ依リ會員小峯新太郎ニ本日開會ノ旨並ニ他ノ會員ニ傳達アリタキ旨口達シ通知ヲ爲シタルモノナレハ其手續ニ於テ缺クル所ナシト主張スルモ是只被告ノ陳辯ニ止リ一モ其事實ノ見ルヘキモノアラサルヲ以テ同人ニ於テ果シテ其傳達ヲ爲シタルモノト認メ難ク隨テ該會ハ適法ニ成立シタルモノト謂フヲ得ス

○縣會議員カ公權ノ停止ヲ附加スヘキ輕罪事件ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ其職ヲ失フモノトス(縣會議員被選舉權失格決定取消請求ノ訴) 明治三十三年第三百

五十號
日宣告

〔理由〕 市制町村制第九條及第十二條ノ規定ハ當然府縣會議員ノ資格ニ關スル場合ニ適用ス可キモノト云ハサルヲ得ス何トナレハ府縣制第六條第二項ノ規定ニ依レハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有スルニハ必ス市町村會議員ノ選舉權ヲ有セサル可カラス而シテ市町村會議員ノ選舉權ノ有無ニ付テハ市制町村制第九條及第十二條ノ規定ニ依ラサルヲ得サレハナリ而シテ市制町村制第九條第二項ニハ公權停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ公民權ヲ停止セラル、コトヲ規定シ同制第十二條第一項但書ニハ公民權ヲ停止セラル、者ハ市町村會議員ノ選舉權ヲ有セサルコトヲ規定シアルヲ以テ原告カ詐欺取財被告事件ノ爲メ輕罪ノ公判ニ付セラレタルニ因リ公民權ヲ停止セラレ隨テ市會議員ノ選舉權ヲ有セサルニ至リタルコト明ナリ然レハ原告ハ府縣制第六條第二項ノ規定ニ依リ縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス隨テ同制第三十七條ノ規定ニ依リ其職ヲ失ヒタル者ト云ハサルヲ得ス依テ被告縣參事會カ爲シタル決定ハ相當ニシテ取消ス可キ限ニ在ラス

〔同一判例〕 不當決定取消ノ訴 明治三十四年第四百六十九號 議員失職決定取消ノ訴 明治三十四年十一月二十日宣告

明治三十八年第三百四十一號
明治四十年二月二十七日宣告

○府縣制第三十七條ハ府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者アルコトヲ發見

シタル總テノ場合ニ適用シ得ヘキ規定ニシテ其發見時期如何ニ拘ハラサルモノトス(縣會議員失職 不當決定取消ノ訴 明治三十三年第二百五十三號 明治三十四年九月二十三日宣告)

○市參事會員ハ府縣制第六條第八項ニ所謂選舉事務ニ關係アル吏員ナルヲ以テ其關係區域内ニ於テ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス(同上)

〔理由〕 原告ハ縣會議員當選ノ當時既ニ市參事會員ナルヲ以テ縣會議員選舉事務ニ關係アリトセハ被告ハ府縣制第三十四條第三項ノ規定ヲ適用シ其期間内ニ異議ヲ縣參事會員ノ決定ニ付スヘキモノナルニ同制第三十七條第三項ヲ適用シテ其決定ニ付シタルハ不法ナリト云フト雖府縣制第三十七條ハ府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサルモノヲ發見シタル總テノ場合ニ適用シ得ヘキ規定ニシテ其發見時期如何ニ拘ハラサルモノナレハ本件ノ如キ場合ニ於テハ同條ノ規定ヲ適用スルハ相當ニシテ同制第三十四條第三項ノ規定ニ拘束セラルヘキ理由ナキモノトス又原告ハ市參事會員ハ市ノ行政ニノミ關係ヲ有シ府縣ノ行政タル府縣會議員ノ選舉事務ニ關係ナシ故ニ市制第六十九條ハ市行政ニノミ適用スヘキ規定ナリト云フト雖府縣會議員ノ選舉事務ハ府縣制ニ依リ市長ノ職務ニ屬シ而シテ市制第六十九條ニハ市參事會員ハ市長ノ職務ヲ補助シ市長故障アルトキ之ヲ代理スト規定シアリテ其補助シ若クハ代理スヘキ事務ノ

種類ヲ限定シアラサルヲ以テ市參事會員ハ市長ニ屬スル總テノ事務ヲ補助シ及代理スルノ職責アルモノナリ隨テ市參事會員タル者ハ府縣制第六條第八項ニ該當スル選舉事務ニ關係アル吏員ニシテ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セサルモノトス以上ノ理由ニ依リ本件縣會議員失職ノ決定ハ適法ニシテ之ヲ取消スヘキ限ニ在ラス

○縣會議員失職決定書ニ附スル送達書ノ日附ニ誤記アルモノ之ヲ以テ該決定ハ成立セサルモノト謂フヲ得ス(縣會議員失職決定取消ノ訴 明治三十五年第十九號)

〔理由〕原告ハ第一本件縣會議員失職決定ハ明治三十五年一月十一日ナルニ其前日即一月十日ニ決定書ヲ送達シ來リタルコトハ甲第一號證ノ一ニ依リ明ナリ然レハ一月十日ニ未タ決定ノ成立セサルモノナリ決定ニシテ不成立ナル以上之ヲ送達スルモ適法ニアラス本件決定ハ不適法ノモノニシテ其送達モ無効ナリト云フモ本件失職決定ハ栃木縣報第八十號ニ登載シタル同縣告示第十八號ニ依レハ一月十一日ナルコトハ明瞭ナリトス而シテ其決定書ニ添附シタル送達書ニ一月十日ト記載シアルモ其送達書ノ原本タル乙第一號證ニハ一月十三日ト明確ニ記録シアリ之ニ依テ之ヲ觀レハ送達書ノ日附ハ謄寫ノ錯誤ニ出タルモノニシテ其送達ハ一月十三日以後ナルモノト認定セサルヘカラス況ンヤ決定書ヲ原告ニ送達スヘキコトハ法律上

何等ノ規定アラサルニ於テヤ然レハ原告ハ他ニ立證セサル限りハ單ニ送達書ノ日附ノミヲ以テ本件失職決定ノ成立セサルモノト謂フヲ得ス第二原告ハ町村制第九條ノ公民權停止ハ公民權ノ消滅ニ歸スルニ非スシテ一時停滯セシムル規定ニ過キス原告ノ如キ一旦有效ニ議員ニ當選シタル以上ハ假令輕罪ノ公判ニ付セラレタリトスルモ未タ有罪無罪ノ判決確定セサル以前ニ於テ其失職ヲ決定スヘキ理由ナシト主張スルモ町村制第九條二項ニ該當スルモノハ同制第十二條一項ニ依リ町村會議員ノ選舉權ナク亦府縣制第六條ニ示セル資格ヲ欠クモノナレハ同制第三十七條ニ依リ其職ヲ失フモノトス故ニ縣會議員ニシテ苟モ輕罪ノ公判ニ付セラレタル以上ハ罪科ノ有無確定如何ヲ問フヘキモノニアラス其他陳辯スル所アルモ本件裁判ニ必要ナキヲ以テ説明セス

○町村制第九條第二項ニ所謂公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキトハ或ル犯罪ノ爲メ公權ヲ剝奪若クハ停止セラレヘキ場合ヲ謂フ而シテ衆議院議員選舉法第八十七條ニ違犯セシ爲メ公判ニ付セラレタル場合ハ同項ニ該當スルモノトス(縣會議員失職決定取消ノ訴 明治三十五年第二十五號 年十二月八日宣告)

〔理由〕 町村制第九條第二項ニ所謂公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ云々トハ或ル犯罪ノ爲メ公權ヲ剝奪若クハ停止セラレヘキ場合ヲ謂フモノニシテ而シテ原告ノ行爲ニ付適用スヘキ衆議院議員選舉法第八十七條ニハ當然公權停止ノ附隨セル禁錮ノ刑アルニ依リ本件被告ノ處分ハ違法ナリト謂フヲ得ス。

○縣會議員失職決定理由ノ説明ニ付テハ法律上何等ノ規定スル所アラサレハ其法文ヲ擧ケ説明ヲ爲サスト雖モ之ヲ以テ違法ノ決定ト謂フヲ得ス(縣會議員失職決定取消ノ訴 明治三十五年第三百五號 明治三十六年三月十八日宣告)

○縣會議員カ輕罪公判ニ付セラレタルカ爲メ一旦失職ノ決定ヲ受ケタル以上ハ縱令公訴不受理ノ判決ヲ受クルモ其決定ハ之ヲ取消スヘキモノニアラス(同上) ○縣參事會招集狀ハ何レノ場所ニテモ其本人ニ受領セシムレハ足り必スシモ之ヲ住所ニ送達スルヲ要セス(同上)

〔理由〕 第一原告ハ輕罪公判ニ付セラレタル者ハ何故ニ縣會議員ノ被選舉權ヲ有セサルヤ其法律ノ條項ヲ示サ、ルヲ以テ原告ハ果シテ其被選舉權ヲ有セサルヤ否從テ其職ヲ失フ者ナルヤ否ヲ知ルニ由ナシ故ニ被告ノ決定ハ理由不備ニシテ且法律ノ適用ヲ爲サル不法ノモノナ

リト云フト雖理由ノ説明ニ付テハ法律上何等ノ規定スル所アラサレハ其法文ヲ擧ケ説明ヲ爲サストテ違法ノ決定ト謂フヲ得ス第二原告ハ當初完全ナル資格ヲ有シ有效ニ府縣會議員ト爲リタル以上ハ假令輕罪公判ニ付セラレタリトスルモ町村制第九條第十二條但書府縣制第六條第二項ニ何等ノ關係ナク而シテ府縣制第三十七條ハ被選舉權ヲ有セサルコトカ確定シタル場合ニ適用スヘキモノナレハ被告ノ決定ハ違法ナリト云フト雖町村制第九條第二項ニハ公權停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ公民權ヲ停止スト規定シ又同制第十二條但書ニハ公權ヲ停止セラレタル者ハ町村會議員ノ選舉權ヲ有セスト規定シアルヲ以テ原告ハ其判決ノ確定ヲ待タス直ニ公民權ヲ停止セラレ町村會議員ノ選舉權ヲ有セサル者ニシテ即府縣制第六條第二項ニ規定セル縣會議員タル要件ヲ缺ク者ナレハ被告ノ決定ハ適法ナリ第三原告ハ假ニ輕罪公判ニ付セラレタルノ一事ヲ以テ直ニ失職ノ決定ヲ爲シ得ルモノトスルモ原告ハ公訴不受理ノ判決ヲ受ケタルヲ以テ本件決定ハ取消スヘキモノナリト云フト雖既ニ公判ニ付セラレタル事實アル以上ハ該決定ハ有效ニシテ取消スヘキモノニ非ス第四原告ハ知事カ招集狀ヲ原告ノ住所ニアラサル旅店住吉屋ニ送達シ且聞ク所ニ依レハ此會ハ成立セス流會トナリタル由ナルニ更ニ招集ノ手續ヲ爲サスシテ開會時刻變更ノ通知書ヲ送付セシハ違法

ナリ隨テ其決議ハ無効ナリト云フト雖召集狀ハ何レノ場所ニテモ其本人ニ受領セシムレハ足
リ必スシモ住所ニ送達スルヲ要スルモノニアラサレハ之ヲ原告ノ居ル住吉屋ニ送達セシハ違
法ニアラス又該會カ流會トナラサルコトハ被告第二號證ニ依リ明白ナレハ更ニ召集ノ手續ヲ
爲スヘキモノト謂フヲ得ス

○町村制第九條第二項ニハ單ニ家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキトアル
ルヲ以テ苟モ其宣告ヲ受ケタル者ハ直チニ公民權ヲ停止セラル、モノトス(縣
會議員失職決定取消ノ訴 明治三十六年第三百三號
明治三十六年九月十八日宣告)

〔理由〕 町村制第九條第二項ニハ單ニ家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキトアルヲ以
テ苟モ其宣告ヲ受ケタル者ハ本項ニ該當シ直ニ其時ヲ以テ公民權ヲ停止セラル、者ト謂ハサ
ルヲ得ス然レハ被告ニ於テ町村制第九條第二項第十二條第一項但書府縣制第六條第二項及第
三十七條第一項ニ依リ本件失職ノ決定ヲ爲シタルハ正當ナリ

○府縣會議員ニシテ衆議院議員選舉法第八十七條ニ依リ公判ニ付セラレタルト
キハ其職ヲ失フヘキモノトス(縣會議員失職ニ關スル縣參事會決定取消ノ訴
明治三十七年第四百十號
明治三十八年十月十三日宣告)

〔理由〕 原告ハ衆議院議員選舉法第八十七條ハ二者擇一ノ刑ニ處セラルヘキ規定ナレハ原告
カ該條ニ依リ公判ニ付セラレタルハ直直チニ之ヲ公權停止ヲ附加スヘキ輕罪ノ爲メ公判ニ付
セラレタルモノト云フヲ得スト云フモ原告カ該條ニ依リ公判ニ付セラレタルハ原告ノ所謂輕
禁錮即チ公權停止ヲ附加スヘキ刑ニ處セラルヘキ罰ヲ包含スル犯罪ニ該當スルモノトシテ公
判ニ付セラレタルモノナレハ町村制第九條ニ所謂公權停止ヲ附加ス可キ輕罪ノ爲メ公判ニ付
セラレタルモノト云ハサルヲ得ス然レハ被告縣參事會ノ決定ハ其當ヲ得タルモノニ非ス隨テ
縣會議員野田正吉ハ其職ヲ失フ可キモノトス

○町村公民ニシテ現役以外ノ兵役ニ在ル者戰時ニ際シ召集セラレタルトキハ町
村會議員ノ選舉權ヲ有セス從テ府縣制第六條第二項ノ資格要件ヲ缺クモノト
ス(縣會議員失職決定取消ノ訴 明治三十七年第九百五十六號
明治三十九年二月二日宣告)

〔理由〕 按スルニ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有スルニハ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉
權ヲ有セサルヘカラサルハ府縣制第六條第二項ニ明定スル所ニシテ而シテ町村制第九條第三
項末段ニハ現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキハ町村
ノ公務ニ參與セサルコトヲ規定シ又同制第十二條第一項ニ町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但

(中畧)第九條第二項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラズト規定セリ然レハ原告ハ戰時ニ際シ召集セラレタル以上ハ府縣制第六條第二項ニ掲クル資格ノ要件ヲ缺ク者ナレハ被告ノ決定ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

(同一判例) 縣會議員失職決定取消請求ノ訴 明治三十七年第四百四十五號
明治三十九年六月六日宣告

○町村公民ニシテ租稅滯納處分ノ爲メ有效ナル差押ヲ受ケタル者カ其當時府縣會議員タルトキハ自ラ其職ヲ失フモノトス而シテ後日差押處分ノ取消サレタルト否トハ問フ所ニアラス縣參事會ノ不法決定取消ノ訴 明治三十九年第四百六十號
明治四十年六月二十四日宣告

○町村公民カ町村長及ヒ收入役ニ對シ自己ノ所有ニ係ル農工銀行株券ノ配當金收入役ノ手ニ入ルト同時ニ町村稅納付ノ手續ヲ了セシモノト爲スヘキ旨ヲ約定スルモ町村長收入役ハ公職ノ資格ニ於テ如上ノ契約ヲ締結スルノ權限ヲ有セサレハ縱令收入役カ配當金ヲ受領シナカラ租稅納入ノ手續ヲ怠リタレハトテ未タ領收證ヲ交付セス又公簿ニ納入濟ノ記載ナキ税金ハ之ヲ未納ト爲サルヲ得ス(同上)

(理由) 按スルニ町村制第九條第二項ニ町村公民タル者租稅滯納處分中ハ公民權ヲ停止セラ

ル、コトヲ規定シ其第十二條ニ公民權ヲ停止セラレタル者ハ町村會議員ノ選舉權ヲ有セサルコトヲ定メ府縣制第六條第二項ハ市町村會議員ノ選舉權ヲ有スルコトヲ以テ府縣會議員被選舉權ノ要件トシ其第三十七條ニ於テ被選舉權ヲ有セサル府縣會議員ハ其職ヲ失フコトヲ定メタリ是等ノ法條ヲ綜合スレハ有效ナル差押ヲ受ケタルモノハ當然公民權ヲ停止セラレ之ト同時ニ府縣會議員ノ被選舉權ヲ失フモノニシテ其當時府縣會議員タルトキハ自カラ其職ヲ失フモノナルコト明白ナレハ後日ニ至リ差押處分ノ取消サレタルト否トハ何等ノ關係ナキモノトスサレハ本件問題ノ要點ハ高田町長ノ差押カ有效ナルヤ否ヤニ在リ原告ハ田ヲ畑ト記シタルハ違法ニシテ差押ハ無効ナリト主張スルモ其所在地番反別地價共總テ正確ニシテ目的物ノ該當ヲ表示スルニ十分ナレハ偶マ其地目ニ誤記アレハ逆法律上其處分ヲ無効トスヘキノ理ナシ差押調書カ原告宅ニ於テ調製セラレタルヤ否ヤハ原告間ニ爭アル所ナルモ原告ハ之レヲ陳述スルニ止マリ何等ノ證據ヲ示サス却テ被告ハ乙第一、二號證ヲ以テ原告宅ニ於テ作成セラレタルコトヲ證スレハ原告ノ主張ハ理由ナシ差押調書ニ表示セル滯納金ハ單ニ町稅ト記シ何種ノ租稅ナルヤ明示セサルハ或ハ文字ノ完備ヲ缺クヘキモ差押ノ效力ニ關係ナシ差押調書ニ借地人ニ關スル記載ナキモ差押ノ要件ニアラサレハ其處分ヲ無効トスルヲ得ス國稅徵收法ニ

於テ差押處分ニ立會人ヲ要スルハ特定ノ場合ニ限り不動産差押ニ關シテハ立會人アルヲ要セズ差押ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルハ差押後ニ爲スヘキ手續ニシテ之カ囑託ヲ爲スト否トハ差押自體ノ效力ニハ何等ノ關係ナシ差押處分前督促狀ヲ發スヘキハ法律上ノ要件ナルモ之カ手數料ヲ徵收セザリシ事實ハ督促狀ノ效果ヲ空ウスルモノニアラサレハ差押處分カ其要件ヲ具備セスト謂フヲ得ス其他本件差押ハ毫モ違法ト認ムヘキ廉ナク有效ニ成立セルモノニシテ原告カ之ヲ無効ナリト主張スルハ一モ其理由ナシ尙原告ハ高田町長收入役ト原告トノ間ニ成立セル約束ニ從ヒ原告所有ノ農工銀行株券ノ配當金カ收入役ノ手ニ入ルト同時ニ高田町ニ於ケル原告ノ納税ハ受領ノ手續ヲ了シタルモノナレハ原告ハ滯納處分ヲ受クヘキ原因ナシト主張スルモ實際ノ事情ニ於テ多少諒トスヘキモノアルヤ否ヤハ暫ク之ヲ措キ法律上ノ見地ヨリ之ヲ觀レハ町長收入役カ公職ノ資格ニ於テ右様ノ契約ヲ爲スノ權限ヲ有セサレハ單ニ私人トシテノ約束トスル外ナク從テ假令ヒ收入役某カ配當金ヲ受領シナカラ租稅納入ノ手續ヲ怠リタレハ迎未タ領收證ヲモ交付セラレヌ公簿ニモ納入濟ノ記載ナキ税金ハ之ヲ未納ト云ハサルヲ得サレハ原告ノ主張ハ是レ亦之ヲ採用スルニ由ナシ依テ原告ノ請求ハ相立タス

(十二) 懲戒及賠償ニ關スル件

○ 郡長ハ行政事務ニ付テハ其部内町村ノ町村長ヲ指揮スルノ職權アルヲ以テ府縣會議員選舉法第十六條ニ據リ郡長カ其管内ニ告示ヲナス場合ニ於テハ同法ニ町村長ヲシテ告示ヲ爲サシムルノ明文ナシト雖モ郡長ハ町村長ニ命シテ其告示ヲ爲サシムルコトヲ得ヘク町村長ハ其命ニ從ヒ之カ告示ヲナスノ義務アルモノトス(懲戒處分取消ノ訴 明治二十三年^{第五號} 明治二十四年一月二十九日^{宣告})

〔理由〕 原告代人陳述ノ要點ハ原告ニ於テハ郡長ノ命ニ依リ其告示ヲ揭示スルノ職務ナシト云フニ在リト雖抑郡長ノ職權ニ關シテハ地方官官制第四十七條ニ依リ郡長ハ行政事務ニ就テハ其部内町村ノ町村長ヲ指揮スルコトヲ得ルモノナレハ町長タル原告ニ於テ郡長宮部謙吉ノ發シタル町村役場ニ揭示スヘキノ命令ニ應スヘキハ當然其職務ナリトス又原告ハ府縣會議員選舉規則第十六條ニ依レハ町村長ヲシテ告示ヲ爲サシムルノ明文ナシト云フト雖該條ハ單ニ郡長ノ職務ヲ規定シタルモノニ止リ之ヲ以テ原告カ揭示ヲ爲スノ義務ナシト謂フヲ得ス故ニ被告ノ懲戒處分ハ取消スヘキ理由ナキモノトス

○ 村長ハ何等ノ事情アリテ村治上ニ困難ヲ見ルコトアルモ法律命令ニ從ヒ其職務ヲ行フ義務アルモノトス(懲戒裁判解職ノ言渡取消ノ訴 明治二十四年^{第二} 明治二十四年四月二十一日^{宣告})

告號)

○郡長ハ郡參事會ノ資格ヲ以テ町村制第二百二十八條第四項ヲ適用シ村長ノ職ヲ解クコトヲ得(同上)

〔理由〕原告カ被告ノ懲戒處分ニ對シ不服ヲ唱フルノ要點ハ地方稅延納出願及村内苦情訴自己疾病等ノ爲其職ヲ全フスルコト能ハサリシト云フニ在リト雖抑モ村長ノ職ニ當ル者ハ何等ノ事情アリテ村治上ニ困難ヲ見ルコトアルモ法律命令ノ範圍ヲ守リ其職務ヲ盡サ、ルヘカラサルハ固ヨリ當然ノコトナレハ既ニ職務舉ラサルノ事實アル以上ハ原告ハ其責ヲ免カル、コト能ハサルモノトス又原告ハ町村制第二百二十八條ノ懲戒處分ハ譴責及過怠金ニ止マルヘク萬一官吏懲戒令ヲ適用スルヲ得ヘシトスルモ輒ク其處分ヲ行フヘキモノニ非スト云フモ被告ハ同制第三百十條ニ依リ郡參事會ノ資格ヲ以テ第二百二十八條第四ノ懲戒裁判ヲ開キ反履審問ヲ爲シタル上同條第三ノ所爲アリト裁決シ村長ノ職ヲ解キタルモノナレハ即チ同制ノ適用ヲ誤リタルモノニ非ス故ニ被告ノ爲シタル懲戒處分ハ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村制實施ニ先チ縣令ヲ以テ町村飛地組替ヲ定メタルトキハ同制實施後ニ至ルマテ組替ノ手續ヲ了セサルモ縣令ニ依リ當然組替ノ效アルヲ以テ其組替ノ

手續ハ町村制第四條ヲ適用セス(懲戒處分取消ノ訴 明治二十四年第四十六號 明治二十四年十一月十日宣告)

○新法實施ニ當リ舊事務結了セサル際ニ就職シタル村長ハ殘務整理ノ職責ヲ有ス(同上)

〔理由〕原告ハ明治二十二年三月十五日縣令甲第十二號ヲ以テ町村分合及飛地組替ノ事ヲ公布シ之ヲ同月三十一日ヨリ施行ストセリ而シテ其翌四月一日ヨリハ此新區域ニ對シテ町村制ヲ實施スヘキモノナレハ施行期限内即チ三月三十一日ヲ經過スレハ該令ヲ施行シ得サルヘキニ付舊町村ハ從來ノ儘自治體ノ資格ヲ享有スヘキナリ且字餘飛地ハ今日ニ至ルモ尙蠶飼村ノ村稅ヲ負擔シ縣知事モ依然該飛地ニ對スル徵稅令書ハ蠶飼村ニ向テ發シ蠶飼村モ亦該地ノ租稅ヲ徵收上納シタルカ故ニ官廳及蠶飼村ハ共ニ該飛地ハ蠶飼村ノ所屬タルコトヲ認メタルモノナルニ因リ四月一日後ニ在テハ町村制第四條ニ依リ處分ス可キモノナリト云ト雖モ該飛地組替ハ縣令甲第十二號ニ依リ既ニ確定シ唯其殘務タル手續ヲ結了セサルノミナレハ之ヲ以テ町村制實施後ニ生シタル事件ト同視シ同制第四條ヲ適用ス可キモノニアラス要スルニ新法實施ノ際ニ臨ミ舊事務ノ結了セサルニ其儘就職シタル以上ハ該飛地ニ關スル處分ノ殘務ヲ整理セサル可ラス然ルニ之ヲ等閑ニ付シ屢郡長ノ諭示ヲ受クルニモ拘ラス知事カ蠶飼村ニ向ツテ

徵稅令書ヲ發シタルコトヲ牽引シ故ラニ引渡手續ヲ爲サ、ルハ命令ニ背戾シタルモノト言ハサルヲ得ス

○市吏員ノ職務ヲ監督スルハ市參事會ノ擔任ナリトス故ニ市參事會カ其擔任事務ヲ怠ルコトアラシカ市參事會ノ代表者トシテ市長ヲ懲戒スルハ正當ナリトス(懲戒處分取消ノ訴 明治二十四年第六十五號 明治二十五年二月五日宣告)

〔理由〕原告ハ懲戒處分書ニ長崎市參事會長崎市長某トシテ參事會ノ名稱ヲ冠記シタルヲ以テ參事會ナル團體ヲ懲戒シタルモノナリト云フト雖モ本件市吏員ノ職務ヲ監督スルハ市參事會ノ擔任ナルコトハ市制第六十四條第二項ノ第五ニ明記スル所ニシテ若シ參事會ニ於テ此職務ヲ怠ルコトアラシカ上司ニ對シテ其責任ヲ負フ者ハ參事會ナリ然ルニ參事會ハ團體ナルヲ以テ該會ヲ懲戒スルヲ得サルニ依リ參事會代表者タル市長其人ヲ懲戒シタルモノナレハ被告カ爲シタル本件處分ハ不當ナリト謂フヲ得ス

○町村制第二百二十八條第二項第三號ニ依ル村長ノ解職不法裁決取消ノ訴 明治二十四年第四十二號 十五年二月十八日宣告

〔理由〕原告ハ被告カ爲シタル懲戒裁決書ニ町村制第二百二十八條第二項第四ニ依リトアルハ

不當ナリト云フト雖右裁決ノ文詞ハ町村制ノ規定則チ右第四ノ裁決權ニ依リ裁決ヲ爲ストノ意ヲ示シタルニ止マルモノト認ムヘクシテ法律ノ適用ヲ誤ルモノト謂フヘカラス又原告ハ裁決書ノ理由ニ對シ第一芥見村會開設ノ節下野九郎兵衛ヲ召集セザリシハ下野九郎兵衛ノ如キ被選舉人ハ法律上訴願權ナキモノナルニ名古屋控訴院ノ裁判ハ訴願權ノ有無ヲ判定セサルニ依リ其裁判ニ依リ下野九郎兵衛ヲ召集スル能ハス云々ト云フト雖名古屋控訴院ノ判決ハ係爭投票ヲ有效ト爲シタルモノニシテ右投票ノ有效ニ歸シタル上ハ下野九郎兵衛ヲ村會議員トシテ召集ノ手續ヲ爲サ、ルヲ得ス第二用水路開鑿組合聯合村會議員選舉人名簿調製ノ件ハ部内人民激動不穩ノ狀アルヲ以テ伺出又ハ鎮靜ニ奔走シ或ハ選舉ノ別法ヲ設ケラレシ事ヲ請求シタルカ爲メ遅延シタリト云フト雖事實不穩ノ狀況アリシコトヲ認得ヘキモノナキノミナラス事實ヲ具シ郡長即チ命令者ノ許諾ヲ得タルノ實ナクシテ前後八箇月ノ日數ヲ緩慢ニ付シタルモノナレハ其職務ヲ盡シタルモノト謂フヲ得ス第三特別村稅ノ徵收ヲ爲サ、ルハ村民ノ苦情百出實際徵收ニ途ナキナリト云フト雖其事實ヲ證スルモノナキノミナラス原告自身ニモ納稅セス又原告ハ偶二三ノ納稅者アルモ全部ノ徵收ヲ得テ送納センカ爲メナリト云フモ既收金送納方ニ關シテハ數回郡長ノ督促アルニ拘ハラヌ自己ノ意見ヲ以テ之ヲ送納セサルハ郡長ノ

命令ニ背戻スルモノナリトス第四既ニ除租トナリタル土地ニ明治二十二年分第五第六兩期ノ田租及地方稅ヲ賦課徵收シタル件及第五芥見村外九箇村用水路敷地成除租前徵收セシ地租金ノ下渡方ヲ元收稅部出張所ヨリ達スルモ領收セストノ件ハ聯合會ノ管理者即チ郡長ヨリ確然通達ナキ以上ハ除租地ト認メ難シト云フト雖原告ニ於テ郡役所第二課ヨリ通知ヲ受ケタルモ返戻シタリト云ヘハ已ニ郡役所カ通達ヲ爲シタリシコトヲ知ルヲ得ヘク而シテ原告ハ其第二課ナルモノハ如何ナルモノタルヤ曾テ認メサルモノナリト云フモ郡役所ヨリ通知ノ舉證トシテ原告自身ニ第二課ノ名ヲ記セル書類ヲ提出シタルニ據レハ之ヲ認メスト謂フヲ得ス第六豫算決算ノ報告書ハ其當時之ヲ送付報告セリ且署表ヲ提出シタリト云フト雖正式ノ報告ヲ爲サザリシハ原告自ラ陳述スル所ニシテ已ニ正式ノ報告ヲ爲サル以上ハ町村制第百八條及第百十二條ノ規程ニ違フモノナリトス右ノ如クナルニ依リ被告カ爲シタル懲戒裁決ハ不當ナリト謂フヲ得サルモノトス其他雙方陳述スル所アリト雖緊要ニ非サルヲ以テ之カ説明ヲ與ヘス

○町村制第九條末項ノ規定ハ町村公民タル者ニ限リテ任スヘキ職ニ在ル者同條第一項第二項ノ場合ニ當ルトキハ町村會ニ於テ直ニ其職ヲ解クヘキコトヲ命シタルモノニシテ町村會カ其解職ヲ爲スヘキヤ否ノ調査ヲ爲シ其決議ノ結果

ニ依リ解職ヲ爲サ、ルコトヲ得ルノ意義ニアラス(町長解職ノ件ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴 明治二十五年第九十九號
明治二十六年三月二十三日宣告)

○重輕罪ノ事件ニ付被告人トシテ豫審判事ノ訊問ヲ受ケタルトキハ町村制第九條第二項ニ所謂裁判上ノ訊問ナル場合ニ該當ス(同上)

○町村長ノ職ニ在ル者ニシテ公民權ヲ停止セララルヘキ場合ニ當ルトキ町村會カ解職ノ手續ヲ爲サ、リシ場合ニ在リテ復權後ニ至リ監督官廳ニ於テ其職ヲ解キタルハ違法ニアラス(同上)

〔理由〕原告ハ町村制第九條ノ末項ハ其第一項第二項ト文意ヲ異ニシ町村長ノ解職ハ之ヲ選舉スルノ權能アル町村會ニ於テ議決セサルヘカラス果シテ然ラハ町村會カ之ヲ議決スルニ當リ其解職スヘキモノナリヤ否ノ事實ヲ調査シ若シ解職スヘキモノニアラスト議決シタルトキハ其議決ハ有效ナリト云フト雖同條末項ノ規定ハ町村公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ル者裁判上ノ訊問若クハ拘留中ナルトキハ町村會ニ於テ其職ヲ解クヘシト命シタルモノニシテ町村會ニ於テ解職スヘキモノナリヤ否ノ事實ヲ調査シ其調査ノ結果ニ依リ解職セサルコトヲ得トスルモノニアラス又原告ハ豫審廷ノ訊問ヲ受ケタルノミヲ以テハ同條第二項ニ記セル

裁判上ノ訊問若クハ拘留ニ該當スルモノニアラスト云フト雖豫審判事カ重輕罪被告事件ニ付被告人ヲ訊問スルハ即チ刑事訴訟ノ手續ニ於ケル裁判上ノ訊問ニシテ單ニ公判ニ付シタル場合ニ限り裁判上ノ訊問ナリト云フコトヲ得ス又原告ハ同條第二項ニ訊問若クハ拘留中トアリテ一旦訊問若クハ拘留ヲ受ケタルモノトノ意ニアラサルハ免訴後既ニ復權シタル後ニ於テハ解職スヘキノ理由ナシト云フト雖原告ノ如キハ明治二十五年二月十八日ニ豫審判事ノ拘引狀ヲ受ケ五月十三日ニ免訴トナリタルハ其數月ニ涉レル訊問中公民權ヲ停止セラル、ニ依リ町會ニ於テ其間ニ解職ノ手續ヲ爲スヘキノ之ヲ爲サ、リシカ爲メ監督官廳ニ於テ其職ヲ解キタルハ不當ナリト云フコトヲ得ス又原告ハ拘引ト拘留トハ公民權ヲ停止スルト否トニ付其結果ヲ異ニスト云フト雖原告ハ現ニ裁判上ノ訊問ヲ受ケタルモノナレハ本件ニ關シ敢テ拘引ト拘留トノ差別ヲ論スルノ要ナク又原告ハ町村制第九條第二項ノ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪云々トアルハ其結果ヨリ推シテ現ニ重輕罪ヲ犯シタル場合ノミヲ云フモノニシテ原告ノ如ク免訴トナリタル場合ヲ指シタルモノニアラスト云フト雖同條第二項ハ其有罪トナルト無罪トナルトノ結果如何ヲ顧ミルコトナク總テ重輕罪ノ訴アリタルカ爲メ裁判上ノ訊問若クハ拘留ヲ受ケタル場合ヲ指シ言フモノナレハ假令後ニ免訴トナルモ訊問中ノ者ハ其公民權ヲ

停止シ從テ又其職務ヲ解カサルヘカラサルモノトス

○町村長ノ職務トシテ町村ヲ代表スルコトハ町村制ノ範圍内ニ於ケル町村ニ屬スル事件ニ限ルヘキモノトス(町村長懲戒處分ニ對シ富山縣知事ノ下シタル裁決ニ對スル訴 明治二十五年第四百四十一號
明治二十六年三月二十八日宣告)

○町村長ノ資格ヲ以テ衆議院議員ニ感謝狀ヲ發シタルハ町村長ノ職務ニ違背シタルモノトス(同上)

○郡長カ町村長ニ對シテ發シタル訓示ハ其監督權上ノ命令ニ屬ス(同上)

○郡長カ其監督權ニ基キ職務違背ノ廉ヲ以テ町村長ヲ處分シタルニ付キ法律ノ明示ヲ爲サ、ルハ違法ニアラス(同上)

○縣知事ノ命ヲ受クルニアラサレハ郡書記ハ郡長代理トシテ郡長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス(同上)

〔理由〕 原告訴求ノ要點ハ第一原告等カ明治二十五年六月十八日ヲ以テ衆議院議員島田三郎河野廣中ニ向テ感謝狀ヲ發シタル行爲ハ町村ヲ代表シテ爲シタルモノニシテ法人ノ意志ヲ代表スルコトノ如キハ法律規則ニ牴觸セサル限ハ之ヲ爲スモ爲サ、ルモ隨意タリ且職務ニ違フ

トハ其職務トシテ必ス行フヘク行ハサルヘカラサル事ニ違背シタルヲ言フモノニシテ本件ノ如キハ町村長職務ノ範圍ニ入ルヘキモノニアラス第二被告ノ訓示ハ服從ノ義務アリト云フモ訓示ハ命令ニアラス故ニ必ス服從スヘキ義務アルモノニアラス第三職務上爲スヘカラサルコトハ必ス法律上之ヲ禁止シ若クハ牴觸スルノ明條ナカル可ラサルヲ以テ之カ明示ヲ求メタルニ何等ノ明示ヲ爲サ、ルハ不當ナリ第四被告カ原告ノ中阪井與次右衛門小幡直次津川佐次兵衛古澤節平安藤佐左衛門ヲ審問スルニ郡吏ヲ私宅ニ派シテ爲サシメタルハ町村制ニ違フモノナリ故ニ被告カ原告等ニ與ヘタル處分ハ不當ナリト云フニ在リトス而シテ其第一ハ町村長ノ職務トシテ町村ヲ代表スルコトハ町村制ノ範圍内ニ於ケル町村ニ屬スル事件ナラサルヘカラス之ニ反スルモノハ行爲不行爲トモ總テ町村長ノ職務ニ違フモノニシテ即チ本件原告カ感謝狀ヲ發シタル事件ノ如キハ原告等カ職務トシテ爲スヲ得ヘキモノニアラサルニ依リ原告等ノ行爲ハ町村長ノ職務ニ違フモノニアラスト謂フヲ得ス第二礪波郡役所ノ訓示ハ監督廳カ監督上ノ意思ヲ發表シタルモノニシテ即チ命令ノ種類ニ屬スルモノナルニ依リ原告等ハ服從ノ義務ナシト謂フヲ得ス第三本件原告等ノ行爲ハ法律上何ニ牴觸スルヤヲ被告カ明示セサルハ不當ナリト云フモ職務ノ權限ハ原告等自身ニ解得スヘキノ責務ヲ有スルニ依リ被告カ明示セザ

ルノ故ヲ以テ不當ナリト謂フヘカラス第四原告等ノ中阪井與次右衛門外四人ヲ審問スルニ郡書記ヲシテ爲サシメタルハ被告ニ於テ地方官官制第五十一條ニ依リ知事ノ命ヲ受ケタリト云フモ地方官官制第五十一條第二項ニ郡長事故アルトキハ上席郡書記知事ノ命ヲ受ケテ其職務ヲ代理ストアリ然ルニ被告カ當時知事ノ命ヲ受ケタル證トシテ提出シタル富山縣知事代理ノ電報ヲ閱スルニ貴官ヨリ命令セラレ然ルヘシト記シアリ又其審問ノ爲メ出張シタル礪波郡書記中谷隆風高桑康武ヘ命シタル辭令書案ニ依レハ郡長代理ハ郡長ヨリ命シタルコト明瞭ニシテ右第五十一條ニ依リタル有效ノ代理ニアラサレハ該審問ハ法律上其效力ナキモノニシテ隨テ阪井與次右衛門ノ外四人ニ對スル郡參事會ノ裁決ハ裁決ノ效力ヲ有セサルモノトス

○重輕罪事件ニ付被告人トシテ豫審判事ノ訊問ヲ受ケタルハ町村制第九條第二項ニ所謂裁判上ノ訊問ニ該當ス(村長解職ニ關シ秋田縣參事會ノ裁決不服ノ訴

明治二十六年第十八號
明治二十六年五月一日宣告)

○有給村長ニ對シテモ名譽職村長ト同シク町村制第九條末項ノ規定ヲ適用スヘキモノトス(同上)

〔理由〕 本訴原被告カ法律ノ解釋ヲ異ニシ争フ所ノ要點ハ町村制第九條第二項裁判上ノ訊問

ハ豫審中ノ訊問ヲ包含スルヤ有給村長ニシテ同制第九條ノ場合ニ當ルトキハ其職務ヲ解クヘキモノナルヤノ二點ニ歸着ス而シテ原告ニ於テ豫審ハ裁判ノ準備ナリ其裁判所内ニ設クルノ故ヲ以テ裁判ナリト云フハ實ニ皮想ノ見ナリト云ハサル可ラス豫審訊問ヲ裁判所上ノ訊問ト云フハ可ナルモ未タ之ヲ裁判上ノ訊問ト云フヘカラス故ニ町村制第九條第二項ニ依リ裁判上ノ訊問ナリトシテ公民權ヲ停止スルニハ公判ノ訊問ニ係リタルモノナラサルヘカラスト云フト雖モ豫審判事カ重輕罪被告事件ニ付被告ヲ訊問スルハ即チ刑事訴訟ノ手續ニ於ケル裁判上ノ訊問ニシテ單ニ公判ニ付シタル場合ニ限り裁判上ノ訊問ナリト云フコトヲ得ス又原告ハ町村制第五十五條ニ町村長及助役ハ名譽職トス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラストアリ其第五十六條第二項ニ有給町村長及有給助役ハ其公民タル者ニ限ラストアリ是明カニ名譽町村長ハ公民ニ限リテ任スヘク有給町村長ハ公民タル者ニ限ラサルコトヲ規定セルモノナレハ隨テ第九條末項ハ有給町村長ニ適用スヘキモノニアラスト云フト雖町村制第五十六條第二項但書ニ有給町村長ハ當選ニ應シ認可ヲ得タルトキハ其公民タルノ權ヲ得トアルヲ以テ之ヲ見レハ有給町村長ハ其町村公民タル者ニ限ラス之ニ任セラル、ヲ得ヘク其公民權ヲ有セサル者ヲ選舉シ其當選ニ應シテ府縣知事ノ認可ヲ得タルトキハ同時ニ町村公民タルノ

權ヲ得ル者ナレハ公民權得有ノ上ニ於テハ前後ノ別アルニ拘ラス町村公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ルノ點ニ於テハ名譽職町村長ト異ナル所ナキヲ以テ町村制第九條末項ヲ有給村長ニ適用スルハ正當ナル法律ノ解釋ナルニ鶴川村會ニ於テ原告ノ職務ハ解クヘキモノニアラスト議決シタルハ法律ニ違背シタルモノト謂ハサルヲ得ス

○府縣知事ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シ一切ノ監督權ヲ有ス(村長解職處分取消請求ノ訴 明治二十五年第六十七號
明治二十六年五月五日宣告)

○衆議院議員選舉ニ關スル事務ハ町村制第六十八條第二項第九ニ包含ス(同上)

○郡長ハ府縣知事ノ監督ニ從ヒ選舉事務ノ監督ヲ爲ス職權ヲ有ス(同上)

○郡長ハ必要アリト認ムルトキハ自カラ選舉場ニ臨監シ又ハ郡書記ヲシテ臨監セシムルコトヲ得(同上)

〔理由〕原告ハ町村制ノ如キハ行政ノ常務ヲ規定シタルモノニシテ國會議員選舉ノ如キ特定ノ事項ニ推及スヘキモノニアラス從テ郡長假令普通ノ行政事務ニ於テハ村長ヲ指揮監督スルコトアルニモセヨ選舉ニ干與シ又ハ投票場ニ入ルノ權ナキモノナルカ故ニ郡書記中村基四郎ニ命令シテ原告ノ管理ニ屬スル投票所ニ臨監セシメタルハ不法ナリ又衆議院議員選舉法第二

條ニ依リ府縣知事ノ有スル監督權ハ大體上選舉區ノ選舉事項ヲ總括スルニ止マリ投票所ヲ管轄スルカ如キハ町村長ノ職權ニ屬シ府縣知事自カラ臨監シ又ハ代理人ヲシテ臨監セシムルカ如キ意ニアラスト解釋セサルヲ得サルカ故ニ郡書記中村基四郎ニシテタトモ縣知事ノ命令ニ依リ來リタルモノトナスモ入場ヲ許スヘキモノニアラス從テ原告カ其入場ヲ拒ミタルハ決シテ不法ノ所爲ニアラスト云フト雖モ衆議院議員選舉法第二條ハ選舉ニ關スル一切ノ監督權ヲ府縣知事ニ與ヘタルモノタレハ投票所ノ管理ニ付キ之カ監督ヲ爲スカ如キモ固ヨリ其監督權ノ範圍内ニ屬シ而シテ府縣知事カ其監督權ヲ實行スルニ當リ必要ナルトキハ自カラ臨監シ又ハ部下ノ官吏ヲシテ臨監セシムルモ其職權ニ依リ爲シ得ヘキハ勿論衆議院議員選舉事務ノ如キハ町村制第六十八條第二項第九ニ該當スルモノニシテ決シテ町村制規定ノ範圍外ノモノニアラサルカ故ニ郡長モ亦府縣知事監督ノ下ニ選舉事務ヲ監督スルノ職權アルモノト謂ハサルヘカラス既ニ其職權アレハ必要ニ依リ自カラ投票所ニ臨監スルモ或ハ郡書記ヲシテ臨監セシムルモ其職權ニ依リ爲シ得ヘキコトナルヲ以テ原告ニ於テ其事實ヲ知ル已上ハ縣知事若クハ郡長ノ命令ヲ受ケテ投票所ニ臨監シタル郡書記ノ入場ヲ拒ムノ權ナキモノトス然ルニ本件ニ關シ諸證據ヲ閱スルニ原告ハ自カラ郡書記中村基四郎カ縣知事若クハ郡長ノ命令ヲ受ケ臨監

シタルノ事實ヲ認メナカラ法律ノ解釋ヲ異ニスルトシ其入場ヲ拒ミ尙ホ立會ノ巡查ヲシテ強制退場セシメタルハ違法ノ所爲ニシテ其情狀重キモノナルニ依リ被告カ原告ヲ解職シタルハ不當ト云フヲ得ス

○縣知事カ町村事務ノ錯亂及ヒ澁滞ヲ整理スル爲メ訓令ヲ以テ町村役場會計規程及諸帳簿様式ヲ發布シタルハ其行政上ノ監督權ノ行使ニ外ナラス(懲戒處分ニ付縣知事ノ裁決ニ係ル訴 明治二十六年第四十二號
明治二十六年五月二十七日宣告)

○町村役場ノ會計規程ハ町村條例ヲ以テ規定スヘキモノニアラス(同上)

○監督官廳ノ訓令ハ下級行政廳ニ對スル命令ニ屬ス(同上)

○村長カ縣知事ノ發シタル訓令ニ從ハサルハ其職務ニ違背シタルモノトス(同上)
〔理由〕原告ハ上級官廳ノ監督權ハ事後ニ行フヘキモノニシテ事前ニ施スヲ得サルモノナルコト町村制第二百一十一條ニ明ナリ故ニ福島縣知事カ發シタル訓令第六號ハ監督權ヲ妄用シタルモノナリト云フト雖町村制第二百一十一條ニハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂澁滞セサルヤ否ヤヲ監視スヘシトアリテ之ヲ監視スルノ方法ハ事後ニ施スヘシト限リタルモノニアラス即チ本件福島縣知事カ縣下町村ノ事務錯亂澁滞ヲ整理センカ爲メ訓令第六號ヲ

以テ村役場會計規程及諸帳簿様式ヲ發布シタルハ則チ監督ヲ行フニ必要ナル方法ヲ命シタルモノナレハ之ヲ以テ監督權ヲ妄用シタルモノト謂フヲ得ス又原告ハ町村ハ自治體ナリ自カラ會計規則ヲ制定スルノ權アルコト町村制第十條ニ明ナリ故ニ訓令第六號ハ町村ハ自治權ヲ侵害スルモノナリト云フト雖モ同條ニ町村ノ事務ニ關シ此法律中明文ナキ事項云々トアルハ町村ノ組織又ハ町村ト住民トノ關係ニ影響スヘキ事項ニシテ明文ナキモノハ條例ヲ以テ之ヲ規定スルヲ許スノ意ニシテ會計規程ノ如キ純然タル行政上ノ手續ニ關スル事項マテヲモ條例ヲ以テ規定スルノ謂ニアラス隨テ該訓令ハ町村自治ノ權ヲ侵害スト云フヲ得ス又原告ハ訓令ハ命令ト異リ町村長之ヲ遵守スルノ義務ナシト云フト雖訓令第六號ハ縣知事カ其監督權ニ基キ下級廳ノ事務ヲ整理センカ爲メニ發シタル命令ニ外ナラサレハ之ヲ以テ遵守ノ義務ナキモノト謂フヲ得ス又原告ハ村會カ訓令實行ノ費用ヲ否決シタルノ故ヲ以テ該訓令ヲ實行スル能ハサルモノニシテ徒ラニ之ヲ拒絕シタルニアラサレハ其職務ニ違フモノニアラスト云フト雖訓令第六號ハ明治二十四年三月十七日ヲ以テ發布セラレ而シテ九月二十六日村會カ其費用ヲ否決シタルマテノ間ニ於テ被告カ其實行ニ反抗セシ事實ハ原告提出ノ第二號第四號第六號證ニ據リテ明ナルノミナラス郡長ノ審問ニ際シ是マテ執行セサルハ甚タ惡シクアリシ云々ト自白

セルヲ以テ見ルモ原告カ其職務ニ違フニアラスト謂フヲ得ス要スルニ原告カ福島縣知事ノ發シタル訓令第六號ヲ實行セザリシハ監督官廳ノ命令ニ背キ其職務ニ違フモノナルヲ以テ被告カ之ニ對シ解職ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ノ處分ニアラストス

○郡長カ町村長ニ對シテ爲ス懲戒裁判ノ審問ニ關スル申供書ニ捺印ヲ爲サシムヘキ法令ナシ違法懲戒裁判取消ノ訴 明治二十六年第三十八號
明治二十六年六月二十四日宣告

〔理由〕原告カ本件懲戒裁判ヲ不當トスル理由ノ第一ハ明治二十二年五月聯合會存續ノ際庚號石川縣訓令第八十三號及辛號石川縣令第七十五號ヲ發シタルヲ以テ丁號石川縣丙百四十七番ハ消滅シタルニ依リ原告ハ聯合會ノ議決シタル水利土木費ヲ徵收スルノ責務ヲ有セスト云フニ在レトモ右第八十三號ハ本年法律第十一號ニ據リ云々數町村ニ跨ルモノハ郡長之ヲ管理スヘシトアリ又辛號石川縣令第七十五號ハ明治十七年云々數町村ノ數箇ニ跨ルモノハ郡長管理スヘシトアルハ何レモ聯合會ノ管理者ヲ指定シタルモノニ外ナラス而シテ區町村會法第十五條但書ニ戶長ヲシテ其評決ヲ施行セシムルコトアルヘシトアリ又明治十七年石川縣丙百四十七番ニ但實際ノ便宜ニ依リ戶長ヲシテ分擔セシムルヲ得トアリテ從來西往來區域聯合會費ハ戶長ヲシテ徵收セシメタルコトハ原告自身ニ於テモ認ムル所ニシテ其戶長ニ於テ取扱ヒ

タル事件ニ關シテハ明治二十二年石川縣訓令第九十九條ヲ以テ從來法律命令ニ依リ云々町村ニ於テ戸長ノ取扱ヒタル事件ハ町村制施行ノ上ハ町村長ニ於テ之レヲ取扱フ義ト心得ヘシトアレハ原告ニ於テ聯合村費徵收ノ責務ナシト謂フヘカラス第二縣參事會裁決中ニ現行法タル明治二十二年本縣訓令第八十三號及本縣令第七十五號ニ對シ一ノ說明ヲ爲サ、ルハ不當ノ裁決ナリト云フモ裁決ノ當否ニ關シテハ當裁判所ハ說明ヲ爲スノ必要ナキモノトス第三本村字濁崎地籍中過半ハ本郡餘喜村ヘ組替相成リタルニ其餘喜村ヘ賦課セス本村字濁崎ヘノミ賦課セシハ錯誤ナルヲ以テ徵收スル能ハスト云フモ餘喜村中ニハ濁崎ノ公稱ナキハ事實ナレハ被告ハ濁崎ノ公稱ヲ有スル原告村ニ向テ徵稅令書ヲ發シタリト云ヘハ當時原告ニ於テ地籍組替ノ爲メ土地減少負擔ニ堪ヘスト認ムルトキハ之ヲ管理者ニ申立ツヘキニ何等ノ請求ヲモ爲サスシテ徒ラニ徵收ヲ延ハシタルハ職務ニ違フ者ニ非スト謂フヲ得ス第四明治二十二年度第二期以下ハ臨時費ニシテ徵收手續中工事中止ノ告示アリ故ニ徵收方モ中止セリ其後告示ヲ以テ金十一圓餘納付スヘキノ談示アルモ之ヲ徵スル必要ナク又鹿島郡告示第五百五十九號ハ未タ會議ヲ通過セサル精算書ナレハ徵收スヘキモノニ非スト云フモ第二期ハ中止前ニ係ルモノナレハ納入セサルヲ得ス第三期ハ工事ヲ中止シタルニ依リ工費ヲ徵收スルモノナレハ工事中止ヲ

理由トシテ徵收ノ手續ヲ爲サ、ルハ不當ナリ第五稅源調査中ナルニ依リ徵收スル能ハスト云フモ原告ハ稅源調査ニ從事シタル事實アルモノト認メ難ク第六被告二十五年年度聯合會ヲ延期シテ定期ニアラサル時期ニ開會シタルハ區町村會法第八條ニ違フモノニシテ議決ノ效力ヲ有セサルモノナレハ徵收ノ手續ヲ爲ス能ハスト云フモ右第八條ハ會議ヲ開クヲ得ス或ハ議案ヲ議定セサル場合ヲ規定シタルモノニシテ會期ヲ延期シタル事件ニハ關係ナキモノトス而シテ被告カ二十五年四月ニ於テ會議ヲ開キタルハ石川縣知事ノ認許ヲ得テ爲シタルモノニシテ法律ニ牴觸スル所ナキモノトス第七被告ハ原告ヲ審問シタル後テ原告ノ申供書ニ捺印ヲ爲サシメスシテ裁判ヲ申渡セシハ違法ナリト云フモ法律勅令中懲戒裁判審問ニ對スル申供書ニハ捺印ヲ爲スヘキノ規定ナキニヨリ被告カ爲シタル審問ヲ無効ナリト謂フヲ得ス故ニ本件懲戒裁判ハ之ヲ取消スヲ得サルモノトス

○町村ノ吏員カ常例ノ手續ヲ盡シテ其事務ヲ行フタル以上ハ職務上相當ノ注意ヲ缺キタルモノト謂フヲ得ス懲戒處分取消請求ノ訴

明治二十六年第百八號
明治二十七年二月二十四日宣旨

〔理由〕 被告ハ明治二十六年五月二十一日大牟田町役場ニ於テ國稅及地方稅等金千二百九十九圓ヲ竊取セラレタルハ原告カ職務上相當ノ注意ヲ缺キタルモノナリト云フト雖モ當時原告

ニ於テ常例ノ手續ヲ盡シタルハ原被雙方ノ陳辯並ニ懲戒處分書ニ依リ明カナリ已ニ其事實ニシテ明カナリトセハ原告ハ職務上爲スヘキノ注意ヲ缺キタルモノト云フ可ラス故ニ被告カ原告ニ對シテ懲戒處分ヲ爲シタルハ正當處置ト云フヲ得ス

○收入役代務者ノ資格アルモノカ其受領ノ金圓ヲ費消シタルトキハ之カ使役者タル收入役ニ於テ其責任ヲ免ルヘカラス(懲戒處分取消請求ノ訴 明治二十七年第八十三號 四日宣告)

〔理由〕 原告ハ五十嵐信茂カ費消セシ金百四十圓五十一錢二厘ハ立山村長ト一個人タル五十嵐信茂トノ間ニ成立タル信用委託金ニシテ未タ組合役場ニ收入シタルモノニアラサレハ原告ハ其責ヲ負フヘキモノニアラスト云フト雖モ被告ノ甲第一號證甲第三號證並ニ原告ノ甲第一號證及明治二十七年第八十四號訴件ニ係ル被告ノ甲第三號證甲第四號證甲第五號證ニ依レハ右金員ハ五十嵐信茂カ收入役代務者タル資格ヲ以テ組合役場ニ收入シタルモノト認メサルヲ得ス然レハ同人ハ組合役場ノ保管金ヲ費消シタルモノト云フ可ク而シテ其此ニ至リタルハ原告カ其職務ヲ重ンセス同人ヲシテ之ヲ專行セシメタルノ致ス所ナレハ原告ハ其職務ヲ盡シタルモノト云フヲ得ス其他原被雙方ニ於テ陳辯スル所アルモ本件裁判ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ

與ヘス

○收入役ノ代務者ヲ置クハ町村制第七十一條ノ規定ニ背反スルモノナリ(懲戒處分取消請求ノ訴 明治二十八年第一號 明治二十八年五月十四日宣告)

○收入役ノ身元保證金ハ町村會ノ承諾ヲ得テ後之ヲ徴スヘシ事後ノ承諾ヲ爲スハ村會ノ越權ナリ(同上)

○決算報告ハ其期限ヲ過クルヲ得ス(同上)

○町村吏員ハ町村制第六十三條ニ依リ町村會ニ於テ其人員ヲ定ム町村長ハ定員以外ノ吏員ヲ任用スルヲ得ス(同上)

○町村役場吏員カ不正ノ行爲アルトキハ之カ監督ノ任アル町村長ハ其行爲ヲ關知セサルトノ理由ニヨリ曠職ノ責ヲ免ルヘカラス(同上)

〔理由〕 第一原告ハ收入役代務者ヲ置キタルコトナシト云フモ被告ノ甲第一號證及甲第二號證ニ依レハ原告ハ雇五十嵐信茂ヲシテ收入役代務者トナシタルモノト認ムヘク隨テ町村制第七十一條ノ規定ニ背反シタルモノト云ハサルヲ得ス第二原告ハ里見重平ノ身元保證金ヲ徴セシハ事後ニ町村會ノ承諾ヲ受ケタルコトナレハ該會ノ權限ヲ犯シタルモノニアラスト云フト

雖本件ハ事後ニ承諾ヲ受クルヲ許サ、ルモノナレハ該會ノ權限ヲ侵シタルモノト云ハサルヲ得ス第三原告ハ豫算ノ金額ヲ超過セサル限ハ町村吏員ヲ任用スルノ職權アルモノナリト云フト雖町村吏員ハ町村制第六十三條ノ規定ニ依リ町村會ニ於テ其人員ヲ定ムヘキモノナレハ原告ハ豫算ノ金額ニ剩餘アリトテ定員外ノ吏員ヲ任用スルヲ得ス第四原告ハ期限内ニ決算ヲ終了セサリシハ怠納處分ノ制裁ナキヨリ自然ニ生シタル結果ナレハ其責ヲ受クヘキニアラスト云フト雖決算ハ期限ヲ經過スルヲ得サルモノナレハ怠納處分ノ制裁ナキヲ理由トシテ其責ヲ免ル、コトヲ得ス第五原告ハ五十嵐信茂カ委託金ヲ費消セシハ立山村ヨリ組合役場へ送付ノ中途ニ於ケル出來事ナレハ原告ニ關係ナシト云フト雖右金員ハ被告ノ甲第二號證甲第二號證甲第三號證及明治二十七年第八十四號訴件ニ係ル被告ノ甲第四號證甲第五號證並ニ同號訴件ニ係ル原告ノ甲第一號證ニ依レハ五十嵐信茂ニ於テ既ニ收入ノ手續ヲナシタル者ト認ムヘク隨テ組合役場ノ保管金ナリト云ハサル可ラス然ルニ會計及出納ヲ監視スヘキ職ニ在ル原告ニシテ五十嵐信茂カ之ヲ費消スルニ心附カサルハ其職務ヲ盡シタルモノト云フヲ得ス第六原告ハ曩ニ郡長ニ提出セシ上申書ニ立山村ニ未納金ナキカ如ク記載シタルハ五十嵐信茂カ竊ニ原議ヲ變更シタルモノニシテ原告ノ知ラサル所ナリ是當役場處務手續ノ然ラシムル所ナレハ原告

告ニ於テ其責ヲ負フヘキニアラスト云フト雖原告ハ町村役場吏員ヲ監督スヘキ責任アル者ナレハ假ニ原告ノ云フカ如キ事實アリトスルモ原告ハ其責ヲ免ル、コトヲ得ス其他原被告雙方ニ於テ陳辯スル所アルモ本件裁判ニ必要ナキニ依リ説明ヲ與ヘス

○小學校管理者タル町長カ其學校勤務ノ教員等ニ對シ訓戒ヲ加フルノ方法ヲ誤リタルハ正當ニ其職務ヲ盡シタルモノト謂フヲ得ス(不當懲戒處分取消請求ノ

訴 明治二十七年第七十四號
明治二十八年六月一日宣告)

〔理由〕 原告ハ分毫ノ私心ヲ挾マス學校ノ體面ヲ維持シ教員ノ品行ヲ矯正スル目的ヲ以テ訓戒ヲ加ヘタルモ彼其非ヲ改メス事體發露シテ終ニ辭表ヲ呈出セシ事實ナルハ明瞭ナルニ被告ハ之ヲ庇隱シ原告カ虐待ヨリ相延テ辭表ヲ呈出セリトノ愛憎偏頗ノ臆斷ヲ以テ原告ヲ懲戒處分ニ付シ尙被告ヨリ縣知事ニ提出シタル答辯書ヲ閱讀シ始テ其原告ヲ誣ヒ以テ冤罪ニ陥ラシメントスルノ事實ニ驚ケリ抑被告カ原告ヲ懲戒ニ付スヘキ非行アリトシテ臆列シタル條項中俸給ノ支給ヲ怠リタル件ヲ除ク外ハ總テ無根ノ事實ナリト云フト雖明治二十六年七月九日漁獵ノ歸途飢渴ヲ醫スルノ目的ヲ以テ漁裝ノ儘自ラ管理スル所ノ小學校ニ立寄り行厨ヲ開テ飲酒シ其席ニ當直成松民太郎ヲ呼ヒ叱責シ同夜林田欽一ノ招キニ依リ割烹店自由亭ニ至リテハ

成松民太郎下同席セシモ其宿直ヲ離ル、ヲ問ハス却テ民太郎ニ對シ職外人林田吉田ト共ニ我管理ニ關スル事項ヲ論難シ又同夜吉田信義ノ促スニ從ヒ其場ニ居合セタル者二名ヲ伴ヒ丸山金治ノ寓所ニ至リ其職務ニ關スル行爲ヲ責問シ又教員俸給ノ定期支出ヲ怠リタル事實ハ原告ノ自陳スル所ニ依テ明瞭ナリ右行爲ハ訓戒ヲ加フルノ方法ヲ誤リタルモノト言フヘクシテ正當ニ其職務ヲ盡シタルモノト謂フヲ得ス依テ被告ノ爲シタル明治二十六年七月二十九日ノ懲戒處分及佐賀縣知事ノ裁決ハ共ニ取消スヘキモノニアラス

○ 訴願カ期限經過ノ後ノ提出ナリヤ否ヲ決スルハ訴願受理ノ權アル上級廳ノ權限ニ屬シ其不服ヲ申立ラレタル裁決ヲ爲シタル原廳ハ之ヲ定ムル權能ヲ有セス(懲戒處分取消ノ訴 明治二十八年第八十八號 明治二十九年六月二十五日宣告)

○ 訴願カ村會ヲ經由スヘキ場合ニ於テ郡長カ訴願進達ノ命令ヲ發シタルトキハ村長ハ當然其經由ノ手續ヲ爲サ、ルヘカラス(同上)

〔理由〕 原告ニ於テ訴願人三田薰西田喜十郎ハ一旦訴願書ヲ提出シタルモ納得上之レヲ取下ケタレハ進達スルニ由ナシ故ニ被告ノ經由進達スヘキ命令ニ應セサルハ進達スヘキ物件ノ存在セサル爲メニシテ決シテ命令ニ違背シタルモノニアラスト云フト雖モ訴願人カ原告ノ説諭

ニ服シテ訴願書ヲ取下ケタリト云フハ原告カ口頭一片ノ陳述ニ過キスシテ何等ノ證據ニ由リタルモノニアラス而シテ原告ノ申請シタル證人書記谷道治一ハ原告カ訴願人ノ一人ナル三田薰ニ對シ訴願期限經過シタルニ付キ進達スルモ無効ナリト告ケタルニ三田ハ今一應思料スルトテ立歸レル旨申立ツルモ同人ノ證言ハ信ヲ置クニ足ラサルノミナラス之ヲ信實ナリトスルモ三田ハ今一應思料スルト云ヒタルマテニシテ説諭ニ服シテ書類ヲ受取り歸レリトノ事實ヲ證言セス又原告ハ期限經過後ニ付訴願書ヲ訴願人ノ一人ナル西田喜十郎ニ返戻シタルコトヲ主張シ其受領證ヲ提出シタルモ同人ノ證言ニ依レハ會テ右ノ如キ領收證ヲ出シタルノ事實ナシ然ルニ谷道治一ノ證言ニ依レハ原告ノ依頼ニ應シ收入役ト相談ノ上領收證ヲ認メ訴願書ト共ニ使丁ヲシテ西田ニ渡シ該證ニ同人ノ印ヲ取り置キタリト云フモ收入役荒木善右衛門ハ訴願書ヲ使ニ託シ西田ヘ遣シタルコトナキ旨ヲ證言セリ隨テ治一ノ證言ハ他ノ證言ト符合セスシテ之ヲ信スルニ足ラサルモノトス又假リニ期限經過ノ理由ヲ以テ之ヲ返戻シタルモノトスルモ其期限經過ノ如何ハ訴願受理ノ權アル上級廳ニ於テ決スヘキモノニシテ原告ニ於テ之ヲ定ムルノ權能ヲ有セサレハ本人ニ於テ承諾セサル以上ハ無効ノ所爲ニ屬ス況ンヤ訴願書ノ期限内即六月十一日ニ提出セラレタルコトハ元書記大木重太郎收入役荒木善右衛門等ノ

證言ニ依リ明瞭ナルニ於テヤ故ニ原告カ被告ノ命ニ應セサルハ進達スヘキ物件ノ存セサル爲メニアラスシテ故意ニ其進達ヲ爲サ、リシモノト認メサルヘカラス第二原告ニ於テ訴願ハ其裁決ヲ爲シタル行政廳即村會ヲ經由スヘキモノナルニ被告ハ其經由ニ當ラサル村役場ニ對シ訴願書ノ進達ヲ命シタルモノナレハ違法ノ命令ニ付之ヲ遵奉スルノ義務ナシト云フト雖村長ハ村會ノ議事ヲ準備シ其議決ヲ執行スヘキノミナラス又同時ニ村會議長ノ職ヲ行フヘキモノナルヲ以テ訴願ノ村會ヲ經由スヘキ場合ニ於テハ當然其經由ノ手續ヲ爲サ、ルヘカラス故ニ被告カ村長ノ職務ヲ行フ役所タル村役場ニ對シ訴願進達ノ命令ヲ發シタルトキハ其命令ニ從ハサルヘカラサルハ勿論ナリトス又原告ハ被告郡長ノ命令ハ越權ナルコトヲ主張スルモ被告ハ監督者トシテ原告カ法律上當然行フヘキ職務ノ執行ヲ命令シタルモノナレハ之ヲ越權ナリト謂フヘカラス然ルニ原告ニ於テ之ヲ違法ノ命令ナリトシテ遵奉セサルハ其職務ニ違フモノトス第三原告ハ被告ニ於テ審問ノ結了セサル以前ニ裁決ヲ下シタルコトヲ主張スルモ被告ハ八月五日ニ於テ審問ヲ爲シ同日九日ニ至リ懲戒處分ヲ爲シタルモノニシテ特ニ審問結了ノ旨ヲ宣告セサルモ審問者ニシテ審理ヲ盡シタルヲ認メ處分ヲ爲シタル以上ハ被審問者タル原告ニ於テ之ニ對シ異議ヲ唱フルヲ得サルモノトス

○郡參事會宛ノ訴願ヲ其經由ノ途ニ當レル村長代理ニ於テ直ニ却下シタルハ專擅ノ行爲ナリトス(懲戒處分ニ關スル裁決不服ノ訴 明治二十九年第三十三號 明治二十九年七月九日宣告)

〔理由〕原告ハ第一山上惣右衛門外九十三名ノ訴願ヲ却下セルハ訴願者ノ請求ニ依レルモノナリト云フト雖モ一モ其事實ヲ認ムヘキ證據ヲ提出セサルノミナラス被告提出ノ第二號證據訴願却下ノ書面及ヒ同第一號證原告ノ署名捺印セル懲戒審問書ニ據レハ原告カ村會ノ裁決ヲ經スシテ擅ニ之ヲ却下シタルコトヲ認ムルニ足レリ第二原告カ山上惣右衛門等ノ訴願ヲ再ヒ却下セシハ期限ヲ經過シ且侮辱ノ文意アリシカ爲メニシテ專斷ノ處置ニ非ス又該訴願ハ原告ノ注意ニ依リ訂正シテ再提出セシモノニシテ郡參事會ニ宛テタルニ非スト云ヒ其證據ハ訴願者ヨリ直ニ該訴願ヲ郡參事會ヘ提出シタルニ郡參事會ハ村會ノ裁決ヲ經ヘキモノナリト裁決シタルヲ以テ明カナリト云フト雖モ郡參事會ノ裁決ハ原告ノ却下シタル訴願書ノ郡參事會宛ニアラスシテ村長宛ナリシコトヲ證スルニ足ラス被告提出第三號證ノ訴願書宛名ニ據レハ反テ其郡參事會宛ナリシコト明カニシテ單ニ經由ノ途ニ當レル原告ニ於テ直ニ之ヲ却下シタルハ專斷タルヲ免レス第三郡長ノ令達後ハ原告ニ於テ訴願ヲ却下シタルコトナシト云フト雖モ被告提出第一號證懲戒審問書ニ據レハ郡參事會ノ裁決ニ基ツキ七月十四日訴願ノ提出アリタ

ルニ原告ハ期限經過ナリトシテ三タヒ之ヲ却下シタルコトヲ見ルヘク同第四號證原告ヨリ郡長ニ差出セル上申書ニ據ルモ亦同一ノ事實ヲ見ルニ足レリ第四原告カ七月十六日村會ヲ召集シ同日之ヲ中止シ十月三日ニ至リ開會シタルハ緩慢ノ處置ニ非スト云ヒ第五七月十六日ノ會議ハ無用ノ言論毀譽褒貶ニ涉リタルヲ以テ之ヲ中止シタルナリト云フト雖モ當日議場騷擾セシ事實ノ有無ニ拘ラス他ニ正當ノ理由アルニ非スシテ七十餘日ヲ空過セシハ緩慢ノ處置ト謂ハサルヘカラス故ニ原告ノ行爲ハ職務ニ違フノ情狀重キモノナルニ依リ郡長カ原告ヲ解職セシハ不當ト謂フヲ得ス

○町村制第六十八條ニ依リ郡長カ村會ニ再議ヲ命シタルニ出席議員ナキカ爲メニ村會成立セザリシ場合ニ於テ村長カ郡長ニ對シ直ニ之カ報告ヲ爲サ、ルハ其職務ヲ怠リタルモノト謂フヘカラス(懲戒處分取消ノ訴 明治二十九年第五百十七號 明治三十年五月三日宣告)

○適法ノ召集手續ヲ盡シタルモ出席議員ナキカ爲メニ村會ヲ開會スルニ至ラサルハ村長ノ職務怠慢ニアラス(同上)

〔理由〕 被告ハ本件避病院設置ノ件ニ付テハ屢々訓示ヲ爲シタルニモ拘ハラヌ原告ハ之ヲ緩慢ニ付シ且岡田村村會カ避病院建築延期ヲ決議シタルハ公益ヲ害スルモノト認メ町村制第六

十八條ニ依リ再議ニ付スルコトヲ命シタルモノナレハ其開會ニ方リ議員ヲ召集スルモ出席者ナク開議ニ至ラサル場合ハ直チニ其顛末ヲ具申スヘキ筈ナルニ其手續ヲ怠リ終ニ年度内建築ノ着手ニ至ラスシテ爲メニ工費ノ補助ヲ受クルヲ得サラシメタルハ即チ原告カ其職務ヲ怠リタルモノニシテ第九號證ノ懲戒處分ヲ行ヒタルハ不當ニアラスト云フト雖被告ノ命令ニ依リ村長ニ於テ村會議員ヲ召集スルモ議員少數若ハ出席議員ナク爲メニ議事ヲ開キ其議決ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テ當被告ヨリ原告ニ對シテ其報告ヲ爲スヘシトノ何等ノ命令訓示等ヲ爲サ、リシ以上ハ原告ニ於テ直チニ其報告ヲ爲サ、リシ事實アルモノ之レヲ以テ村長タル原告ノ職務ヲ盡サ、ルモノト言フヘカラス又年度内建築着手ニ至ラスシテ爲メニ地方税ノ補助ヲ受クルヲ得サルニ至リタルハ原告カ召集ノ手續ヲ爲シタルニモ拘ハラヌ村會議員ノ出席者少數又ハ出席者ナキニ原因スルモノニシテ之レヲ以テ原告職務上ノ怠慢ニ出ツルモノト爲スヲ得ス其他原被告ニ於テ陳辯スルトコロアルモ本訴判決上必要ナキモノト認ムルヲ以テ之レカ說明ヲ與ヘス

○町村長ハ町村役場ノ事務多忙ノ故ヲ以テ其職務怠慢ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス(高知縣參事會裁決不服ノ訴 明治三十年第四十三號 明治三十一年二月十九日宣告)

○町村役場ノ處務規程ニ學事ニ關スル事務ハ助役ノ管理スヘキコトヲ定ムルモ之ヲ以テ該事務ニ關シテ町村長ニ其責任ナシト云フヲ得ス(同上)

〔理由〕 本訴所争ノ要點ハ第一原告ハ故ナク再歸熱患者ノ隔離實行ヲ怠リタルモノナルヤ否ヤ第二原告ハ故ナク就學告知書ノ發布ヲ遷延セシメタルモノナルヤ否ヤ又就學告知書ヲ發スル如キ學事ニ關スル事務ハ助役分擔ノ事務ナルヤ否ヤ第三原告ハ郡長ト對談中故ナク反抗シタル事實アルヤ否ノ三點ニアリ而シテ原告ハ假避病舎修繕ニ着手セスシテ借家ノ借入ニ着手シタルハ村會ノ決議ニ由リタルモノニシテ決シテ職務ヲ怠リタルモノニ非スト云フト雖被告提出第一號證ニ依レハ原告ハ村役場ノ事務當時殊ノ外多忙ニシテ村長助役書記等執レモ皆出張スル能ハサルヲ口實トシテ故意ニ病舎ノ修繕ニ着手セサリシコト明瞭ナレハ假令借家ノ借入ニ着手シタリトスルモ傳染病患者隔離執行ノ急務ニ對シテハ原告ハ未タ其職務ヲ盡シタルモノト云フヲ得ス又原告ハ就學告知書ヲ期日ニ後レテ發布シタルハ事實ナルモ是レ必竟多數ノ回歸熱患者ヲ發生シタル爲メ事務多忙ナリシニ由ルト云フト雖事務多忙ノ一事ヲ以テ告知書ニ關スル怠慢ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス又原告提出村役場處務規程ナルモノニ徴スルモ學事ニ關スル事務ハ助役ノ管理スヘキ事務ナルコトハ明カナルモ町村制ノ所謂助役ノ分擔事務

ト爲シ村長ニ責任ナシト云フヘカラス又原告ハ故ナク郡長ノ命令ニ反抗シタルコトナシト云フト雖被告第一號證ニ依レハ郡長ノ命令ニ服從セサリシコトハ最モ明カナル事實ナリト認定セサルヲ得ス故ニ原告村長ハ其職務ニ違フ情狀重キモノ又其職務舉ラサルモノト言ハサルヲ得ス

○有給ノ町村長ニシテ任期中辭職ヲ申立ツルトキハ町村會ハ其認否ヲ議決スヘキモノトス(懲戒處分取消請求ノ訴 明治三十年第四百三號
明治三十一年四月二十三日宣告)

○有給町村長ノ辭職ノ申立ニ對シ町村會カ承認ノ議決ヲ爲セハ其町村長ハ直ニ職務ノ解除ヲ得ルモノトス(同上)

〔理由〕 被告ニ於テ任期ヲ以テ其職務ニ在ル町村長ノ退職ニ關シテハ一モ積極的ニ町村會ニ對シテ之ヲ許否スルノ職權ヲ認ムルノ規定ナシ有給村長ハ如何ナル場合ニ於テモ隨意ニ退職シ得ルコトノ原則ヲ規定シタルト同時ニ其退職ハ意思表示後三箇月ノ後ニアルヘシトノ唯一ノ條件アリ之ヲ履行セハ何人ノ承認ヲ待ニ及ハス隨意ニ退職スルコトヲ得ヘキモノニシテ町村會カ之ヲ承認スルト否トハ法律上何等ノ效果ヲ生スヘキモノニアラスト云フト雖町村長ハ名譽職ナルト有給ナルトヲ問ハス町村會之ヲ選舉スヘキモノニシテ有給村長ニ對シテハ町村

制第五十七條ヲ以テ三箇月前ニ申立ルトキハ任期未滿ト雖町村會ニ對シ隨時退職ヲ求ムルコトヲ許セリ故ニ町村會ハ該申立アリタル場合ニ之カ認否ヲ議決スヘキハ當然ノ職務ナリト謂フヘシ而シテ右申立ノ三箇月前ナルコトヲ要スル規定ハ之カ爲メ町村事務ニ差支ヲ生センコトヲ豫防スルニ在ルモノナレハ町村會ニ於テ其退職アルモ町村事務ニ差支ヲ生スルノ虞レナシトシテ之ヲ承認シタルモ該議決ヲ違法ニシテ無効ナリト謂フヘカラス故ニ有給村長ニシテ町村會ノ退職承認ヲ得タル場合ハ任期滿了ト同シク直チニ其職務ノ解除ヲ得タルモノトス依テ本件原告カ明治三十年一月十八日小松村會ノ議決ヲ以テ有給村長退職ノ承認ヲ得タル後被告ニ於テ尙之ヲ在職者ト爲シ其懈怠ヲ責メ懲戒ニ付シタルハ處分ヲ誤リタルモノナリトス其他雙方陳辯スル所アルモ裁判ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ付セス

○町村會ニ於テ郡長ノ不信任ヲ議スルハ越權ナリ(懲戒處分取消ノ訴 明治三十一年十一月二十八日宣告)

○町村會ノ議スヘキ原案ハ總テ町村長ヨリ發スヘキモノトス(同上)

○町村長ニ對スル懲戒裁判ノ審問ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(同上)

○町村會ノ議事録ノ署名者ヨリ其署名取消ノ申出アリタルニ拘ハラヌ町村長カ

之ヲ取消サスシテ監督官廳ニ提出シタルハ不當ノ處置ナリ(同上)

○町村長カ町村會ノ議長トシテ不當ノ處置ヲ爲シタルハ即チ町村長ノ職務ニ違フタルモノトス(同上)

[理由] 原告ニ於テ第一町村會ハ町村一切ノ事件ヲ議決スルモノナレハ郡長不信任事件モ亦町村會ノ權限ニ屬ス從テ議員ヨリ發議スルトキハ村長ニ於テ之ヲ議事ニ付セサルヘカラスト云フト雖本件ノ如キハ町村ノ事件ニ非ラサルヲ以テ町村會ノ權限ニ屬セサルコト明カナリ而シテ町村會ノ權限内ノ事件ナルモ凡議案ハ町村制第六十八條第二項ニ依リ町村長ヨリ發スヘキモノニシテ議員ヨリ發案スヘキモノニアラス然ルニ原告ハ此ノ如キ明カニ町村會ノ權限内ニ屬セサル事件ノ建議ヲ容レテ之ヲ議題ト爲シタルハ村長ノ職務ニ違フモノナリ尙原告ハ議員ニ發案權ナシトスルモ已ニ發議シタル以上ハ議案ノ提出ヲ止メ又ハ議事ノ進行ヲ中止スルノ權能ナシト云フト雖議案ノ提出ハ前述ノ如ク村長ノ職權ニ屬スルヲ以テ議員ノ發議ヲ以テ議案ノ提出ト認ムルノ謂レナシ隨テ此抗辯ハ理由ナキモノトス第二懲戒裁判ハ口頭ヲ以テ審問セサルヘカラサルニ被告ハ推問書ヲ發シタルマデニシテ懲戒裁判ノ審問ナルヤ否原告ニ知ラシメサリシハ違法ナリト云フト雖懲戒裁判ノ審問ハ口頭ニ限ルモノニアラス而シテ被告カ推

問書ヲ發シテ原告ニ答辯ヲ求メタルハ文書ヲ以テ審問ヲ爲シタルモノト認ムルヲ得レハ違法ナリト謂フヲ得ス第三郡制第五十四條第一項ニ依レハ郡參事會員ハ一身上ニ關スル事件ニ付テハ議事ニ參與スル能ハサルモノナリ然ルニ被告カ其一身上ニ關スル本件ニ參與シタルハ違法ナリト云フト雖本件懲戒裁判ノ議事ハ原告行爲ノ當否ヲ定ムルニ在リテ被告ノ身上ニ關スルモノニアラス第四議事録ニ不參議員石田常藏ノ署名アルハ當時ノ錯誤ニ出タルモノナリ其後本人ヨリ取消ノ申出アリタルモ村會ノ議決ヲ俟テ之ヲ取消シタルハ寧ロ正當ノ處置ナリト云フト雖署名者ヨリ取消ノ申出アリタルニ拘ハラズ之ヲ取消サスシテ其儘監督廳ニ提出シタルハ不實ノ報告ヲ爲シタルモノニシテ村長ノ職務ニ違フタルモノトス第五懲戒理由書ニ右ノ行爲ハ村長タル職務云々トアルモ議長トシテノ行爲ニシテ村長タルノ行爲ニアラスト云フト雖村會ノ權限ニ屬セサル事件ヲ會議ノ議題トシ又不實ノ報告ヲ爲ス等何レモ村長タルノ職務ニ違フタルモノトス

○町村長及助役ハ名譽職ナルト有給ナルトヲ問ハス其退職ヲ許否スルハ町村會ノ職權ニ屬ス(懲戒處分取消ノ訴 明治三十一年第五十九號 明治三十一年十二月十六日宣告)

○適法ニ其職務ヲ解除セラレタル町村ノ助役ニ對シ郡長カ在職者ト認メテ懲戒

處分ヲ行フタルハ不當ナリ(同上)

〔理由〕 被告ニ於テハ有給町村長及助役ハ町村制第五十七條ニ於テ如何ナル場合ニアリテモ隨意ニ退職シ得ルノ原則ヲ定メ同時ニ其退職ハ意思表示後三箇月ノ後ニ在ルヘシトノ唯一ノ條件ヲ附加シ苟モ此ノ條件ヲ具備スル以上ハ理由ノ如何ヲ問ハス自由ニ退職スルヲ得ト云フコトヲ明示シタルニ止リ毫モ町村會ニ對シテ其退職ニ關スル職權ヲ規定シタルモノニ非スト云フト雖モ町村長及助役ハ名譽職ナルト有給ナルトヲ問ハス町村會之ヲ選舉スヘキモノナレハ其退職ヲ許否スルハ町村會ノ職權ニ屬スルモノト解釋スルヲ相當トス故ニ町村會ニ於テ原告ノ退職申立ヲ許可セシハ正當ニシテ隨テ原告ハ適法ニ其職務ヲ解除セラレタルモノトス然ルニ被告郡長ニ於テ原告ヲ猶在職者ト認メ懲戒ヲ加ヘタルハ失當ナリ其他原被告共陳辯スル所アルモ裁判ニ必要ナキニ依リ説明セス

(同一判例 懲戒處分取消請求ノ訴 明治三十一年第七十九號 懲戒處分取消請求ノ訴 明治三十一年三月二十三日宣告)

○郡制第二十三條第二項ニ依リ郡長ニ於テ選舉若クハ當選ノ效力ニ關スル異議ヲ郡參事會ノ決定ニ付スル場合ニハ之カ爲メニ必要ナル投票及關係書類ノ提

出ヲ選舉長タル村長ニ命スルノ權ヲ有ス(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十三年第七十五號 十七日宣告)

○ 郡會議員選舉ニ關スル事務ハ村長ノ掌ルヘキ當然ノ職務ニ屬ス(同上)

〔理由〕 原告ハ當選ノ效力ニ關シ異議ノ申立アリタル場合ハ郡長カ之ヲ郡參事會ノ決定ニ付スヘキハ郡制第二十三條ノ規定スル所ナルモ郡長カ選舉長ヲシテ先ツ投票及ヒ關係書類ヲ提出セシムヘントノ規定ナキヲ以テ郡長ノ命令ニ對シ提出ヲ拒絕スルモ法律上何等ノ不法ナシト論スルモ郡制第二十三條第二項ニ依リ郡長ニ於テ選舉若クハ當選ノ效力ニ關スル異議ニ付郡參事會ノ決定ニ付スルニハ之カ必要ナル投票及關係書類ヲ選舉長タル村長ヨリ提出セシムルノ權利アルモノニシテ尙ホ本件ハ當時郡參事會ノ未タ成立セサルヲ以テ郡制第三百二十五條ニ依リ郡長ハ郡參事會ノ職務ヲモ行フモノナレハ郡長カ裁決ヲ爲ス爲メ必要上投票並ニ關係書類ヲ提出ヲ命スルニ當リテハ選舉長タル原告村長ハ之ヲ拒ムヲ得サルモノトス又原告ハ本件ハ町村行政上ノ吏員即チ村長タル職務上ノ行爲ニ非サルヲ以テ原告ニ多少ノ過失アリトスルモ町村制第二百二十八條ヲ適用スヘキモノニ非サルニ同條ニ依リ其情狀重キモノトシテ解職シタルハ不當ナリト論スルモ本件郡會議員ノ選舉ノ如キハ即チ郡制第十條乃至第十三條ノ規定ニ依リ當然原告村長ノ職務ニ屬スルモノナルヲ以テ前段説明ノ如ク原告カ提出ノ義務アルニ拘ラス上司タル郡長ノ命令ヲ拒ミタルヲ理由トシテ町村制第二百二十八條ニ依リ其情狀重キモノト認メ解職シタルハ不當ニアラス又原告ハ懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ストノ規定ナルニ郡長ノ審問ナク郡參事會ノ裁決ナキハ不法ナリト論スルモ乙第六號證審問書乙第七號證原告ノ答辯書ニ依レハ郡長カ審問ヲ爲シタル事明カニシテ當時郡長ハ郡參事會ノ職務ヲ行フモノナルヲ以テ原告ノ主張ハ其理由ナシ又原告ハ解職ノ如キ事體ノ重大ナルモノハ郡參事會ノ成立ノ後ニ於テ爲スヘキモノニシテ郡長ノ專決ヲ許サルモノナルニ之ヲ決行シタルハ郡制第二百五條ヲ濫用シタル不法ノ裁判ナリト論スルモ事ノ重大ナルモノニ對シテハ本條ヲ適用スルヲ得ストノ規定アルニアラサレハ被告ニ對シ本件懲戒裁判ヲ爲シタルヲ不法ト云フヲ得ス

○ 會計年度ヲ異ニスル收入ヨリ支出シタルハ款項ノ流用ト謂フヲ得スシテ全ク違法ナリ(村長解職不當處分取消請求ノ訴 明治三十三年第八十一號 明治三十三年七月十日宣告)
○ 學校建築費ノ豫算金額以外ニ村會ノ議決ヲ經ス後年度ノ公借償還費ヲ繰入レ支出シタルハ村會ノ權限ヲ侵シタルモノナリ(同上)

- 村費ヲ各人任意ニ醸出スル協議費ヲ以テ支辨シタルハ違法ノ處置ニシテ村會招集ノ違ナキヲ理由トシテ其責ヲ免カル、コトヲ得ス(同上)
- 學校建築寄附金ノ受否及收支ニ付キ村會ノ議決ヲ經サルトキハ村會議員、區長、常設委員等ニ協議ヲ遂クルモ該協議ハ法律上何等ノ效力アルモノニアラサレハ之ヲ以テ村長ハ專斷ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス(同上)

〔理由〕原告ハ村會ノ議決セシ學校建築費公借金千五百圓ノ中金千圓ヲ公借シテ其費途ニ充テ殘金五百圓ヲ三十二年度徵收金ノ内ヨリ支出シタルハ其年度内ニ於ケル款項ノ流用ニシテ町村制ノ規定ニ背キタルモノニ非スト云フト雖兵庫村明治三十一年度臨時歲入出豫算表ニ依レハ右費用ハ三十一年度ノ收入ヨリ支出スヘキモノニシテ其會計年度ヲ異ニスル三十二年度ノ收入ヨリ之ヲ支出シタルハ其年度内ニ於ケル款項ノ流用ト謂フヘキモノニアラス隨テ違法ノ處置タルヲ免カレス又原告ハ別ニ收支命令簿ヲ設ケタルハ學校建築費ハ三箇年繼續ナルヲ以テ收支ノ費途ヲ一見明瞭ナラシメンカ爲メナレハ明治二十九年佐賀縣訓令第二十一號市町村出納帳簿規程ニ背キタルモノニアラスト云フト雖該訓令ヲ見ルニ其繼續ナルト通常費ナルトヲ區別シタルモノニアラサレハ別ニ收支命令簿ヲ設ケタルハ右訓令ニ背キタルモノトス第

二原告ハ公借返済期ハ明治三十二年十一月限ナレハ同年度後半期村稅ノ徵收ヲ爲サ、レハ返済ニ充ツヘキ金額アルコトナク又一步ヲ讓リ公借償還費ヨリ學校建築費中ニ一時繰入レ支出シタリトスルモ未タ其返済期ニ達セサルノ間ハ其運用ハ村長ノ職務權内ニ屬スト云フト雖明治三十一年度學校建築費ノ豫算金額以外ニ村會ノ議決ヲ經ス明治三十三年度ノ公借償還費ヲ繰入レ支出シタルハ村會ノ權限ヲ蹂躪シタルモノト謂ハサルヲ得ス第三原告ハ地租増徴ニ伴フ公帳簿ノ整理ニ要スル費用ハ村費ヲ以テ支辨スルハ適法ナルヘキモ當時地租徵收ノ納期逼迫シ適法ノ村會ヲ招集シテ地租制限外ノ賦課徵收ヲ爲サントスルニハ內藏兩大臣ノ認可ヲ要スル等ノ手數アルヲ以テ時機ノ處置ヲ爲シ協議費ヲ徵收シテ之ヲ處辨シタルモノナレハ答ムヘキニアラスト云フト雖各人任意ニ醸出スル協議費ヲ支辨シタル違法ノ處置ニシテ村會招集ノ違ナキヲ理由トシ其責ヲ免カル、コトヲ得ス第四原告ハ學校建築寄附金ノ募集ハ村會ヲ經ヘキモノナルモ學校建築ノ爲メ三箇月以上臨時休課シ其學年内ニ於ケル授業上ニ一大差支ヲ生スルノ憂アルヲ以テ晝夜ヲ分タス工事ヲ取急クノ際ニシテ其違之ナキノミナラス未タ寄附金總豫定額モ確定セサレハ豫メ村會ニ付スルノ道ナキヲ以テ止ムヲ得ス事後承諾ヲ求ムル爲メ村會議員區長常設委員等ニ協議ヲ遂ケ之ヲ行ヒタルモノナレハ村長一己ノ專斷ニ出テタル

モノニアラスト云フト雖該協議ハ法律上何等ノ效力アルモノニアラサレハ專斷ノ責ヲ免カルルコトヲ得ス第五原告ハ手續ノ履行及検査ヲ施行セザリシハ晝夜ヲ分タヌ學校建築工事ヲ取急クノ際ニシテ事實止ムヲ得サルニ出ツト云フト雖事務多忙ノ故ヲ以テ其法定手續ヲ盡サシル責ヲ免カル、コトヲ得ス第六原告決算遲延ノコトハ追加村税即學校建築費徵收期ハ明治三十二年三月ナレハ町村制第百十二條ノ規定ニ背キタルニアラスシテ却テ三十二年度ニ至リ決算ヲ爲スヘキハ至當ナリト云フト雖町村ノ決算ハ町村制第百十二條ニ依リ年度後三箇月以内ニ結了セサルヘカラサルニ附屬第五號證佐賀縣屬田代愛助外一名ノ推問ニ對スル原告及副島以順ノ辯明書ヲ見ルニ原告ニ於テ明治三十二年十月マテ決算ヲ遷延シタル事實アルヲ以テ怠慢ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス

○選舉長ハ止ムヲ得サル事情ナキニ選舉ヲ中止シタルハ其職務ニ違フモノトス
(不當裁決取消請求ノ訴 明治三十三年第六十六號
明治三十四年五月十三日宣告)

〔理由〕 本件原告被告カ争フ所ノ要點ハ一旦開始シタル選舉ヲ一時中止スヘキ已ムヲ得サル事情アリシヤ否ニ在リ之ヲ附屬書第一號乃至第四號ニ徵スルニ選舉立會人ト選舉監督ノタメ臨場シタル警部トノ間ニ法律上ノ解釋ニ付一場ノ争議ヲ生シタルニ依リ之カ當否ヲ縣知事ニ

質サントテ中止シタルニ外ナラスシテ斯ル場合ノ如キハ未タ以テ已ムヲ得サル事情アルモノト認ムルヲ得ス然ラハ原告ハ監督警部ノ命ニ應セス徒ラニ選舉ヲ中止シ其職務ニ違フノ情狀重キモノト云ハサルヘカラサルナリ

○村長カ官吏ノ任免職責ニ關シ是非ノ言議ヲ挿ムカ如キハ職權在ル所ヲ願ミサル行爲ナリトシテ之ヲ訓戒スルハ郡長ノ職權ニ屬ス(懲戒處分不當裁決取消ノ訴 明治三十三年第二百五十五號
明治三十四年五月二十八日宣告)

○村長カ適法ナル郡長ノ訓戒書ヲ不當ナリトシテ返戻シタルハ職務上遵守ノ義務ニ背キタルモノトシ町村制第百二十八條ニ依リ郡長ニ於テ之ヲ譴責シタル處分ハ違法ニアラス(同上)

〔理由〕 原告ニ於テ郡長ノ訓戒ハ村長ヲシテ法令ニ依ル當然ノ職務ヲ完全ニ行フコトヲ得サラシムル違法ノ訓戒ナリト云フト雖該訓戒ハ凡ソ村長トシテ官吏ノ任免職責ニ關シ是非ノ言議ヲ挿ムカ如キハ職權ノアル所ヲ願ミサルノ行爲ナルヲ以テ將來右等不都合ノ儀ナキ様篤ト注意セラルヘシトノ意ニシテ監督官タル郡長ノ職權内ニ於テ當然發シ得ル訓戒ナリトス而シテ村長ハ舊小學校令第七十條ニ依リ町村ニ屬スル國ノ教育事務ヲ管掌シ町村立小學校ヲ管理

スルニ止マルモノナレハ訓戒ニ服從シテ郡視學ノ任免ニ容喙セサルモ之レカ爲メ法令ニ依ル
村長ノ職務ヲ完全ニ行フコト能ハサルノ理由アラサレハ違法ノ訓戒ナリト謂フヲ得ス然ルニ
原告ハ訓戒書ヲ不當ナリトシ郡長ニ返戻シタルハ不當ノ行爲ナリトス故ニ佐波郡長カ之ヲ職
務上遵守ノ義務ニ背キタルモノトシテ町村制第百二十八條ニ依リ原告ヲ譴責シタルハ違法ノ
處分ナリト謂フヘカラス隨テ之ヲ是認シタル被告山口縣知事ノ裁決モ亦相當ニシテ共ニ取消
スヘキ理由ナキモノトス

(同一判例) 懲戒處分不當裁決取消ノ訴 明治三十三年第二百六十二號
明治三十四年五月二十八日宣告 懲戒處分不當裁
決取消ノ訴 明治三十三年第二百六十七號
明治三十四年五月二十八日宣告

○村長カ郡長ヨリ村會議事ノ報告ヲ爲スヘシトノ訓令ヲ受ケナカラ之ニ應セザ
ルノミナラス正式ニ開會シタル村會ノ議事録ヲ塗抹シ郡長ノ訓令ニ對シ村會
ヲ開キ決議ヲ爲シタルコトナシト答申シタルハ其職務ニ違背シタルモノナリ
(懲戒裁判取消ノ訴 明治三十一年第二百二十三號
明治三十四年十月八日宣告)
○村會カ違法ノ議決ヲ爲シタル場合ニ於テハ村長ハ町村制第六十八條ニ依リ之
ヲ處理スヘキモノトス(同上)

○村長ハ會計年度前二箇月ヲ限リ豫算表ヲ調製シ年度前村會ノ決議ヲ取り之ヲ
郡長ニ報告スル義務アルモノトス(同上)

(理由) 原告ニ於テ第一明治三十年度歳入出追加豫算ハ明治三十一年五月一日ニ於テ適法ニ
議決セシモノト謂フヘカラス又該議案タル原告ニ於テ公益ヲ害スルモノト認メ議員ヲシテ再
考セシメタル末議員自ラ之ヲ撤回シタルモノニシテ議決ナルモノ存セスト云フト雖モ同年五
月一日ニ於テ明治三十年度追加豫算ニ付正式ノ會議ヲ開キ議決ヲ爲シ議事録ヲ調製シタルコ
トハ當日出席シタル村會議員石井千代吉外十名ノ證言ニ依リ明瞭ナリ然ラハ原告村長ハ町村
制及監督官廳ノ訓令ニ依リ該議事ヲ郡長ニ報告スヘキ職責アルニモ拘ハラズ郡長ノ報告ヲ督
促シタル訓令ヲ違法トシ飽マテ郡長ノ命令ヲ拒ミ之ニ服從セサルノミナラス同年五月十日ノ
村會ニ於テ獨斷該議事録ヲ塗抹シ會テ追加豫算ニ付會議ヲ開キ決議ヲ爲シタルコトナシト答
申シタルハ村長タルノ職務ニ違背シ郡長ヲ侮蔑シタルノ所爲ナリトス右ノ事實ハ五月十日ノ
村會ニ出席シタル中原棟太郎外十二名ノ證言及被告提出ノ各證據ニ依リ明瞭ナリ尙ホ原告ハ
訴狀補充書ニ於テ該議事ハ法律上成立セザリシモノナルニ郡長ニ於テ其報告ヲ督促スルハ不
當ナリト云フモ果シテ該議決ヲ違法ナリトスルトキハ町村制第六十八條ニ依リ之ヲ匡正スヘ

キ道アルニ拘ハラス漫ニ報告ノ提出ヲ拒絶シタルハ失當ノ行爲タルヲ免カレス第二原告ハ明治三十一年度歳入歳出豫算ニ付同年五月十六日ニ至リ議決ヲ取リタルハ其職務ヲ怠リタルニアラス特別ノ事情事變アリテ已ムヲ得サルニ出テタリト云フト雖モ町村制第七條ニハ町村長ハ年度前二箇月ヲ限り豫算表ヲ調製スヘシ又第八條ニハ豫算表ハ會計年度前町村會ノ決議ヲ取リ云々ト規定シアレハ事情事變ノ爲メニ其法律上職務ノ執行ヲ遷延スルヲ得ス況ンヤ其事情事變ノ爲メニ豫算表ヲ調製シ又ハ村會ヲ招集シ能ハサルノ情況アルニ非サレハ原告ノ主張ハ理由ナキモノトス第三原告ハ郡長ノ所爲カ前村長ニ寛ニシテ原告ニ酷チルハ不當ナリ云々ト陳述スルモ此ノ如キ主張ハ縱令事實ナリトスルモ懲戒裁判ヲ取消スヘキ理由トナラス

○村長カ郡長ヨリ陸海軍召集事務検査ノ爲メ一定ノ村役場ニ出頭スヘシトノ再三ノ命令ヲ受ケタルニ拘ハラス自己ノ疾病助役ノ事務不精通ノ故ヲ以テ自村ノ役場ニ出張検査ヲ請フコト再三ニ及ヒ遂ニ郡長ノ命ニ從ハサリシハ村長ノ職務ヲ怠リタルモノニシテ之ニ對スル懲戒處分ハ正當ナリトス(不當懲戒處分取消ノ訴)

明治三十四年第五十七號
明治三十四年十月四日宣旨

〔理由〕 原告ハ本件陸海軍召集事務検査ニ付キ其村役場ニ臨場シテ検査セラレタシト被告ニ

求メタルハ事實止ムヲ得サルニ出テ上司ノ命令ニ對抗スルカ如キ意志ナカリシコトハ甲第五號證及甲第十七號證ニ徴シテ明カナリト云フト雖モ元來助役ハ町村制ノ規定ニ依リ村長故障アルトキハ其職務ヲ代理スヘキモノナレハ本件ノ如キ場合ニ於テハ原告ハ其職務ヲ助役ニ執ラシムヘキハ當然ニシテ助役ハ召集事務ニ精通セス又検査場ニ參集スヘキ期日ノ數十日前ニ其妻カ死兒ヲ分娩シタル等ノ事實ヲ以テ助役ヲシテ事務ヲ執ラシメサル正當ノ理由トナスコトヲ得ヌ又原告ハ本件懲戒處分ハ監督權ノ濫用ニシテ法律勅令省令ノ規定及地方廳ノ訓令ヲ無視シタル處分ナリト云フト雖モ原告ノ援用スル甲第十五號證陸軍召集條例海軍召集條例及甲第十四號證石川縣訓令ニ徴スルモ陸海軍召集事務ノ検査ハ原告主張ノ如ク其検査ヲ執行スヘキ場所ハ必ス當該町村役場ニ於テ之ヲ爲スヘキモノト限定シアラサルカ故ニ原告村役場ニ於テ検査ヲ行ハサルヲ以テ該法令訓令ニ違背シタルモノト言フヲ得ヌ又原告ハ馬匹徵發事務検査ハ甲第十六號證第九師團馬匹徵發事務規定ニ明文ナキヲ以テ被告ニ其職權ナシト云フト雖モ郡長ハ町村制ノ規定ニ依リ町村長ノ職務ニ對シテ之ヲ監督スルノ職權アル者ナレハ甲第十六號證ニ明文ナキノ故ヲ以テ馬匹徵發事務検査ノ職權ナキモノト言フヘカラス又原告ハ郡書記ノ發シタル文書ハ「依命」ノ文字ナキヲ以テ上司ノ命令ニアラスト云フト雖モ第二課長

タル郡書記ノ發シタル甲第十號證及甲第十二號證ノ文書ハ明カニ官職名ヲ記シテ發シタル文書ナルノミナラス亦タ違法ノ文書ナリト認ムヘカラサルヲ以テ「依命」ノ文字ノ有無ニ拘ハラス私交上ノ文書ナリト言フヲ得ス以上ノ理由ニ依リ原告カ被告ヨリ陸海軍召集事務検査ノ爲メ一定ノ村役場ニ出頭スヘシト再三ノ命令ヲ受ケタルニ拘ハラズ自分ハ病氣又助役ハ事務不精通ノ廉ヲ以テ自村ノ役場ニ出張検査ヲ乞フコト再三遂ニ郡長ノ命ニ從ハサリシハ村長タル職務ヲ怠リタルモノナレハ被告ノ與ヘタル懲戒處分ハ正當ニシテ之レヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村制第七十條第二項ノ規定ハ事務分配ノ方法ヲ定メタルニ過キスシテ同制第六十八條第一項及ヒ第二項第五號ノ規定ヲ制限シタルモノニアラサレハ町村長ハ助役ヲシテ事務ヲ分掌セシメタル場合ト雖モ仍ホ其事務ニ付キ責任ヲ免カル、コトヲ得ス(懲戒處分取消ノ訴 明治三十四年第九十六號
明治三十四年十二月九日宣告)

〔理由〕 原告ハ事務室ヲ他ニ移轉シテ治療ヲ受ケタルモノナレハ終始事務室ニ於テ療養シタルニ非スト云フモ郡書記今内富雄ノ復命書及分掌助役松島貞固ノ答辯書ニ依ルモ事務室ヲ他ニ移轉シテ從來ノ事務室ヲ以テ患者室ニ充テタリト認ムルコトヲ得ス然レハ原告ハ入院ノ當

初ヨリ退院ニ至ルマテ終始事務室ニ於テ治療ヲ受ケタルモノト認メサルヲ得ス又原告ハ明石町ノ衛生事務ハ助役松島貞固ノ分掌スル所ナレハ傳染病院管理ノ權限モ亦同助役ノ職權内ニ屬ス故ニ一個人トシテ入院シタル原告ハ終始該管理者ノ指揮命令ニ從ヒタルヲ以テ町長トシテ懲戒處分ヲ受クルノ理ナシト云フモ町村制第七十條第二項ノ規定ハ事務分配ノ方法ヲ定メタルニ過キスシテ同制第六十八條第一項及同條第二項第五號ノ規定ヲ制限シタルモノニ非サレハ町村長ハ助役ヲシテ事務ノ一部ヲ分掌セシメタル場合ト雖モ仍ホ其事務ニ付キ責任ヲ免カルコトヲ得ス然レハ原告ハ假令一個人ノ資格ヲ以テ入院シタリトスルモ町長トシテ管理スヘキ傳染病院ニ於テ終始事務室ニ於テ治療ヲ受ケタル以上ハ分掌助役ノ指揮命令ニ從ヒタリトシテ自己ノ責任ヲ免カルコトヲ得サルヲ以テ被告郡長カ原告ノ行爲ヲ文官懲戒令第二條第二號ニ該當スルモノト認メ町村制第二百二十八條ニ依リ懲戒處分ヲ爲シタルハ相當ニシテ該懲戒處分ハ取消スヘキ限ニ在ラス

○認可ヲ受ケスシテ私事ノ爲メ旅行シタルハ訓令違反ナリ(私事旅行懲戒處分不服ノ訴 明治三十五年第三百十四號
明治三十六年四月十一日宣告)

〔理由〕 原告ハ明治三十五年七月三日西大分町ニ開ケル佐々友房ノ歡迎會ニ同日午後五時出

席シタルモ杵築町役場ニハ助役モ在リテ公務ヲ缺キタルモノニ非サルヲ以テ原告ノ私事旅行ハ大分縣訓令甲第四十五號ニ依リ郡長ノ認可ヲ受クヘキモノニ非ス然ルニ原告ニ對シテ郡長カ懲戒處分ヲ行フタルハ不法ナリ故ニ被告ノ裁決ヲ取消シ懲戒處分ニ付スヘキモノニ非ストノ裁判ヲ請フト主張シ被告ハ町村長ト助役トハ町村制上別個ノ吏員ナルヲ以テ町長ニ於テ私事ノ旅行ヲ爲シタル以上ハ町長自ラノ職務ヲ缺キタルハ明瞭ナル事實ニシテ助役アルカ爲メ町村事務ニ支障ヲ生セサリシトノ理由ヲ以テ公務ヲ缺キタルモノニ非スト言フヲ得ス隨テ被告ノ爲シタル裁決ハ正當ナリト答辯セリ按スルニ原告カ西大分町ニ開キタル佐々友房ノ歡迎會ヘ明治三十五年七月三日午後五時出席シタル事ハ原告自ラモ之ヲ爭ハサル事實ナリトス而シテ西大分町ノ所在ハ原告ノ執務スル杵築町役場ヲ去ル數里以外ノ地ニ該當スルヲ以テ他ノ吏員タル助役ノ有無ニ拘ハラズ當日ハ原告ハ私事ノ爲メ自己ノ取扱フヘキ公務ヲ缺キ旅行ヲ爲シタルモノト認定スルニ足ル故ニ原告ハ明治二十三年大分縣訓令甲第四十五號ニ依リ私事旅行ノ認可ヲ受クヘキハ當然ナルニ其手續ヲ經サリシハ該訓令ニ違背スル行爲ニシテ町村ノ行政ヲ監督スル郡長ニ於テ本件ノ懲戒處分ヲ行フタルハ適法ノ處分ナリトス隨テ被告ノ裁決モ亦相當ニシテ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町村制第二百二十八條第四號ニハ懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ストノミアリテ他ニ何等法令上ノ規定ナケレハ郡役所ニ於テ審問ヲ爲サ、リシトノ理由ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス(縣參事會不當裁決取消ノ訴、明治三十七年第五百八十一號、十七年五月十四日宣告)

〔理由〕原告主張ノ要旨ハ富山縣參事會ハ原告カ富山縣中新川郡西三郷村助役奉職中故ナク監督官廳ノ召喚ニ應セサルノミナラス公務ヲ拋擲シテ擅ニ郡外ニ旅行シ及明治三十六年度變更豫算議事録作製ヲ等閑ニ付シタル等職務怠慢ノ事實アルヲ認めラル、ヲ以テ被告カ町村制第二百二十八條ニ依リ解職ノ裁判ヲ爲シタルハ不當ニ非ラスト裁決シタルモ第一原告ハ故ナク被告ノ召喚ニ應セサルニアラス出頭ノ訓示ヲ受ケタルモ或ハ後ニ至リ之ヲ知り或ハ出頭ノ途中發病ノ爲メ出頭ヲ果スコト能ハサルカ爲メナリ又無斷郡外ノ富山市ニ旅行シタルハ犯罪事件告發ノ爲メ許可ヲ待ツノ暇ナカリシカ爲メニシテ擅ニ郡外ニ旅行シタルニ非ラス第二村長選舉ニ付村會議員四分ノ一以上ヨリ請求アリタルモ此ノ如キ重大ナル事件ハ村ノ内規トシテ豫メ公民ニ協議スルノ例ナリシカ故ニ村治ノ圓滿ヲ期スル爲メ村會ノ召集ヲ遅引シタルモノニシテ決シテ公務ヲ拋棄シタルニ非ラス第三明治三十六年度變更豫算ニ關スル議事ハ原告ノ

關知スル所ニ非ラス而シテ該議事録ノ偽造ハ原告ノ告發前一二日前ノ事ナリト認ム故ニ被告及縣參事會ハ之ヲ等閑ニ付シタリト云フモ原告ハ發見後直ニ吏員ヲ詮議シ懲戒ヲ行ハントスル際適マ村長職務管理者來任アリタル爲メ之ヲ行フコト能ハサリシナリ決シテ等閑ニ付シタルニ非ス依テ明治三十七年一月十九日富山縣參事會ニ於テ明治三十六年十一月十九日中新川郡參事會ノ與ヘタル裁判ハ取消スヘキ限ニ在ラスト宣言シタル裁決ノ取消ヲ請求スト云フニ在リ按スルニ第一點ノ主張ハ原告口頭一片ノ陳述ニ止リ何等ノ證據ヲ提出セサルヲ以テ之ニ信ヲ措ク能ハス而シテ被告ノ提出シタル第十七號證西三郷村書記田村六三郎カ郡長ノ推問ニ對スル答辯第九號證原告ノ次弟千代正ヨリ石坂豊一ニ宛テタル書面ニ徴シ尙原告ノ内申書訴狀等ニ陳述スル所相一致セサル點アルヲ以テ之ヲ視レハ原告カ疾病其他正當ノ理由ナクシテ監督官廳ノ召喚ニ應セサリシコトヲ認ムルニ足ル又第十一號證富山縣訓令ニ依レハ郡外ノ出張及旅行ハ監督官廳ノ認可ヲ要スルニ原告ハ急行ヲ名トシ認可ヲ受ケスシテ富山市ニ赴キタルハ該縣ノ訓令ニ違背シタルモノナリ第二原告ハ村長後任ノ選舉ハ村ノ内規下シテ公民ニ協議スルノ例ナルカ故ニ召集ヲ遲引シタリト云フモ此ノ如キ慣例ノ存否ニ付毫モ舉證セサルノミナラス假リニ之アリトスルモ第四號證富山縣訓令ニ依レハ後任村長ハ七日以内ニ選舉セザ

ルヘカラス又町村制第四十二條ニ依レハ村會議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ラス村會ヲ召集セサルヘカラス然ルニ原告ハ該訓令ノ期間ヲ徒過シ且召集ノ請求アリタルニ拘ラス其手續ヲ爲サ、リシハ職務ニ違フコト甚シキモノトス第三原告ハ豫算變更ニ關スル議事ハ關知スル所ニ非スト云フヲ以テ假リニ之ヲ事實トスルモ既ニ前陳ノ如ク義務ニ背反スル行爲アリタル以上ハ被告カ町村制第二百二十八條第三號職務ニ違ヒ其情狀重キモノトアル規定ニ該當スルモノト認メ解職ノ裁判ヲ爲シタルヲ不當ナリト云フヲ得ス尙原告ハ懲戒裁判ニ關スル審問ノ場所及其手續等ニ付訴フル所アルモ原告カ中新川郡長代理タル同郡書記石坂豊一ノ審問ヲ受ケタルコトハ第十六號證ニ依リ明瞭ナリ而シテ町村制第二百二十八條第四號ニハ懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ストノミアリテ他ニ何等法令上ノ規定アラサルハ郡役所ニ於テ審問セサリシトノ理由ヲ以テ懲戒裁判ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

○區會ニ於テ區ニ對シ特別ノ勞務ヲ爲シタル私人ニ交付スヘキ報酬金額ノ豫算ヲ決議シ其後更ニ減額ノコトヲ決議セシメ拘ハラス村長カ強テ前ノ豫算ニ依リ且ツ收入役ノ手ヲ經スシテ自ラ其報酬金額ヲ交付シタル場合ニ郡參事會ニ於テ解職ノ處分ヲ爲シタルハ相當ナリ(不當懲戒取消請求ノ訴

明治三十六年第五百
明治三十七年六月十

二八日宣告

〔理由〕 按スルニ明治三十五年十月一日區會ニ於テ決議シタル齋藤時敏ニ交付スヘキ報酬金千二百圓ノ豫算ハ其後同年十一月九日招集シタル區會ニ於テ金六百圓ノ豫算ニ變更ノコトヲ決議シタルモノナレハ原告ハ此決議ニ依リ執行セサルヘカラス然ルニ原告カ強テ彙ノ豫算ニ依リ報酬金千二百圓ヲ時敏ニ交付シタルハ職務ヲ正當ニ執行セシモノト謂フヲ得ス又原告ハ右報酬金千二百圓ヲ時敏ニ交付スル際收入役ノ手ヲ經ス自ラ同人ニ交付シタルハ町村制第六十八條第二項ノ三及ヒ同第七十一條ノ規定ニ違背シタル行為ニシテ職務ニ背戾スル處置タルヤ明カナリ然ラハ被告カ東津輕郡參事會ノ與ヘタル解職處分ハ取消スヘキ限リニ在ラスト裁決シタルハ相當ナリトス

○村長カ縣ノ訓令ニ違背シ郡長ノ認可ヲ經スシテ私事ノ爲メ旅行ヲ爲シタル場合ニ知事ニ於テ懲戒處分ヲ行ヒタルハ相當ナリ(不當懲戒處分取消ノ訴 明治三十七年十月四日宣告)

〔理由〕 按スルニ原告ハ郡長ノ認可ヲ得スシテ明治三十六年六月十二日午前其任地ヲ發シ輪島町ニ到リ同日午後同地ニ開催セル縣會議員選舉ニ關スル協議會ニ出頭シタルコトハ原告ノ

自認スル事實ニシテ其行為ハ郡長ノ認可ヲ經スシテ私事ノ爲メ旅行ヲ爲シタルモノニ該當スルヲ以テ原告ノ行為ハ乙第四號證石川縣訓令第五十號ニ違背シタルモノトス然ルニ原告ハ其旅行ハ主トシテ小學校設計ニ關シ郡役所ヘ打合セノ爲メナリト主張スルモノ之レニ關シテハ何等ノ舉證ナキヲ以テ其事實ヲ認ムルヲ得ス以上ノ理由ニ依リ被告ニ於テ本件懲戒處分ヲ行フタルハ相當ニシテ其處分ハ之ヲ取消スヘキ限ニ在ラス

○町長カ事務引繼ニ關スル縣ノ訓令ニ違背シ町會議決ノ執行ヲ怠リ且議員四分ノ一以上ヨリ町會招集ノ請求ヲ受ケタルニ拘ラス正當ノ理由ナクシテ之ニ應セザリシトキハ町村制第二百二十八條ノ三ニ所謂町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及フモノニ該當ス(町長解職ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴 明治三十六年第五百七十四號日宣告)

〔理由〕 按スルニ原告ハ明治三十五年一月二十七日佐賀縣知事ノ認可ヲ得テ新ニ町長ニ就職シタルモノナレハ佐賀縣訓令市町村吏員事務引繼順序ノ規定ニ依リ七日ノ期間内ニ事務ノ受渡ヲ了シ其届出ヲ爲スヘキモノナルニ乙第二號證ニ徵スレハ郡役所ノ督促ヲ受ケ漸ク十月十三日ニ至リ其届出ヲ爲シタルモノト認ムルヲ以テ右原告ノ行為ハ佐賀縣訓令ニ違背シタルモ

ノト言ハサルヘカラス又櫻岡小學校改築費ハ明治三十五年八月二十七日臨時町會ニ於テ議決シタルニ拘バラス原告ハ之レカ執行ヲ怠リ年度終リナル明治三十六年三月二十七日ニ至リ改築工事ト共ニ該費賦課徴收ヲモ三十七年度ニ繰延フヘキノ議案ヲ提出シタルハ議決執行ノ職責ヲ盡シタルモノト言フヲ得ヌ又原告カ明治三十五年十二月中議員四分ノ一以上ヨリ町會召集ノ請求ヲ受ケタルニ拘ハラス正當ノ理由ナクシテ之レニ應セザリシハ町村制第四十二條ノ規定ニ違背シタルモノナリ之レヲ要スルニ以上列記シタル原告ノ行爲ハ町村制第二百二十八條三ノ所謂町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及フモノニ該當スルヲ以テ本件懲戒處分ハ相當ノ處分ナリ隨テ被告ノ裁決ハ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス

○町長カ郡長ノ懲戒處分ヲ不法トシ縣ノ訓令ニ違背シテ行政訴訟提起ノ爲メ擅ニ旅行ヲ爲シタル場合ニ郡長ニ於テ更ニ過怠金ヲ科シタルハ相當ナリ(懲戒處分不服ノ訴 明治三十六年第二百七十三號 明治三十七年十二月三日宣告)

〔理由〕 原告ハ曩ニ受ケタル懲戒處分ヲ不服トシ當行行政裁判所ニ出訴ノ爲メ出頭シタルハ明治三十五年大分縣訓令第二十五號中法令ノ規定トアルニ相當スル旅行ナルヲ以テ郡長ノ認可ヲ受クヘキモノニアラスト主張スルモ該訓令ニ所謂法令ノ規定ニハ本件ノ如キ原告自己ノ意

思ニ依リ訴訟ノ爲メ出張スル場合ヲ包含スルモノニアラス又原告ハ郡書記ノ照會ニ對シ回答シタル文書中古賢ノ訓言ヲ引用シタル所アルモ上級官廳ヲ輕侮シタルモノニアラスト云フト雖明治三十五年八月十九日附回答中ニ「町長余輩カラ見ルモ餘リ學力ハ郡長ニハ入ラス郡長トハ勤メ易キ者トソ被存候云々」トアリテ郡長ヲ輕侮シタルモノト認ムルニ足レリ要スルニ原告ハ本件懲戒處分ヲ不當トスルニ足ル理由ナキモノトス

○郡會議員選舉人名簿ハ郡制第十一條ニ依リ町村長之ヲ調製スヘキモノナレハ假令書記ヲシテ調製セシメタリトスルモ之カ爲メ町村長ノ責任ハ輕減セラルヘキモノニアラス從テ書記ヲシテ調製セシメタル名簿粗漏杜撰ナル結果選舉ヲシテ無効ニ至ラシメタル場合ニ職務ニ違フノ情狀重キモノト認メ町村長ノ職ヲ解キタルハ相當ナリトス(不當裁決取消ノ訴 明治三十七年第九十六號 明治三十八年二月二十八日宣告)

〔理由〕 原告主張ノ要旨ハ明治三十六年七月十七日度會郡告示第九號ニ依リ執行スヘキ度會郡會議員選舉ニ關スル選舉人名簿ヲ調製スルニ當リ事務複雜自カラ之ヲ調製スルノ暇ナキ爲メ主任書記ヲシテ調製セシメタルニ書記ハ其校合淨書ヲ誤リタルモ事務執掌ノ結果監督ノ周密ヲ欠キ其誤謬ヲ覺舉スルニ至ラザリシハ事實ナリ然レトモ此ノ如キ無意犯ハ町村制第二百

十八條ニ依リ解職ノ極罰ニ處セラレヘキモノニ非ラスト信スルヲ以テ被告カ明治三十七年二月二十二日ヲ以テ原告ニ對シ與ヘタル決定ヲ取消シ犯情ニ適應スル過怠金又ハ譴責ノ範圍内ニ於テ相當ニ處罰スヘキ様判決アリタシト云フニ在レトモ本件選舉人名簿ハ郡制第十一條ニ依リ町長之ヲ調製セサルヘカラス故ニ假令書記ヲシテ調製セシメタリトスルモ之カ爲メ町長ノ責任ハ輕減セラレヘキモノニ非ス而シテ其調製粗漏杜撰ナル結果選舉人名簿中多數ノ有權者ヲ脱落シ又無資格者ヲ記入シ遂ニ選舉ヲシテ無效ニ至ラシメタル事實ハ原告ノ爭ハサル所ナリ然レニ被告カ原告ヲ以テ職務ニ違フノ情狀重キモノト認メ度會郡參事會ノ裁決ヲ是認シタルハ不當ナリト謂フヲ得ス

○郡長カ村會ノ議決ヲ越權ト認メ其執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付スヘキコトヲ村長ニ命シ村長ハ其指揮ニ依リ理由ヲ示シテ再議ニ付シタル場合ニ於テ村會カ尙ホ該議決ヲ更メサルトキハ其事由ノ如何ヲ論セス郡參事會ノ裁決ヲ請フノ外他ニ途ナキモノトス故ニ此場合ニ村長カ郡長ノ命令ニ反抗シ郡參事會ノ裁決ヲ請ハサル所爲ハ町村制第二百二十八條第二項第三號ニ所謂其職務ニ違フノ情狀重キモノニ該當ス(郡參事會ノ裁決取消ノ訴 明治三十八年第四十六號 明治三十八年六月八日宣告)

〔理由〕 長野縣南佐久郡長ニ於テ明治三十七年度内山村歳入歳出豫算變更議案ニ對スル内山村會ノ議決ヲ越權ナリト認メ町村制第六十八條ニ依リ該議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付スヘキコトヲ原告ニ命シ原告ハ其指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シタル場合ニ於テ該村會カ其議決ヲ更メサルトキハ縱令原告主張ノ如キ事由アリトスルモ該條ノ規定ニ依リ郡參事會ノ裁決ヲ請フノ外他ニ道ナキモノトス然ルニ原告ハ該規定ノ明文アルニモ拘ラス監督官廳タル郡長ノ命令ニ反抗シテ郡參事會ノ裁決ヲ請ハサル者ナレハ其職務ニ違フコト情狀重キモノト謂フヘク隨テ被告カ町村制第二百二十八條第三ニ依リ原告ヲ解職シタルヲ不當ノ處分ナリト謂フヲ得ス

○町村制第二百二十八條第一項ハ普通ノ場合ニ於ケル懲戒處分ノ規定ニシテ其第二項第三號ハ情狀重キ場合ニ於ケル該處分ヲ規定シタルモノトス(懲戒處分不服ノ訴 明治三十八年第三百八十一號 明治三十九年五月三日宣告)

〔理由〕 第一點町有地特賣ノ點ニ付テハ原告提出ノ町會議事筆記ヲ見ルニ特賣ヲ一任シタリト認メ得ヘキ文詞ナキノミナラス乙第二號證ニ「然ルニ町長カ此法文ヲ無視シ私擅ニ特賣シタルハ其權限ヲ超エタル違法ノ處置ナルヲ以テ云々」トアルニ徴ストハ町會ニ於テ特賣ヲ町

長ニ一任シタルニ非サルコト明カニシテ此點ニ於ケル原告ノ行為ハ町村制第八十七條ニ違背シタルモノト云ハサルヲ得ス第二點町有地賃地料ノ點ニ付テハ借地人等カ明治三十一年以來借地料ヲ滯納シ居タルハ事實ナルヲ以テ原告ハ就職後此等ノ整理ヲ爲スヘキハ當然ナルニ事茲ニ出テス明治三十八年ニ至リ町會ノ議ニ付シ其結果遂ニ裁判所ニ出訴シテ其局ヲ結ハサルヲ得サルニ至リタルハ職務ノ怠慢タルヲ免カレス第三點明治三十六年度縣稅徵收金ノ納付ノ點ニ付テハ原告ハ明治三十三年勅令第八十一號ノ手續ニ依ラサルノミナラス郡長ヨリ該金紛失後更ニ納付ノ命ヲ受ケ且町會ノ議決ヲモ經タルニ拘ハラヌ尙ホ一個年以上經過ノ後之ヲ納付シタル如キハ亦職務ノ怠慢ナリト云ハサルヲ得ス第八點明治三十六年度町稅未納ノ點ニ付テハ同年度ニ於テ八百餘圓ノ滯納金ヲ生シタルハ原告ノ怠慢ニ基クモノト認メ得ヘキノミナラス該金額ヲ次年度ニ繰越シタルカ如キハ法令ノ許サ、ル所ナレバ此點ニ於テ原告ノ行為ハ違法ナリ又町村制第二百二十八條解釋ノ點ニ付テハ同條第一項ニ於テハ普通ノ場合ニ於ケル懲戒處分ヲ規定シ同第二項第三號ニ於テハ情況重キ場合ニ於ケル懲戒處分ヲ規定シタルモノト解セサルヲ得サルニ依リ此點ニ於ケル原告ノ主張ハ其當ヲ得ス其他原告ハ尙ホ論辯スル所アルモ必要ナキヲ以テ説明セス

○ 村長カ缺勤届出ニ關スル縣ノ訓令ニ違背シ村組合費ノ徵收期限ヲ失シ傳染病豫防救治費ノ不足ヲ告ケタル故ヲ以テ擅ニ豫算ナキ費用ヲ支出シ又村會招集ノ延期申請ニ對シテ郡長ヨリ直ニ招集ノ手續ヲ爲スヘキ旨通牒ヲ受ケタルニ拘ハラヌ之ニ違反セル行為ハ町村制第二百二十八條ノ三ニ所謂町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及フモノニ該當ス(村長解職ニ係ル縣參事會ノ裁決不服ノ訴ハ

明治三十九年第五百三十六號
明治四十年五月十八日宣告)

〔理由〕 一按スルニ原告ハ役場備付出勤簿並處分案ニ依レバ缺勤ナキハ明ラカナリト云フト雖乙第二號證原告ノ自署捺印セル審問調書及乙第二號證同村役場ヨリ石川縣知事ニ提出セル役場吏員勤怠調ニ依レバ原告ノ缺勤多キヲ認メ得ヘク乙第一號證ニ依レバ右缺勤ニ對シ郡長若クハ役場ニ届出ヲ爲サ、ルハ原告ノ自ラ認ムル所ナリ右原告ノ行為ハ明治三十五年石川縣訓令甲第五十號ニ違背スル者ニシテ職務ニ違フモノト云ハサル可ラス又原告ハ珠洲郡正院村外二箇村組合長ヨリ明治三十八年六月三十日組合費負擔額ノ通知ヲ受ケタルモ之ヲ其徵收期限タル同年八月二十五日迄ニ徵收セス明治三十九年二月二十八日始テ村會ニ提案シタリ右事實モ原告ノ自ラ認ムル所ナリ右徵收期限ヲ失シタルハ職務ニ違フモノト云ハサル可ラス又原告

ハ明治三十八年九月以來赤痢病患者發生シ其豫防救治費ニ不足ヲ告ケタルモ其當時之ヲ村會ニ提案セズ豫算ナキ費用ヲ支出シ明治三十九年二月二十八日始テ村會ニ提案セリ右事實モ亦原告ノ自ラ認ムル所ナリ右原告ノ行爲ハ町村制第九條ニ違背スルモノニシテ職務ニ違フモノト言ハサル可ラス又原告ハ明治三十八年十一月二十四日村會召集ノ延期ヲ郡長ニ申請シタルニ對シ右申請ハ認可セス直ニ其手續ヲ運フヘキ旨通牒ヲ得タルニ拘ハラヌ直ニ其手續ヲ爲サ、リシモノニシテ右事實モ亦原告ノ自ラ認ムル所ナリ右郡長ノ命令ニ違フ原告ノ行爲ハ職務ニ違フモノト言ハサルヘカラス以上列記シタル原告ノ行爲ハ町村制第二十八條三町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及フモノニ該當スルヲ以テ本件懲戒處分ハ相當ニシテ被告ニ裁決ハ之ヲ取消スヘキ理由ナキモノトス被告ノ裁決ニ於テ以上列記シタルモノ、外尙ホ原告ノ行爲ニシテ職務ニ違フモノト認メタルモノアルモ既ニ本件懲戒處分ヲ相當ナリト判決スル以上ハ必要ナキヲ以テ別ニ一々之カ説明ヲ與ヘス

○村役場ニ於テ盜難ニ罹リ國稅金ヲ亡失シタル場合ニアリテハ其村カ先ツ國庫ニ對シ之ヲ辨償シタル上ニアラサレハ村長及收入役等ニ對シテ賠償義務ノ有無ヲ爭フコトヲ得ス(亡失稅金賠償裁決不當ノ訴 明治二十四年第五十三號 明治二十五年四月六日宣告)

〔理由〕 原告ハ下甘田村會ニ於テ村長カ提出シタル本件亡失稅金ニ對スル明治二十四年度歲出入追加豫算議案ヲ廢棄シ而シテ當時該亡失稅金ノ保管者タル村長及收入役ヨリノ賠償金ヲ以テ國庫ニ對スル辨償金ニ充ント議決シタルハ不當ニアラスト云フト雖本件亡失國稅金ノ如キハ下甘田村カ先ツ國庫ニ對シ之ヲ辨償シタル上ニアラサレハ未タ賠償義務ノ有無ヲ爭ヒ得ヘキモノニアラス隨テ原告ハ町村制第二十九條ニ依リ賠償ノ要求ヲ爲スヲ得サルモノトス

○町村制第二十九條ニ依リ町長ニ賠償ノ責ヲ歸セントスルニハ町長ノ職務怠慢ニ起因セル損害タルノ證據明瞭ナルヲ要ス(不當裁決取消ノ訴 明治二十四年第八十八日宣告 明治二十五年十月)

〔理由〕 原告ハ元七日町小學校建物ハ明治二十二年九月十一日暴風雨ノ爲メ破損ヲ來シ爾來管理者タル若松町長職務懈怠ノ爲メ大破ニ至リタルモノナルカ故ニ町村制第二十九條ニ依リ被告町長ヨリ賠償金七十五圓ヲ拂ハシメンコトヲ請求スト云フト雖本件大破ニ至リシ事實ハ被告ノ怠慢ニ起因シタル損害ナリトノ證據明瞭ナラサルニ依リ被告ヲ以テ辨償ノ責アルモノト爲スヲ得ス其他雙方ノ陳辯スル所アルモ本案ノ判決ニ必要ナラサルヲ以テ之ヲ説明セス

○納稅者ヨリ納入シタル地方稅金ヲ管理スルハ收入役ノ任務トス(不當處分取消

ノ訴 明治二十五年第四十三號
明治二十五年十月二十日宣告

○ 收入役納稅者ヨリ納入シタル地方税金ヲ管理中其不注意ニ因リ亡失シタルト
キハ町村制第二百二十九條ニ依リ收入役ハ賠償ノ責ヲ負フヘキモノトス(同上)

〔理由〕 原告ハ明治二十五年一月津川町役場ニ於テ本訴税金ヲ亡失シタルハ職務上ノ怠慢ニ
アラサルヲ以テ之ヲ賠償スルノ責ナシト云フト雖該税金ハ原告カ管理中役場ニ於テ竊取セラ
レ原告ハ當時執務中接近ノ場所ニ居テ之ヲ知ラス而シテ相當ノ注意ヲ加ヘテ管理シタルノ證
跡ナキモノナレハ怠慢ニアラスト謂フヲ得ス又該亡失税金ノ場合ノ如キハ町村制ニ規定ナキ
事項ナルニモ拘ハラズ被告カ町村制第二百二十九條ヲ適用シ甲第一號證ノ裁決ヲ與ヘタルハ不
當ナリト云フト雖府縣稅徵收法第八條ニ各納稅人ハ税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ云々トア
ルヲ以テ其拂込ミタル税金ヲ管理スルハ收入役ノ任務ニ屬セリ故ニ郡參事會ノ職務ヲ行フ被
告郡長カ其收入役タル原告ニ對シ町村制第二百二十九條ニ依リ甲一號證ノ裁決ヲ與ヘタルハ不
當ノ處置ニアラサルモノトス

○ 町村制第二百二十九條ニ基キ町村吏員ニ對シ損害賠償ノ裁決ヲ爲ス場合ニ於テ
ハ該裁決ヲ爲ス際既ニ其職ヲ去リタル者ニ對シテモ亦之ヲ爲スコトヲ得不當

辨償命令取消請求ノ訴 明治二十七年第十九號
明治二十七年十一月二十八日宣告

○ 町村吏員カ其職ヲ盡サ、ル爲メ町村ヨリ國庫ニ納付スヘキ税金ヲ亡失シテ町
村ニ損害ヲ與ヘタル場合ニハ町村制第二百二十九條ヲ適用ス(同上)

○ 國稅亡失ニ關スル責任免除ヲ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ町村會ニ於テ議決シ
タルヲ以テ町村吏員ノ責任ヲ免除シタルモノト謂フヲ得ス(同上)

〔理由〕 第一原告ハ町村制第二百二十九條ニ依リ裁決ヲ與フルハ現ニ町村吏員ノ職ニ在ル者ナ
ラサルヘカラス然ルニ原告ハ町村吏員ノ資格ヲ有セス故ニ本條ハ原告ニ對シ適用スヘキモノ
ニアラスト云フト雖本條ハ町村吏員ノ資格ヲ以テ町村ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ裁決ヲ爲スノ規
定ナレハ假令其職ヲ去リタル後ト雖之ヲ適用スルヲ得ルモノトス第二原告ハ町村制第二百十
九條ニ依リ裁決ヲ與フルハ町村吏員ニ於テ直接ニ町村ノ財産ニ對シ損害ヲ與ヘタル場合ニ限
ルモノニシテ國庫ノ財産ニ對シ損害ヲ與ヘタル場合ハ本條ノ支配スヘキモノニアラスト云フ
ト雖本件ハ町村ヨリ國庫ニ納付スヘキ税金ヲ亡失シ町村ニ損害ヲ與ヘタルモノナレハ本條ニ
依リ裁決スヘキモノト云ハサルヲ得ス第三原告ハ原告カ疾病ノ爲メ知覺精神ヲ失ヒ税金ヲ亡
失セシハ醫士ノ診斷書村會ノ決議書等ニ依リ明カニシテ全ク不可抗力ノ爲メ竊取セラレタル

者ナレハ一般ノ法理ニ依リ之ヲ賠償スヘキ責任ナシト云フト雖原告ノ舉證中一モ其遭難ノ事實ヲ認ムヘキモノ之レナキニ依リ原告ハ賠償ノ責任ヲ免カル、コト能ハサルモノトス第四原告ハ村會ノ決議ハ其村ニ於ケル法律ニシテ村會カ其決議ヲ以テ原告ノ所爲ヲ不可抗力ニ出テタルモノトシ責任免除ヲ大藏大臣ニ訴願セシハ即法律ヲ以テ同時ニ大熊信吾ノ責任ヲ免除シタルモノト云ハサルヘカラス然レハ假令其訴願ヲ却下セラル、モ一旦免除セラレタル責任ハ再ヒ生スヘキニ非サレハ其訴願ヲ爲シタル被告村ニ於テ損害ヲ負擔セサルヘカラスト云フト雖甲第一號證ヲ觀ルニ村會ハ責任免除ヲ大藏大臣ニ出願スルコトヲ議決シタルマテナレハ原告ハ其議決ヲ以テ責任ヲ免除セラレタルモノト云フヲ得ス

○收入役代務者ノ資格ヲ以テ領收シタル金圓ハ其領收者ノ屬スル町村役場ノ收入ニ歸シタルモノナリ(損害賠償ノ裁決ニ對スル訴 明治二十七年第八十四號
明治二十八年五月十四日宣告)

○收入役代務者カ其領收ノ金圓ヲ役場ニ提出セスシテ費消シタル場合ニ之ガ收入役ハ被害役場ニ對シ賠償ノ義務アリ(同上)

〔理由〕 原告ハ五十嵐信茂カ費消セシ金百四十圓五十一錢二厘ハ立山村長ト一個人タル五十嵐信茂トノ間ニ成立タル信用委託金ニシテ未タ組合役場ニ收入シタルモノニ非ス故ニ被害者

ハ立山村長ニシテ組合町村ニアラサルハ原告ハ賠償ノ義務ヲ負フヘキニアラスト云フト雖被告ノ甲第二號證甲第三號證甲第四號證甲第五號證及原告ノ甲第一號證ニ依レハ右金員ハ五十嵐信茂ニ於テ收入役代務者タル資格ヲ以テ既ニ組合役場ニ收入シタル者ト認メサルヲ得ズ然レハ同人カ之ヲ費消セシハ立山村長ニ損害ヲ與ヘタルニ非スシテ組合町村ニ損害ヲ與ヘタルモノト云フヘシ而シテ其損害ハ原告カ其職務ヲ放棄シ同人ヲシテ專行セシメタルヨリ生シタルモノナレハ原告ハ組合町村ニ對シ賠償スヘキ義務アルモノト云ハサルヲ得ス

○分村ノ場合ニ於テ當年度經費剩餘金ハ制第四條ニ依リ縣參事會ノ議決ニ基キ處分スヘキモノトス(損害賠償ニ關スル訴 明治二十九年第二十九號
明治二十九年七月十日宣告)

○分村後事務引繼了迄從前ノ豫算ニヨリ其儘混同支出スルモ不當ニアラス(同上)

〔理由〕 原告ニ於テハ明治二十七年七月二十三日ヲ以テ巖江村ノ幾分ヲ割キ小泉村ヲ新設セラレタル以上ハ分村前ノ舊團體ニ於ケル二十七年度歲計豫算ハ右分村告示ノ日ヲ以テ仕切ヲ爲シ其當時ニ於ケル剩餘金ヲ兩村ニ配當ス可キモノナルニ被告ハ專擅ヲ以テ事務引繼了迄其儘混同支出シ爲メニ原告ニ對シ五十餘圓ノ損害ヲ被ラシメタリト主張スト雖モ分村ノ場合

ニ於ケル當年度經費剩餘金ハ他ノ町村有財産ト共ニ町村制第四條ニ依リ縣參事會ノ議決ニ基ツキ處分スキモノナレハ分村ノ日ニ於テ生スキ剩餘金ノ配當ヲ受クル權利アリト主張セシニハ縣參事會ニ於テ如此趣旨ノ議決アルコトヲ要スルモノナルニ本件ニ於テハ其議決アルコト無キヲ以テ原告ノ請求ハ其基本トナル可キ根據ヲ有セス從ツテ被告カ分村後事務引繼結了迄從前ノ豫算ニ依リ其儘混同支出シタレハトテ直ニ之ヲ以テ原告ノ權利ヲ侵害シタリト謂フヲ得サルニ付原告ノ請求ハ其理由ナキモノトス

○町村長ハ町村ニ對シ其職務ノ怠慢又ハ越權ノ行爲ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責務ヲ有ス(不法裁決取消請求ノ訴 明治三十年第八十五號 明治三十一年五月二十四日宣告)

〔理由〕原告ハ本件土浦區裁判所再度ノ第一審判決ニ對シテ村會ハ控訴權ヲ拋棄シテ請負人請求ノ金額及訴訟費ヲ任意辨濟シタルモノナレハ後日ニ至リ原告ニ之レカ賠償ヲ命スルハ不當ノ裁決ナリト云フト雖本件櫻川工事ハ明治二十八年三月三十日ヲ以テ竣功期日ト定メ茨城縣ノ補助ヲ得タルモ右工事監督ノ責任アル原告ハ工事ヲ等閑ニ付シ再三延期ヲ請ヒ尙竣功セサルカ爲メ同年九月四日ヲ以テ縣廳ヨリ補助金取消ノ達ヲ受ケタルモノナレハ右補助金取消ノ達ハ原告ノ職務怠慢ニ原因セルモノト認メサルヲ得ス又右補助金取消ノ達ヲ受ケタル後ニ

於テ村會ノ議決ヲ經スシテ乙第二號證ノ如ク請負人兩名ニ對シ債務ヲ認諾シタルハ是レ町村制第三十三條ノ規定ニ背反セル越權ノ所爲ナリト謂フヘシ而シテ原告カ乙第二號證ノ契約ヲ締結セル以上ハ此契約ニ因リ請負人兩名ヨリ斗利出村ニ對シ工事殘金ヲ請求スルノ權利ヲ生シ斗利出村ハ之ヲ辨濟スヘキノ義務ヲ負タルコトハ土浦區裁判所ノ判決ヲ待タスシテ明確ナルモノトス然レハ斗利出村會カ該判決ニ對シテ控訴ヲナス其債務ヲ辨濟シタルハ當然ノ所爲ナリトス而シテ其辨濟シタル債務ハ原告カ越權ヲ以テ締結シタル乙第二號證ノ契約ニ基クモノナレハ被告新治郡參事會カ町村制第二百二十九條ニ依リ原告ニ之レカ賠償ヲ命シタルハ不當ノ裁決ナリト謂フヲ得ス又原告ハ本件ニ付助役川又七兵衛ハ村會ノ議決ヲ經スシテ郡參事會ノ裁決ヲ求メタリト云フモ被告提出明治三十年三月一日斗利出村臨時村會日誌ヲ見ルニ右賠償請求ノ訴願ニ付同村會ノ議決ヲ經タルコト明カナレハ本件訴願ノ手續ニ於テモ違法ノ點ナキモノトス其他雙方陳辯スル所アルモ本案判決ニ必要ナラサルヲ以テ之カ説明ヲ下サス

○町村役場吏員カ宿直ヲ爲シ得サル事由アルトキハ他ノ吏員ニ代勤セシメ又ハ町村長ニ申告スル等相當ノ處置ヲ爲サ、ルヘカラス從テ擅ニ使丁及ヒ小使ヲシテ代勤セシムルカ如キハ其職務ヲ盡サ、ルモノナレハ之ニ因リテ生シタル